

工業（織物工業・實用製造工業・塗工・木工藝）

五五六

森山 二郎	森山 二郎	星 忠 太郎	安樂岡 清造	河合 誠治	酒見 恒太郎	黒川 美雄	山添長 四郎	山添長 四郎	山添長 四郎	坂田 秀太郎
最新紡織原料論	改相 絲 紡 績	罐詰と食料品製造法	清涼飲料製造法	石鹼製造法	塗料製造と使用法	加工紙とセルロイド製造法	許得石鹼清淨劑製造法集	許得化粧品製造法集	木國化粧品製造處方集	塗工材料及塗仕上法
洋編 布入判 280	洋編 布判 337	上四六 製判 311	上四六 製判 293	上四六 製判 222	上四六 製判 305	洋四六 布判 282	並四六 製判 88	並四六 製判 80	並四六 製判 130	洋編 布入判 172
三、三〇 一、四〇	三、三〇 一、四〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	四〇	四〇	四〇	一、五〇 一、二〇
式九會社株	式九會社株	誠文堂	誠文堂	誠文堂	誠文堂	誠文堂	三圭社	三圭社	三圭社	吉田工務所出版部
月一十	月一十	月八	月八	月九	月九	月十	月七	月五	月九	月十
▲緒論原料、精練、製綿、前紡、精紡、撚合及仕上、紬糸紡績其他。	▲紡績事業に於ける原料問題の基礎的知識を網羅せる書で、紡績原料繊維外四編。	▲罐詰と食料品の製造法に就て述べた書で、果實のシラップ漬外五章。	▲清涼飲料の製造法に就て述べたもので、清涼飲料の沿革、製造材料外三章。	▲化粧石鹼の解説に重點を置いて説いた石鹼の智識で、石鹼の起源と歴史以下五章。	▲初學者に理解出来るやう平易に述べた塗料に對する一般的智識で、顔料外六章。	▲塗布による加工紙製造法、セルロイド外廿章にて加工紙とセルロイド製造法を説述す。	▲各種石鹼及清淨劑の製造法及これが製造原料に關する特許法を年月順に編纂す。	▲染毛劑頭髪化粧料洗粉クリーム白粉齒磨香水等の特許製造法を年月順に編纂す。	▲米國藥劑師組合より公表の脱毛劑ソバカス除去劑等確實なる化粧品製造處方を多數掲ぐ	▲塗工の一般知識に就て説述せる書で、塗工材料、塗仕上法の二篇十一頁。

工業（塗工・木工藝・印刷）

五五七

松田 鐵太郎	式松田 竹 細 工 法	大阪出版社編	印刷美術	年鑑	西村眞次著	日本古代經濟 交換篇	第一回 市場 定價二・五〇	第二回 貨幣 定價三・五〇	以下續刊・東京堂發行
洋編 布入判 500	洋編 布入判 292	洋編 四六倍判 112	二、三〇 一、三〇	大阪出版社	弘道閣	培風館	月六	月五	▲印刷界に於ける過去一年史、洋紙寸法早見表、印刷紙の一般的檢定法其他。
▲木工の基本的知識を平易に説述せるもので、工具及び機械使用法外七章。	▲意匠清新なる竹細工法に就て述べたもので、竹材、松田式竹細工法の實例外三章。								

一三、農業

(8-1)

農業(農業一般・農業經營)

著者	書名	裝訂	頁數	定價	發行所	月行發	内容大意
東浦庄治	日本農業概論	洋四六 布入判	276	八〇	岩波書店	二月二十	▲資本主義と農業との關係を土地制度、金融、人口、租稅其他より觀察研究せる書。
青木惠一	日本農業問題講話	並四六 製判	181	七〇	共生閣	二月	▲日本農業における資本主義と農業恐慌、農村における階級構成外四章。
日本農業研究會編	日本農業年報	並四六 製判	516	一、三〇	改造社	五月	▲農業問題の新局面、新資料を基礎としての事實の分析、補民地農業問題外一部。
日本農業研究會編	日本農業年報	並四六 製判	531	一、三〇	改造社	十月	▲第三輯は米穀問題特輯で、事實の分析、第六十四議會と農政諸問題外二部。
帝國農會編	農業年報	洋四六 布入判	654	一、〇〇	帝國農會	一月	▲農業界概観、農業生産要素、農家生産物の生産需給並に消費外九章。
新農業新聞社出版部編	日本農具要覽	洋四六 布入判	720	一、八〇	新農業新聞社出版部	二月	▲農具に關する資料を全般的に蒐集し實際本位に説ける書で、日本農具の沿革其他。
河村九淵	農業土地政策論	洋四六 布入判	419	二、三〇	有誠堂	三月	▲救農の具體政策に就て論述せるもので、農業界空前の大危期、自力更生其他。
澤村康	農業土地政策論	洋四六 布入判	437	二、八〇	養賢堂	十月	▲農業土地政策に就ての論述で、小作制度改革政策、土地分配政策外二章。

五五九

最新實用農產加工叢書 菊地久一著

改訂版二 版三 版二 版三 版三 版二 版訂改

特許を得たる農產物製造法
農產加工設備の實際
漬物加工と其の實習
蔬菜類の罐詰と壇詰
果實類の罐詰と壇詰
飲み物の簡易な製法
自家用化粧品製法
大豆利用食品加工法

菊版最上製本 五百七十八頁 送料三圓五十錢
菊版最上製本 二百〇八頁 送料一圓四十錢
並製美裝本 七〇三頁 送料七圓五錢
並製美裝本 四六六頁 送料百圓六十錢
並製美裝本 五十六頁 送料百圓六十錢
並製美裝本 八十五頁 送料百圓六十錢
並製美裝本 六十五頁 送料百圓六十錢
並製美裝本 六十五頁 送料百圓六十錢

漬物節約用厚生罐詰法は現代農產物加工上必要な注目を蒙つてゐる。本書は明治十八年より昭和八年迄四十九年間の心血を注いで得た特許製造法六百餘種について、其の詳細を記述したもので新界空前の一大文庫。
新界權威の著者が二十餘年間に農產加工の理論に實際に、そして特に實用本位の實習上、年々刷新で打ち立てた加工年中行事を根柢として、原料の採擷努力配當、經費の節約、罐詰地産品運送をセフトに設備の會を詳説す。
著者が數多い粗生産物、最も有利に始末し、作業上何人にも清潔の興味と實益を得るものは漬物加工だと思ふ。これが實際の優良製品を得るに缺くべからざる會を一切公開發表して世に裨益せんとした良書。
罐詰製造の需要と實用化は最近の工業界一大驚異である。そして最早これを工業家の手に委しておく時代でないことを著者は、特に強調し、實地衛生經濟實益兼用の製品を簡易に得られるその會を詳説した實用書。
農產と果實の粗生産物を加工して自給經濟の確立を計り一面生産價値をこれによつて高め製品の購入を防ぐと共に、かつ、各自製品の市場進出によつて經濟的潤滑を得るに至る極めて興味あり且實用的有用加工法の會を公開。
著者は曰く本書一冊の購入代金は、本書によつて自家用飲み物の一品を製作利用することによつて償ひ得る。さ如何に本書が生活の實際に實用問題有効であり、消費節約、罐詰生活上實益大なるものあるかは已に世の定評。
著者は不自然な現代的生活を高調せず、實に自然の變化、調和による人間美化は人生の缺く難きはざるものだと叫ぶ。而して自家在在の材料を利用美化して、罐詰を衛生經濟罐詰味の優良化製品を各自製作し得る會を公開。
著者自身の研究による、大豆利用の如何に罐詰實益あるものかは本書を讀んで驚く如く、罐詰大豆利用法罐詰豆油の製法一つでもこれを家庭に家庭に或は會場にも用ゐることになり、罐詰は最大實益を得ることになる。

東京市東區橋下區合落二〇〇丁 東京公民社發行

五五八

農業(農業一般・農業經營)

ソヴェエト事情研究会編	立體農業の研究	東北農業の研究	新興の農村	我が農村の進路	富強民強	自力更生と農村指導者	自力更生と農村青年	自力更生と農村婦人	農村生活の調査	新農村計畫
ソヴェエト事情研究会編	立體農業の研究	東北農業の研究	新興の農村	我が農村の進路	富強民強	自力更生と農村指導者	自力更生と農村青年	自力更生と農村婦人	農村生活の調査	新農村計畫
並編	並編	並編	並編	並編	並編	並編	並編	並編	並編	並編
洋函六	洋函六	洋函六	洋函六	洋函六	洋函六	洋函六	洋函六	洋函六	洋函六	洋函六
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
243	92	56	64	40	72	156	326	77	506	128
一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、二〇
叢文閣	厚生閣	協調會	泰文館	刀江書院	明文堂	明文堂	西行會原	西行會原	西行會原	西行會原
月二	月二	月五	月九	月二	月五	月二	月三	月三	月三	月四
▲千二百八十三萬八千戸の農家が共營農場に加入してゐる(ゴリーキイ)外十五章。	▲立體農業に就ての研究で、立體農業原理、經濟農園應用と國家的應用外一篇。	▲青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島の東北六縣の農業研究で、東北地方の概観外二章。	▲日本丁株の稱ある愛知縣碧海郡の農業状態を紹介せる書で、碧海郡の米麥外十四章。	▲隠岐に行はれてゐる牧畑式農業經營の檢討で、牧畑式經營とその基礎的諸條件外二章。	▲農業の行詰、自力更生の意義、更生の基調、疲勞の原因、農民の自覺、經濟の建直其他。	▲余は何故に富民協會を設立したか、多收穫の獎勵について、農業經營の合理化其他。	▲世界經濟不況と統制經濟運動、匪救事業と自力更生運動、農村指導者の覺悟其他。	▲嵐の中の助け船、まづ魂を入れ更へよ、舊套をすてて新生へ、赤い夕陽の滿洲へ其他。	▲經濟人としての指導、自治公民としての指導、文化人としての指導其他にて論述。	▲自力更生と農村婦人に就て述べたもの。

農業(農業一般・農業經營)

協調會農村課編	協調會農村課編	中央教化會編	石田傳吉	長野長廣	木村靖二	内田浩	田畑爲彦	江坂佐太郎	中谷藤太郎	農業經濟研究所編	農業經濟研究所編	川井時納
農村更生計畫の樹て方	農村更生計畫の樹て方	難關突破の新生活	理想の農家	日本農村の新生經營	自力農家の經濟更生	實例篤農家奮闘記	農村繁榮策	園藝農産物販賣の合理化	農村負債整理組合法問答	農業經濟研究所編	農業經濟研究所編	簡明農業經營要覽
並編	並編	並編	並編	並編	並編	並編	並編	並編	並編	並編	並編	並編
洋函六	洋函六	洋函六	洋函六	洋函六	洋函六	洋函六	洋函六	洋函六	洋函六	洋函六	洋函六	洋函六
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
105	111	475	485	540	160	172	184	431	64	412	198	384
一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、二〇
協調會	協調會	中央教化會	泰文館	明文堂	博文館	博文館	博文館	泰文館	泰文館	泰文館	泰文館	明文堂
月九	月九	月八	月一十	月六	月十	月十	月二十	月六	月七	月二十	月六	月六
▲協調會が實施せる井泉村の實地調査を中心として農村更生計畫の樹て方に就ての記述とある實地調査の數字集計。	▲埼玉縣北埼玉郡井泉村の實地調査の中、異色ある實地調査の數字集計。	▲各地方の更生實話集で、北海道、東北、關東、北陸、中部、近畿外三地方各縣に互る。	▲青年兄妹が科學の指示する處を聞き、既倒する家政を挽回するまでの行程を描いた書。	▲農村經營の全事項を綜合して系統的に論述せるもので、日本農村經營總論外二編。	▲自力農家の根本目標、自力農家の要領外四章にて農村更生を平易に説述せし書。	▲農業界に於ける各方面の特農家・篤農青年十八氏の奮闘記を蒐録せるもの。	▲資本主義と農村、苦惱する農村、農村救済策の三篇にて農村の繁榮策を述べた。	▲中央卸賣市場及販賣統制問題等に就て詳述せる書で、園藝農業の一般的趨勢外十章。	▲三重縣高茶屋實業公民學校經營の農産物販賣場の實際に就て述べた書。	▲第六十四議會に於ける農村負債整理案に就ての貴、衆兩院委員會の質疑應答の集録。	▲座談的に農業經濟信用法を研究せるもので、農業經濟信用法の要領(後藤文夫)其他。	▲農事上の重要事項を系統的に解説せるもので、氣象篇、土壤篇、肥料篇、外十一篇。

農業經濟

大久保 敬	新時代の農家經濟	並四六製判	288	一、三〇	八〇	明 文 堂	月 二	▲農家經濟の全般に亘つて論述せる書で、農業經營、家計外二章。
八木澤 善次	農村經濟政策論	洋函菊	554	四、三〇	三三〇	巖 松 堂	月 五	▲農業經濟指導原理の体系的な究明書で、農業政策の史的變遷外十二章。
高橋 龜吉	農村經濟講話	並四六製判	275	一、三〇	六〇	時 潮 社	月 三	▲農村問題の核心に就ての講述で、一般經濟制度の進化と農村經濟の變質外四章。
東京帝國大學農學部農政學研究室	漁村經濟の研究	並菊	248	一、三〇	八〇	東京帝國大學農政學研究室	月 九	▲漁村に於ける經濟事情の調査研究で、漁村調査の大要、遠洋漁業の村外二篇。
立命館大學助教授 大谷 政敬	農村經濟の窮乏と對策	並四六製判	100	六〇	六〇	出立 版命部館	月 一	▲私經濟上よりする窮乏と對策、財政上よりする窮乏と對策外一篇にて論述。
木村 皓一	讚岐農村經濟の解剖	並四六製判	491	一、八〇	一〇〇	四國教育圖書株式會社	月 二〇	▲數字と事實談で完全に讚岐農村經濟を分析批判せるもの。
京都帝國大學教授 蜂川 虎三	漁村問題と其對策	上函四六製判	167	六〇	六〇	出立 版命部館	月 一	▲漁村問題の實相を紹介し其對策の焦點を示せるもので、漁村民のSOS外九章。
中澤 辨次郎	日本米價變動史	洋函菊	552	六、八〇	三三〇	明 文 堂	月 二	▲日本米價變動の跡を検せるもので、米價變動史論考、米價史年表の二編。
中澤 辨次郎	蠶絲經濟概論	洋函菊	482	四、三〇	三三〇	明 文 堂	月 一〇	▲最近國際政局乃至世界經濟との關係に於ける我が生絲産業の動向に就て述べた書。
森 本 宋	蠶絲業と國際經濟	並四六製判	220	七、三〇	六〇	明 文 堂	月 四	▲世界恐慌下の蠶絲業、米國恐慌の影響、蠶絲業對策等にて詳述す。
山中篤太郎	米價政策の研究	並四六製判	133	八〇	六〇	森 山 書 店	月 二	▲米價政策の問題を各方面から考察せる書で日本資本主義に於ける農村問題外五章。

高橋 慎造	農産製造實習法	洋函菊	571	四、八〇	一〇〇	西 行 會 原	月 三	▲農産製造の實際工作に關して論述せる書で、燃料、澆灌及び澆灌外廿八章。
菊地 久一郎	特許農産物製造法	上函菊	578	二、五〇	一四〇	日 本 農 産 加 工 研 究 會	月 十	▲特許を得たる農産物製造法に就きその製造要領及明細書を記載し研究資料に供せる書。
日本資料研究所編	名産食品製造法	洋函菊	450	三、八〇	一四〇	共 立 社	月 七	▲各地名産食品の製造法を蒐録せる書で、甘藷饅頭製造法(鹿兒島縣)外九十五篇。
菊地 久一郎	農産加工設備の實際	上函菊	208	一、五〇	二二〇	東 京 公 民 社	月 五	▲農産加工の設備に就ての實際書で、農産加工の範圍、精米機外廿二章。
東京朝日新聞通信部編	農山村副業相談	並四六製判	403	一、五〇	二二〇	明 文 堂	月 九	▲農、山、漁村に於ける新しい有利な副業に對する調査と計畫とを述べたもの。
深井 冬史	醬油醸造加工論	洋函菊	571	五、〇〇	三三〇	東 京 調 味 研 究 會	月 二〇	▲醬油の製品加工技術の秘法を網羅叙述せる書で、醬油加工速論外二篇。
植月 虎男編	小麥及製粉提要	洋函菊	313	二、八〇	一四〇	成 美 堂	月 三	▲小麥及び製粉に就ての研究で、小麥の起源、小麥の生成と成熟外廿一章。
報知新聞通信部編	農村副業と共同販賣	上四六製判	339	一、五〇	二二〇	千 倉 書 房	月 一	▲全國各道府縣に於ける優秀組合、團體の代表的なものを紹介せる書。
駒場畜産研究会編	豚肉加工法(附製革法)	並菊	86	四、三〇	六〇	西 行 會 原	月 三	▲豚肉の加工法に關する技術上の正確なる知識を述べた書で、豚の屠殺及び解體其他。
菊地 久一郎	漬物加工と其の實習	並菊	203	八、七〇	一四〇	東 京 公 民 社	月 五	▲農産加工の總てに亘つて綜合的に述べた書で、大根の漬方、茄子の漬方外四十章。
菊地 久一郎	農産物利用自家用化粧品製法	並菊	130	六、〇〇	六〇	教育研究會	月 八	▲農産物を利用しての化粧品の製法に就て述べた書で、化粧品の製法外十篇。
菊地 久一郎	果實類の罐詰と燻詰	並菊	133	六、〇〇	六〇	教育研究會	月 六	▲果實類の加工に就て述べたもので、食品の貯藏、罐詰法の大要外十章。
菊地 久一郎	最新飲食物の簡易な製法	並菊	242	一、八〇	一〇〇	教育研究會	月 六	▲農産加工の總てに亘つて平易に述べた書でシロップの造り方外七篇。

農業(農産製造・副業・農學一般・農藝化學)

高橋武雄	安藤安孝	出村要三郎	高浦治太郎	森田久	鈴木茂次	國民新聞社	中島靜夫	近藤萬太郎	片岡重助	村島清	内田繁太郎
農産簡易雜誌と家庭墾詰	販賣漬物類の製法	手揉製お茶の製造法	多期の寒天の製造法	調味と新しい竹細工	本位農村副業大成	堅實で農家の副業	自力自家用食料品の製法	日本農林種子學	訂農學教授大資料	實用自給肥料	實用自給肥料
洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
127	98	144	81	179	465	166	72	469	722	104	163
六五	六五	六五	六五	一〇五	二九〇	四七〇	四三〇	四八〇	四八〇	一八〇	一八〇
藝教	藝教	藝教	藝教	博文館	養賢堂	白揚社	泰文館	養賢堂	寶文館	明文堂	西行會
盟農	盟農	盟農	盟農	博文館	養賢堂	白揚社	泰文館	養賢堂	寶文館	明文堂	西行會
月九	月九	月九	月九	月十	月一	月一	月五	月一	月六	月五	月二十
▲我國獨特の産物たる寒天の製造法に就て述べた書で、寒天の製造法外十三章。	▲各種製茶の製法を極めて平易に述べた書で、製茶の種類、日本に於ける茶の産額外八章。	▲主要なる漬物類の漬け方に就て述べた書で、福神漬の製法、白菜漬の製法外十二章。	▲簡易に出来る農産雜誌と家庭墾詰に就て述べた書で、食品貯蔵の常識外八篇。	▲原料に對する簡單な操作から農家で容易に製造し得る食料品を述べたもの。	▲堅實で儲かる農家の副業二十餘種を平易に記述せる書。	▲作業容易なる副業を選擇し収益に重點を置いて説ける書で、副業經營上の注意其他。	▲農村生活者が加工し易い副業としての竹細工に就て述べた書で、玩具類其他。	▲前編は種子に關する總論を述べたもので、農林種子の需給、種子の性状一般外十九章。	▲寫眞を多く挿入して詳述せる綜合農學書で、農業及農學概論、耕種及び園藝外七篇。	▲我國神話上の農神、我國歴史上の農神、傳説上の農神、特殊の農神祭、外四章。	▲田畑山林の測量に關する實際書で、測量の

農業(農學一般・農藝化學・園藝・作物)

織田富士夫	駒村作次郎	原攝祐	教育資料研究會編	渡邊幸吉	松岡喜惣治	工藤齊	工藤齊	古谷春吉	山田直文	吉村清尚	波多腰節編著
農病害虫の藥劑驅除	農防蔬菜果樹害虫便覽	農作物の病害と虫害	最新農藥劑便覽	農業藥劑提要	作物病蟲害驅除と藥劑用法	わかりやすい肥料配合の話	わかりやすい堆肥製造の話	根瘤菌の使ひ方	最新通俗肥料講話	實用自給肥料	園藝作物學
洋四六	洋四六	洋三六	洋三六	洋三六	洋四六	洋三五	洋三五	洋三五	洋四六	洋四六	洋三六
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
516	107	193	152	317	122	90	105	8	159	210	276
四三〇	四三〇	七〇	六〇	三三〇	四三〇	二五〇	二五〇	二二〇	八七〇	一八〇	一〇〇
西行會	博文館	研友社	研友社	養賢堂	明文堂	有誠堂	有誠堂	合資會社	日本種苗會	西行會	泰文館
月六	月十	月七	月七	月一	月六	月六	月一十	月一	月十	月十	月二十
▲工藝用原料に供せらるべき作物八十餘種を講じた書で、紡績料類外十篇。	▲實際園藝家が害虫驅除に當り、最も手軽に適用し得る方法を摘録せる書。	▲作物の病害と虫害に就て述べた書で、普通作物の病害、果樹の害虫外十章。	▲農藥劑に就て解説を施せる便覽で、接觸劑、毒劑、撒布劑、洗滌及防腐劑其他。	▲故渡邊氏の遺著で、緒論、殺菌劑、中毒殺虫劑、接觸殺虫劑の四編。	▲一作物の病蟲害、二農藥劑汎論、三藥劑各論、四作物病蟲害防除概説。	▲肥料の配合を分り易く述べた書。	▲農家經濟上必要なる堆積肥料の製造法を懇切に説ける書。	▲豆科草花、綠肥等の收量を倍加する根瘤菌接種の方法を寫眞入りで詳述。	▲農家經濟上必要なる堆積肥料の製造法を懇切に説ける書。	▲自給肥料に關する論述で、地方と施肥、有機質自給肥料、液肥及び堆肥外七章。	▲農家更生の第一歩を肥料施用の合理化によつて説ける書で、肥料の施用外廿三篇。

農業(園藝・作物)

宮本幸恵	久保田喜代太郎	米山内泰介	高橋久四郎	林原秋男	山岸守	古谷春吉	古谷春吉	古谷春吉	田邊貢	川上善兵衛	川上善兵衛	守屋貫雅
作業科園藝精義	小麥の作り方	萬人有利な蔬菜軟化栽培	本位蔬菜栽培法	有婦人瓜栽培の實際	實メロン栽培法	西瓜栽培	干瓢だいの西瓜栽培	トマト栽培の利益	茶樹栽培及製茶法	葡萄全書中種類各論	葡萄全書下醸造法	新果樹接木の秘訣
洋書編	洋書編	洋書編	洋書編	洋書編	洋書編	洋書編	洋書編	洋書編	洋書編	洋書編	洋書編	洋書編
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
613	576	174	363	257	300	77	8	83	470	632	314	80
四、五〇	二、五〇	六〇	二、五〇	一、三〇	二、三〇	四〇	二〇	四〇	三〇〇	三、五〇	三、五〇	六〇
厚生閣	刊西行ケ會原	明文堂	養賢堂	泰文館	刊西行ケ會原	合日本種會社	合日本種會社	合日本種會社	刊西行ケ會原	刊西行ケ會原	刊西行ケ會原	有誠堂
月十	月五	月二	月一	月六	月二十	月二	月三	月七	月二十	月一	月二	月十
▲花卉蔬菜果樹等の園藝は勿論養魚造園等に 至る迄一般素人にも分る様平易に述べたもの ▲國際的食糧の大宗たる小麥の栽培に就て述 べた書で、我國第として小麥栽培外八章。 ▲軟化栽培を實施して有名と認められたものを輯 録せる書で、軟化栽培法の種類外十一章。 ▲収益本位に重點を置いて蔬菜の栽培を極め て實用的に記述せる書で軟化栽培外三編。 ▲實験を基礎として華人瓜の栽培法を詳述せ る書で、性狀用途、播種外廿章。 ▲メロン栽培の實際を組織的に解説せる書で メロンの温室栽培外六章。 ▲蔓刺病の絶対豫防法、新大和作出法其他諸 論、栽培其他にて述ぶ。 ▲西瓜の刺接法、砧木及種となる西瓜の種類 刺接の方法等にて説述。 ▲諸論、栽培、加工及料理、共同經營、附ト マトの成分分析等にて説述。 ▲總説、茶樹栽培法(氣候、土壤其他十二章) 製茶法(製茶の分類、製茶品質、其他八章) ▲葡萄の分類、葡萄種類各論、葡萄の品種、 葡萄品種の分類、品種各論(二百九十二種)。 ▲葡萄酒、葡萄果、葡萄の成熟、醸造用葡萄 の品種、醱酵、醸造設備、其他六章。 ▲技術を要する果樹の接木に就て述べたもの												

農業(園藝・作物)

宮本幸恵	久保田喜代太郎	米山内泰介	高橋久四郎	林原秋男	山岸守	古谷春吉	古谷春吉	古谷春吉	田邊貢	川上善兵衛	川上善兵衛	守屋貫雅
作業科園藝精義	小麥の作り方	萬人有利な蔬菜軟化栽培	本位蔬菜栽培法	有婦人瓜栽培の實際	實メロン栽培法	西瓜栽培	干瓢だいの西瓜栽培	トマト栽培の利益	茶樹栽培及製茶法	葡萄全書中種類各論	葡萄全書下醸造法	新果樹接木の秘訣
洋書編	洋書編	洋書編	洋書編	洋書編	洋書編	洋書編	洋書編	洋書編	洋書編	洋書編	洋書編	洋書編
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
613	576	174	363	257	300	77	8	83	470	632	314	80
四、五〇	二、五〇	六〇	二、五〇	一、三〇	二、三〇	四〇	二〇	四〇	三〇〇	三、五〇	三、五〇	六〇
厚生閣	刊西行ケ會原	明文堂	養賢堂	泰文館	刊西行ケ會原	合日本種會社	合日本種會社	合日本種會社	刊西行ケ會原	刊西行ケ會原	刊西行ケ會原	有誠堂
月十	月五	月二	月一	月六	月二十	月二	月三	月七	月二十	月一	月二	月十
▲花の栽培を講 述せる書で、花の種類外廿二章。 ▲新しい學說と實験とに基いて花の栽培を講 述せる書で、害虫の加害狀況其他。 ▲實際に適用される花卉盆栽の害虫驅除に就 き述べた書で、害虫の加害狀況其他。 ▲最も適當した土の作り方外廿三章。 ▲新しき草花の栽培に就て述べた書で、花に 最も適當した土の作り方外廿三章。 ▲花の栽培の基礎となる豫備知識に就ての説 明で、栽培の種類と其の要領外十九章。 ▲實際園藝に於ける毎月爲すべき知識を平易 に説いた書。附録蔬菜種蒔表其他。 ▲露地栽培のものにして花壇に應用し得る草 花を蒐録せるもので、花壇の種類外十三篇。 ▲實際園藝に於ける毎月爲すべき知識を平易 に説いた書。附録蔬菜種蒔表其他。 ▲花の栽培の基礎となる豫備知識に就ての説 明で、栽培の種類と其の要領外十九章。 ▲最も適當した土の作り方外廿三章。 ▲新しき草花の栽培に就て述べた書で、花に 最も適當した土の作り方外廿三章。 ▲實際に適用される花卉盆栽の害虫驅除に就 き述べた書で、害虫の加害狀況其他。 ▲新しい學說と實験とに基いて花の栽培を講 述せる書で、花の種類外廿二章。												

農業(園藝・作物・林業・造園)

立石 恒四郎	淺川 英一	吉川 銀太郎	大橋 勇吉	近藤 紫雲	吉村 巖	小林 憲雄	篠原 徳之助	泉 岩太郎
著者 菊栽培大成	著者 菊と洋菊の作り方	著者 蘭と萬年青	著者 仙人掌の室内栽培法	著者 大輪咲朝顔	著者 趣味の盆栽仕立方	著者 第六回盆栽展寫真帳	著者 母と子の園藝	著者 木材の乾燥
洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判
488	290	158	77	200	258	80	424	229
三三〇	二〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
養賢堂	資文堂	博文館	博文館	博文館	明文堂	叢會	成美堂	利西行會原
月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十
▲通俗的、實際的に菊の栽培法を述べたもので、解説篇、栽培篇、鑑賞篇、菊花展の四篇で、學術と實際の兩方面より平易に説ける菊の栽培法で、菊の性状、菊の定植外廿七章、蘭及び萬年青の來歴、品類、品名、培養法繁殖法其他に就て述ぶ。	▲蘭及び萬年青の來歴、品類、品名、培養法繁殖法其他に就て述ぶ。	▲寫眞を多く挿入して説いた仙人掌の室内栽培法書で、培養土は何かよいか外廿二章。	▲苗より品種及培養土の作成、大輪に咲かせる秘訣等を説く。	▲大衆向の小物盆栽の作り方を解説したもの、大衆盆栽の培養土について外二篇。	▲第六回盆栽展出品全部の寫眞を掲載しこれに詳細に解説せる盆栽展の全貌の記録。	▲子供の間藝に對する母の指導書で、園藝の一切を網羅し平明に解説す。	▲木材の人工乾燥に關する智識を詳述せる書で、木材の水分と乾燥外七章。	▲森林經理學(石原清逸)林政學(田中由十郎)森林法制(高山三平)外一篇。

農業(林業・造園・蠶業・製絲)

志村 茂治	神津 直人	井上 柳梧	金成 金彦	横山 桐郎	齊藤 勝雄	齊藤 勝雄	齊藤 勝雄	吉村 巖	農林省山林局	北島 君三	關谷 文彦
著者 生絲市場論	著者 最新製絲法講話	著者 絹の製法	著者 蠶の原理	著者 蠶業害蟲編	著者 庭園意匠鑑	著者 庭園圖說	著者 庭園手入曆	著者 庭造百題	著者 木材需給狀況調査	著者 樹病學及木材腐朽論	著者 木材工藝學
洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判
386	286	597	104	337	178	310	358	312	300	505	403
一、五〇	一、三〇	四、三〇	四、三〇	一、三〇	一、五〇	三、九〇	二、三〇	一、八〇	一、八〇	四、八〇	三、三〇
明文堂	明文堂	興文社	明文堂	弘道館	成美堂	成美堂	成美堂	明文堂	水産社	養賢堂	養賢堂
月三	月四	月八	月三	月五	月一十	月六	月三	月六	月四	月二	月六
▲國際分業と國際連繫、生糸市場、糸價、糸價對策の吟味外一章にて論述。	▲難澁な製絲法の一般を平易に説いた書で、生糸と繭糸、原料の保全外五講。	▲絹糸の各部門を聯結して論述した書で、絹糸論、製絲、紡績外一篇。	▲蠶業上必要な知識を最も平易に説ける書で、蠶業害蟲論外一篇。	▲第一章緒言、第二章生活及成長、第三章蠶の經過と其習性、第四章眠起。	▲住宅庭園の寫眞を一々挿入して工費計算法の基礎を説ける書で、築山の部其他。	▲始めに意匠例を隨筆風に挙げ、終りに意匠に就ての心得を述べたもの。	▲庭園の細部又は部分庭百種を選び挿畫を附して解説と築造の一般を記述せるもの。	▲月々に於ける庭園手入れの作業、方法等其全般に就て述べた書。	▲住宅庭園の寫眞を一々挿入して工費計算法の基礎を説ける書で、築山の部其他。	▲内地は勿論各植民地に亘る木材の需給を各種別に示した便覽。	▲木材の工藝的利用に關し其木材の性質を考究せるもので、木材腐朽論外二篇。

吉村 定雄	赤沼 治男	鍵谷 傳	鈴木 伊平	小山 清	田村 熊次郎	中川 房吉	農林省蠶絲局編	農林省蠶絲局編	澤田 壯吉	齊木 茂	山田 喜平
生糸品位検査並に格付の實際	最新天蠶及柞蠶論	桑樹全害蟲名檢(附除害法)	養蠶豐作の秘訣百ヶ條	製絲原料便覽	製絲學新講	絲格向上製絲法	蠶絲業關係法規	蠶絲業要覽	滿蒙畜産要論	病牛の素人療法	綿羊と羊毛加工
洋四六 布入判	洋四六 布入判	上三五 製判	上四六 製判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 製判	洋四六 製判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 製判
248	360	76	102	198	536	398	500	1200	414	133	180
一、八〇〇	二、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	一、三〇〇	四、〇〇〇	三、〇〇〇	八、〇〇〇	二、三〇〇	三、〇〇〇	四、〇〇〇	六、〇〇〇
明文堂	丸山會	丸山會	丸山會	明文堂	明文堂	明文堂	水産社	水産社	滿蒙學校	有誠堂	明文堂
月十	月二十	月十	月四	月七	月五	月四	月二十	月二十	月二十	月十	月二十
▲生糸検査並に格付方法の實際に就ての解説で、検査項目及び検査の順序外十四章。	▲天蠶及柞蠶に就て卵より製糸に至る迄の詳細を著述せるもの。	▲桑樹の害蟲名がすぐ分る様になつてゐる檢索書で、附録に驅除法を收む。	▲養蠶豐作上に必要な秘訣を百ヶ條として蒐録せるもの。	▲蠶の品種と繭質、繭の理化學的性質、繭質決定要諦と其肉眼的鑑定法、繭質鑑定法。	▲第一編製絲原料論、第二編繭の價值鑑定法、第三編煮繭法、第四編繭絲法。	▲第一篇生絲格付検査法、第二篇生絲の品位向上法、第三篇絲格向上製絲法。	▲蠶糸業に必要な事柄を説いた要覽。	▲日本蠶糸業全般の總ての法規を精細に纏めたもの。	▲滿洲國畜産界の全貌を具體的實例を擧げて論述せる書で、家畜の分布と牧畜狀態其他。	▲一名獸醫の來る迄とも云ふ即ち牛の病氣或は畜畜に際し直に手當する方法施藥等を記す。	▲總説、綿羊の飼育經濟、綿羊の疾病等にて述ぶ。

津村 新之助	中外 八根 氏榮	中村 勝一	大場 彌平	犬の研究社編	鶴見 孝太郎	中島 基雄	高久 兵四郎	碓 氷 元	中 根 榮	板垣 四郎	小柳津 友治	鈴木 幸三
犬の飼育	犬の知識	最新流行犬百種	流行犬フオツクステリア	シエーパード犬の飼ひ方	日本犬の飼ひ方	軍用犬訓練の寫眞圖解	軍用犬必携	犬の病氣と治療法	養鶏飼料新知識	養鶏飼料新知識	養鶏飼料新知識	養鶏飼料新知識
洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判
168	397	190	161	205	246	192	234	198	170	180	200	376
二、〇〇〇	二、三〇〇	一、五〇〇	一、八〇〇	一、一〇〇	一、七〇〇	一、四〇〇	一、〇〇〇	一、二〇〇	一、六〇〇	一、五〇〇	一、三〇〇	二、〇〇〇
有誠堂	春陽堂	東北書院	出版ノ社内	出版ノ社内	出版ノ社内	春陽堂	春陽堂	狼吟莊	出版ノ社内	出版ノ社内	西行會	明文堂
月四	月十	月十	月十	月九	月二十	月二十	月二十	月十	月七	月九	月十	月九
▲陸軍省改訂に依る一般飼育法の標準に便せらるるもの。	▲世界の權威者が遺言を授けた犬の研究講座で、テリヤク類(伊藤義節)外八篇。	▲畜犬家の手引として平易に講述せる書で、犬の知識と飼育篇外二篇。	▲獨逸の種類と其の養能に就て述べた書で、獵犬、獨逸ポインター外十四篇。	▲犬の種類の代表的なもの百種を選びその來歴氣質特徴形態等を分り易く述べた書。	▲多數の寫眞並に圖解を挿入して流行犬フオツクステリアの沿革、飼ひ方其他を説述す。	▲シエーパード犬の飼ひ方に就て述べた書で、蕃種篇、飼育篇、審査篇の三篇。	▲日本犬の飼ひ方に就て述べた書で、日本犬の起元と歴史、蕃種と育成外五章。	▲軍用犬訓練の有様を寫眞にて平易に説けるもので据座及招呼、障礙外廿二篇。	▲軍用犬の研究に志す初心者の爲に其知識を五十音順に配列して説ける辭典。附犬病辭典。	▲犬の病氣と治療法に就て述べた書で、熱、傳染病、消化器病、皮膚病其他。	▲著者の實験經驗を基礎に述べた育雛の秘法で、拿型育雛法外五章。	▲養鶏飼料に就ての新知識書で、各養鶏素の意義、鶏とキサントフィル外十一章。

農業(畜産・家禽・水産)

三川井 義雄	衣川 喜久雄	千鳥 喜久雄	古谷 春吉	古谷 春吉	白木 正光	北原 利男
家禽圖鑑	養鶏の卵全講	多産鶏の飼ひ方	カーキーキャンベルの飼ひ方	愛國傳書鳩の飼ひ方	養蜂の實際	北洋漁業之大革命
洋紙箱 倍入判	布面菊 裝入判	並菊 製判	並菊 製判	洋四六 布判	洋四六 布判	布面菊 裝入判
500	408	27	16	217	253	240
三〇〇 二五〇 五四	四〇〇 三〇〇	二〇	二〇	一八〇	一八〇	二〇〇
成美堂	養賢堂	日本種苗社	日本種苗社	合資種苗社	厚生閣	水産通信社
二月	九月	六月	一月	三月	七月	十一月
▲日本在來種及び外國種の大部分の家禽を三七頁に寫眞にて收め解説を別冊に施す。	▲理論及び實際上より鶏卵の全般に就て述べた書で、鶏卵の構造形成及物理學的性質其他	▲肛門雄雌別法の多産期の見分け方、陸上	▲陸飼養カーキーキャンベルの飼養法、育雛	▲家庭に於ける傳書鳩の飼ひ方馴らし方鳩舎の様式等に就て述べた書。	▲蜜蜂の生活より其の一般の飼ひ方を述べた實際書で、蜜蜂の生活外四章。	▲今未曾有の難關に達着してゐる北洋漁業の將來の歸結に就ての指針書。

一四 理科學

科學一般・通俗科學

理科學(科學一般・通俗科學)

著者	書名	形態	頁數	定價	發行所	月行發	内容大意
綜合自然史學會編	綜合科學論叢	洋面菊 布入判	327	三〇〇	改造社	七月	▲化合力に就て(水島三一郎)現今の航空發
東京天文臺編	理科年表	洋面菊 布入判	418	一、五〇〇	東京大學	九月	▲曆部、天文部、氣象部、物理化學部、地學
ニユートン著	プリンシピア	布新四六 裝判	206	六〇〇	春秋社	九月	▲アイザック・ニユートンの主著で、此譯書
ニユートン著	プリンシピア	布新四六 裝判	286	六〇〇	春秋社	九月	▲下卷には、物體の運動第一書九部と、第三
マクス・プランク著	科學は何處へ	布新四六 布入判	216	一、八〇〇	白帝書房	六月	▲プランクの「科學は何處へ」の譯で、科學
大橋祐之助	科學者は斯く生きる	布面四六 裝入判	223	一、八〇〇	恒星社	七月	▲人類の先驅者たる科學者達の生活を描ける
西村眞琴	科學隨想	布面四六 裝入判	350	一、二〇〇	中央公論社	二月	▲科學味と文藝味の妙圓な合致をなせる隨想
寺田寅彦	物質と言葉	布面四六 裝入判	377	二、〇〇〇	鐵塔書院	十月	▲物質と言葉、言葉と人間、書籍紹介の三部

理科學(科學一般・通俗科學)

Table with columns for author, title, format, price, publisher, and date. Includes entries like '自然觀より人生觀へ' by 永井 潜 and '物理化學の進歩' by 京都帝國大學編.

五七四

物理・化學

理科學(科學一般・通俗科學・物理・化學)

Table with columns for author, title, format, price, publisher, and date. Includes entries like '物理化學の進歩' by 京都帝國大學編 and '物理學要論' by 一瀬正己編.

五七五

大谷 武夫	高岡 齊	鈴木 庸生	田所 哲太郎	高瀬 豊吉	石橋 雅義	飯島 俊一郎	石橋 雅義	向井 参之充	津田 榮編	江見 節男	江見 節男	石川 一編
水産食品化学	染料化学	寫真化学	續酵素化学	化学構造と生理作用	重量分析實驗指針	訂改要説無機化学	定性分析實驗指針	化学分析の理論と計算	無機及理論化学	高等無機化学	高等有機化学	有機化学要論
洋装編	洋装編	洋装編	洋装編	並四六倍判	並装判	並装判	並装判	洋装編	洋装編	洋装編	洋装編	洋装編
布入判	布入判	布入判	布入判	製判	製判	製判	製判	布判	布判	布判	布入判	布入判
548	252	240	407	108	114	328	108	352	311	215	243	430
三、五〇	二、二〇	二、一八〇	四、〇〇〇	一、二〇〇	一、三〇〇	三、〇〇〇	一、三〇〇	三、〇〇〇	二、一〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	三、八〇〇
日本評論社	共立社	共立社	式會善社株	力ニヤ	力ニヤ	力ニヤ	力ニヤ	裳華房	裳華房	裳華房	裳華房	培風館
月六	月一	月一	月九	月一十	月四	月四	月三	月五	月三	月十	月二	月四
▲水産食品化学に就て述べたもので、食品化学の意義、水産動物の筋肉外十五章。	▲染料化学に就ての簡明なる説述で、染料中間體、合成染料の二章。	▲現在の寫真術中化学的の都合に就て説明せるもので、寫真術の發達外十三章。	▲酵素化学の最近特に進展せし事實を収録した書で、酵素の理化学的性質外廿一章。	▲化学構造と生理作用に就て述べたもの。第一卷。	▲重量分析の根幹である重量分析に就て述べたもの。	▲高等學校の参考用及大學入學の準備用としての好伴侶である。	▲分析化学入門の第一歩たる普通元素の定性分析を確實に踏ましめんとするもの。	▲全篇を通じて理論の次に問題を掲げて解答を施せる書で、一般理論及計算外三編。	▲高等學校理科及び同程度の諸學校の無機化学並に理論化学の参考書としての論述。	▲高等專門學校の無機及び理論化学の教科書として編纂せる書で、無機化学の部外一篇。	▲電磁波と寫真乾板、シアニン色素の二篇にて寫真乾板の感光増性色素に就て述ぶ。	▲有機化学の基礎的事項に就ての論述で、鎖状化合物外一章、環状化合物の二篇。

竹村 貞二	尾形 輝太郎	隈部 一雄	藤岡 山夫	栗原 嘉名芽	二神 哲五郎	藤原 咲平	物部 長穂	小幡 重一	湯美 正	森 總之助	福本 正人	菊池 正士
化学思想の原理	感光色素	蓄音機の科學	スベクトルと物質の構造	水波	紫外線・赤外線	大氣中の光象	水理學	實驗音響學	初等力學通論	力學史	力學史	量子力學
洋装編	洋装編	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	洋装編	洋装編	洋装編	洋装編	洋装編	洋装編
布入判	布入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
235	249	140	130	121	137	105	578	341	267	606	365	245
三、五〇	三、〇〇〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	三、八〇〇	六、〇〇〇	二、〇〇〇	三、八〇〇	二、九〇〇	一、三〇〇
中文館	山海堂	鐵塔書院	鐵塔書院	鐵塔書院	鐵塔書院	鐵塔書院	岩波書店	岩波書店	共立社	式會善社株	恒星社	岩波書店
月十	月一十	月九	月七	月六	月六	月六	月三	月九	月五	月九	月一十	月三
▲化学變化についての思考を論理的に述べた書で、酸化反応、水化反応外六篇。	▲電磁波と寫真乾板、シアニン色素の二篇にて寫真乾板の感光増性色素に就て述ぶ。	▲音響學の初歩並に機械的蓄音機の構造に関する知識を述べた書で、音と音波外三篇。	▲スベクトル研究を中心として見た原子論物質構造論の平易な説述で、スベクトル外三篇。	▲波動の一つとしての水波、水面波の研究法風浪の生成と發展外十二章にて説述。	▲太陽の紫外線、紫外線の作用、紫外線の利用、紫外線赤外線の發見外五章。	▲大氣中に起る現象に就て述べたもので、暁稲田の御光、層氣樓的現象外九章。	▲水及び流體の性質、静水壓、浮體及び水槽の流動に關する基本定理外廿一章。	▲音の傳播、發音體、音響の分析、音響に關する諸量の測定外九章にて論述。	▲初等力學に就て平易に論述せる書で、運動學、動力學、静力學の三編。	▲平易に説述した初等力學書で、位置及び變位、剛體に働く力外十六章。増補版。	▲哲學を根柢として理論力學の史的發展に對する考察を論述せるものツェノン外五十六章。	▲量子力學の基本的な方法と其重要な結果を簡明に叙述せる書で、多粒子問題外七章。

龜高 博士	西浦 伊八郎	中川 八太郎	田中 宗愛
德平 人生化學	木村 化學	有機化學實驗指針	有機化學實驗法
詳編	詳編	詳編	詳編
布判	布判	布判	布判
783	553	151	95
四、八〇〇	三、八〇〇	一、二〇〇	一、〇〇〇
丁未出版社	式丸會社	淺見文林堂	裳華房
三月	四月	五月	三月
▲一般化學及び無機化學に關するもの、有機化學及び生物化學に關するもの外三章。	▲纖維、樹脂、タンニン、リグニン、糖分等木材の主要成分を取扱つてその用途を闡明するやう述べたもので、空氣の組成外甘藷。	▲小學校理科書中の實驗を自由に取扱ひ得るやう述べたもので、空氣の組成外甘藷。	▲各種專門學校又は大學に於ける有機化學實驗用教科書で、硝化、チアゾル化反應外十一章

天文・地文・氣象

山本 忠一	山本 一清	小森 幸正	野尻 抱影	平山 清次	寺田 忠寅	坪井 忠二	高橋 純一	井井 忠二
天文學辭典	登山者の天文學	星座行脚	春夏秋冬星座神話	曆法及時法	地球物理學	地球物理學	地球物理學	地球物理學
詳編	詳編	詳編	詳編	詳編	詳編	詳編	詳編	詳編
布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判
231	150	175	241	208	207	549	128	448
三、五〇〇	一、〇〇〇	六、五〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	八、〇〇〇	六、五〇〇	八、〇〇〇	一、〇〇〇
恒星社	恒星社	新光社	研究社	恒星社	岩波書店	内田老鶴閣	鐵塔書院	鐵塔書院
六月	六月	六月	六月	六月	六月	六月	六月	六月
▲天文學一般用語及び各方面の術語天體星座其の他に關し内容的に解説を施せるもの。	▲星による時間と方角の測り方其他を平易に説ける登山家、天幕生活者の必携書。	▲月々に代る各星座の位置や神話傳説を中心に見分け方、各星々の配列等を説明せる書。	▲ギリシャローマの星座神話を物語り星座の知識に及んだ書で、春の星座外四部。	▲太陽曆、支那曆とギリシャ曆、日本に行はれたる時刻法外八篇にて論述。	▲地球の大き、形狀及び地殼や内部の構造等に關する研究で、地球圓形説外十一章。	▲地殼の構造、生物學的方法にて研究せるもの。	▲地球に就ての知識を平易に述べた書で、地球の形と大き、大陸と大洋外五章。	▲地殼學の新しい研究を収めたもので、地殼の世界的分布、地殼波の初發外三十五章。

大畑 達雄	小泉 丹	村林 仁八	木村 廉	山羽 儀兵衛	山羽 儀兵衛	古屋 芳雄	中澤 毅一	福井 玉夫	岡田 武松	松澤 武雄	和達 清夫
人間の由来	進化學序講	遺傳の研究	組織培養	一般細胞學	細胞學概論	民族生物學概論	生物學十講	生物學概論	測候瑣談	地殼學	地震學
詳編	詳編	詳編	詳編	詳編	詳編	詳編	詳編	詳編	詳編	詳編	詳編
布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判
401	462	283	80	661	541	256	336	325	448	307	279
一、〇〇〇	三、三〇〇	二、五〇〇	八、七〇〇	七、二〇〇	八、〇〇〇	二、五〇〇	二、〇〇〇	二、八〇〇	二、〇〇〇	八、〇〇〇	一、〇〇〇
大畑書店	岩波書店	弘道閣	鐵塔書院	裳華房	岩波書店	雄山閣	厚生閣	三省堂	鐵塔書院	岩波書店	鐵塔書院
一月	二月	一月	二月	二月	二月	一月	九月	五月	三月	二月	一月
▲人類がより下等な或る種類から由来した證據、人類の諸種族について外五章。	▲進化の立證、進化の要因外一篇。	▲初學者の爲に遺傳學の一般を述べたもので、細胞、雜種の研究、疾病の遺傳外八章。	▲組織培養とは如何なる事か、組織培養の方法、培養組織を檢査する方法外五章。	▲一般細胞學全般に亘つての究明で、細胞學の歴史、原形質の一般的性質外十三章。	▲細胞及び原形質の概念、原形質の化學的性質、細胞分裂十章にて細胞學の概論を論述。	▲生物進化の一般的認識、人類に於ける種分化の要因外六講、附錄民族と表現其他。	▲生物學上の必要事項に就て述べた書で、生物とは何ぞや、生物と環境外八講。	▲生物學の入門的知識を述べた書で、生物と生物學、生物體の構造外七章。	▲測候に關する隨筆集で、風の塔、颶風の語源、天氣豫報の利用外百七十七篇。	▲地殼學の新しい研究を収めたもので、地殼の世界的分布、地殼波の初發外三十五章。	▲地殼現象に就ての研究で、地殼の動きを測ること、地殼波外九章。

動物學

相馬 春雄	石川 重美	石川 千代	織戸 正滿	大島 正滿	清水 傳吉	和田 邦男	和野 彦太郎	藤野 彦太郎	東京 博	牧野 彦太郎	松村 元次郎	中川 元次郎	園 信一郎	木下 周	河本 昌	石田 昌人	加藤 正世	松村 元次郎	加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世	
生物突然變異說	性と生殖の原理	生物の性愛と貞操	動物學 汎論	動物採集飼育實驗要覽	輓近動物分類學	動物採集飼育實驗要覽	水生動物植物圖説	水生動物植物圖説	水生動物植物圖説	水生動物植物圖説	水生動物植物圖説	水生動物植物圖説	水生動物植物圖説	水生動物植物圖説	水生動物植物圖説	水生動物植物圖説	水生動物植物圖説	水生動物植物圖説	水生動物植物圖説	水生動物植物圖説	水生動物植物圖説	水生動物植物圖説	水生動物植物圖説	
洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	
781	280	481	1430	347	92	653	1034	500	471	295	317	279	530	233	302	258	172	213	351	120	111	120	136	
二、八〇	三、〇〇	二、二〇	四、三〇	二、二〇	二、二〇	六、八〇	九、五〇	二、五〇	一、五〇	二、八〇	二、八〇	二、八〇	二、八〇	二、八〇	二、八〇	二、八〇	二、八〇	二、八〇	二、八〇	二、八〇	二、八〇	二、八〇	二、八〇	
白揚社	内田老鶴園	成美堂	富山房	啓文社	明文堂	大地書院	太陽堂	興學館	啓松堂	第一書房	東京堂	厚生閣	政造社	西行會	刊行會	石田家	三省堂	三省堂	三省堂	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	
月八	月四	月四	月三	月四	月十	月六	月一十	月二	月五	月四	月七	月三	月十	月七	月一十	月五	月七	月五	月八	月三	月四	月五	月七	
▲ラマルク、ダーウキンと並んで有名な進化學説を提唱したフリーゾの突然變異説の譯。	▲生及び生殖の生物學的研究で、單胞植物の生殖法、魚の生殖外十七章。	▲生物の生殖する意義、生物の生殖と受精、人類の貞操と其過去及現在外四十二章。	▲下巻は動物の分類、動物の分布、動物界に現はれる適應現象外八章より成る。	▲動物の分類法で、學名の讀み方を記し、各門の終に其分類法を掲載す。	▲動物に關するあらゆる實地方面を網羅せる書で、動物の採集法と標本製作法外三編。	▲有用、有害、觀賞等の水生動物植物約一千七百種を収録して圖説せるもの。	▲水生動物二千餘種を収録し詳細なる解説を施せる圖説、和名、歐文、圖版索引を附す。	▲水生動物の水中生物を精細なる圖版にて収めた圖説。	▲鳥の生活に就ての研究で、鶯、鶉、雁、鴨、駒鳥外十二篇。	▲原色版日本蛇類圖譜四十七枚及び別冊和文テキストを収む。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。

加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世	加藤 正世
原色日本昆蟲圖鑑	原色日本昆蟲圖鑑	原色日本昆蟲圖鑑	原色日本昆蟲圖鑑	原色日本昆蟲圖鑑	原色日本昆蟲圖鑑	原色日本昆蟲圖鑑	原色日本昆蟲圖鑑	原色日本昆蟲圖鑑	原色日本昆蟲圖鑑	原色日本昆蟲圖鑑	原色日本昆蟲圖鑑	原色日本昆蟲圖鑑	原色日本昆蟲圖鑑	原色日本昆蟲圖鑑	原色日本昆蟲圖鑑	原色日本昆蟲圖鑑	原色日本昆蟲圖鑑	原色日本昆蟲圖鑑	原色日本昆蟲圖鑑	原色日本昆蟲圖鑑	原色日本昆蟲圖鑑	原色日本昆蟲圖鑑	原色日本昆蟲圖鑑
上四六 布入判	上四六 布入判	上四六 布入判	上四六 布入判	上四六 布入判	上四六 布入判	上四六 布入判	上四六 布入判	上四六 布入判	上四六 布入判	上四六 布入判	上四六 布入判	上四六 布入判	上四六 布入判	上四六 布入判	上四六 布入判	上四六 布入判	上四六 布入判	上四六 布入判	上四六 布入判	上四六 布入判	上四六 布入判	上四六 布入判	上四六 布入判
136	120	111	120	351	213	172	258	302	279	530	233	302	258	172	213	351	120	111	120	136	120	111	120
二、五〇	二、五〇	二、五〇	二、五〇	三、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	石田家	刊行會	政造社	西行會	刊行會	石田家	三省堂	三省堂	三省堂	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣
月五	月四	月三	月二	月八	月五	月七	月五	月一十	月七	月十	月三	月十	月七	月一十	月五	月七	月五	月八	月三	月四	月五	月七	月九
▲第八輯に掲げた幾りの代表的甲蟲を収録して解説を施せる圖鑑。	▲第八輯は鞘翅目の内タマガタムシ、コガネムシ、エンママムシ其他を収めて解説を施す。	▲第三輯は同翅目の一部たるせみ科とつのでみ科とを収録せるもの。	▲革翅目を原色版にて収め解説を施す。	▲昆蟲の中で最も普通な種類一千十七種を原色版にて収め解説を施す。	▲主として北海道本洲四國九州等に産する普通甲蟲七九二種の原色圖譜を収め解説を施す。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。	▲昆蟲の社會生活を興味深く平易に講述した書で、蜜蜂の社會生活を詳述した。

理科書 (動物學)

加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤
正世	正世	正世	正世	正世	正世	正世	正世	正世	正世	正世	正世	正世	正世	正世	正世	正世	正世	正世	正世	正世
類分 原色 日本 昆蟲 圖鑑 同題目	類分 原色 日本 昆蟲 圖鑑 第六編一編題目	類分 原色 日本 昆蟲 圖鑑 第五編	類分 原色 日本 昆蟲 圖鑑	類分 原色 日本 昆蟲 圖鑑	類分 原色 日本 昆蟲 圖鑑	類分 原色 日本 昆蟲 圖鑑	類分 原色 日本 昆蟲 圖鑑	類分 原色 日本 昆蟲 圖鑑	類分 原色 日本 昆蟲 圖鑑	類分 原色 日本 昆蟲 圖鑑	類分 原色 日本 昆蟲 圖鑑	類分 原色 日本 昆蟲 圖鑑	類分 原色 日本 昆蟲 圖鑑	類分 原色 日本 昆蟲 圖鑑	類分 原色 日本 昆蟲 圖鑑	類分 原色 日本 昆蟲 圖鑑	類分 原色 日本 昆蟲 圖鑑	類分 原色 日本 昆蟲 圖鑑	類分 原色 日本 昆蟲 圖鑑	類分 原色 日本 昆蟲 圖鑑
上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六
製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判
126	117	118	125	82	78	80	54	81	88	81	54	80	79	81	88	81	54	80	79	81
二三〇	二五〇	二六〇	二八〇	二九〇	三〇〇	三一〇	三二〇	三三〇	三四〇	三五〇	三六〇	三七八〇	三九〇	四〇〇	四一〇	四二〇	四三〇	四四〇	四五〇	四六〇
厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣
月六	月八	月九	月二十	月五	月十	月十	月五	月十	月十	月五	月十	月十	月十	月七	月八	月十	月五	月十	月十	月六
▲本冊には第四九圖版迄を同題目、第五〇圖版に蔵目と食毛目を収録す。																				
▲あげはてふ科、たてはてふ科、てんぐてふ科其他鱗翅目の一部を収め解説を施す。																				
▲蝶の部の第二巻で、タテハテフ科の半部をヤノメテフ科其他を収録。																				
▲第五輯は異題目を主とし脈翅系昆蟲の代表的なものを収録し解説を施す。																				
▲あかあげざる、やまあらし外五十八種の動物を寫眞版にて収め解説を施す。																				
▲蝶の生活状態を示めせる寫眞集で、あげはもんしろてふ、るりたては外五十七種、あげはで、じがはち、きあはは外五十八種。																				
▲昆蟲の生活様式を寫眞入りにて述べたもので、じがはち、きあはは外五十八種。																				
▲本州に蕃殖する鳥の種類を六十圖版に収め解説を施す。																				
▲棒太に於ける動物の寫眞集で、森林地帯おつとせ外五十八種。																				
▲北千島に生棲する動物の紹介で、阿頼度山と山麓草原地帯等六十種を収め解説を施す。																				
▲小笠原島の動物の生態の寫眞集で、舞島の山容、舞島の南岸、まるとはち等六十種。																				
▲本邦に往來する渡り鳥の生活を寫眞にて示し、一々解説を付せたるもの。																				
▲様々の鳥の集の型を活寫し、尙その卵の形態を示し、解説を加へたるもの。																				

理科書 (動物學・植物學)

安田	吉井	廣島	早田	徳田	久米	中野	帝國女子	白井	白井	外田
篤	義次	鷹之祐	文藏	省三	道民	治房	醫學部	光太郎	光太郎	久
植物學汎論	植物學大要	植物學	植物分類學	實驗植物學提要	植物顯微鏡實習	植物生理及生態學實驗法	藥用植物和漢名對照便覽	樹木和名考	本草學論	動物學
洋圖編	洋圖編	洋圖編	洋圖編	洋圖編	洋圖編	洋圖編	洋圖編	洋圖編	洋圖編	洋圖編
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
566	394	382	253	886	321	179	254	604	522	522
三三〇	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇
博文館	養賢堂	養賢堂	富山房	內田老鶴園	三省堂	目黒書店	裳華房	春陽堂	春陽堂	春陽堂
月四	月四	月十	月十	月六	月九	月三	月四	月六	月七	月七
▲植物生理及生態學の指導書で、顯微鏡と實驗器具、細胞の實習、根の構造の實習外廿二章。										
▲植物生理及び生態學に就ての實驗法を詳しく解説し、光線條件、群落統計法外十三章。										
▲帝國女子醫學部醫學專門學校藥學科第三編卒業生に於ける藥用植物和漢名對照便覽。										
▲我日本の文書に記録せられたる樹木の名稱を考究せるもので、イロハ順に収録。										
▲支那及日本本草學の沿革及本草家の傳記、採藥考、齊民要術に就て外卅七篇。										
▲植物學大要、植物の生理、植物の生態と分布の二篇にて論述。										
▲植物學全般に互に觀察實驗の初歩を多くの寫眞圖と簡潔な解説文とを以て説明せるもの。										
▲今日の植物分類の要諦を講述せるもので、第一卷裸子植物論。										
▲成るべく卑近なるものを材料に選んで記述したる書で、バクテリアと變形菌外九章。										
▲植物生理の指導書で、顯微鏡と實驗器具、細胞の實習、根の構造の實習外廿二章。										

春陽堂	深山晃	深山晃	松浦勇	松島種美	武田久吉	牧野富太郎	牧野富太郎	石井勇義	工藤彌九郎	松浦勇	文部省編	大正實
紹興校定經史證類備急本草	野外植物標本の作り方	野外植物標本の作り方	應用菌學研究	解詳植物圖鑑	高山植物圖彙	色原野外植物圖譜	色原野外植物圖譜	色原園藝植物圖譜	熱帶植物寫真集	邦本原色茸類辭典	尾瀨天然紀念物調査報告	植物の形態
和紙四六倍判	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊
527	52	88	1320	939	401	157	169	211	30	237	94	81
三〇〇〇	八〇	八〇	二、三〇〇	二、三〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	四、〇〇〇	二、八〇〇	二、〇〇〇
春陽堂	日東書院	日東書院	太陽堂	泰明堂	梓書房	誠文堂	誠文堂	誠文堂	明文堂	修教社	刀江書院	アルス
月七	月七	月九	月二十	月七	月五	月十	月八	月三	月五	月二	月九	月七
▲南宋の紹興年間(1131-1162)に王繼先等が編纂せる所の本草であつて五冊より成る種別書別冊解題。	▲植物採集の目録、植物採集と採集道具、標本の仕上げと保存外一章にて説述。	▲高山植物の範圍、高山植物採集登山、高山植物採集外二章にて叙述。	▲菌類の形態並生理生態各種菌類の人工栽培法、菌類の貯藏法並利用法等を詳述す。	▲植物數千五百種以上を収め其各個に就き形態花期花色効用等を記述せる圖鑑。	▲高山植物三百二十一種を鮮明な圖版として収め説明を施せる書。	▲第三卷はおにはす、あやめ、いはきんばい、おにゆり等三百三十六種の原色圖譜及解説。	▲第四卷はとちのき、あかめやなぎ、かやあきぐみ、まんりやう外三百八十六種。	▲第五卷は渡來花卉中で第一卷より第三卷迄に圖説した以外のものを集録したもの。	▲さうじしゆ、くくいのき外廿八種類の熱帯植物を學名のアルファベット順に収め解説す。	▲我國に最も普通に産する食用並に有毒茸類二百數十種を原色版にて収め説明を施す。	▲尾瀨地方地質(末野梯六)尾瀨沼及び附近の植物生態學的調査(中野治房)外一篇。	▲植物の形態寫真集で、ひめじやこけの葉狀にはすきこけの葉狀態外五十八種。

春陽堂	深山晃	深山晃	松浦勇	松島種美	武田久吉	牧野富太郎	牧野富太郎	石井勇義	工藤彌九郎	松浦勇	文部省編	大正實
紹興校定經史證類備急本草	野外植物標本の作り方	野外植物標本の作り方	應用菌學研究	解詳植物圖鑑	高山植物圖彙	色原野外植物圖譜	色原野外植物圖譜	色原園藝植物圖譜	熱帶植物寫真集	邦本原色茸類辭典	尾瀨天然紀念物調査報告	植物の形態
和紙四六倍判	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊
527	52	88	1320	939	401	157	169	211	30	237	94	81
三〇〇〇	八〇	八〇	二、三〇〇	二、三〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	四、〇〇〇	二、八〇〇	二、〇〇〇
春陽堂	日東書院	日東書院	太陽堂	泰明堂	梓書房	誠文堂	誠文堂	誠文堂	明文堂	修教社	刀江書院	アルス
月七	月七	月九	月二十	月七	月五	月十	月八	月三	月五	月二	月九	月七
▲南宋の紹興年間(1131-1162)に王繼先等が編纂せる所の本草であつて五冊より成る種別書別冊解題。	▲植物採集の目録、植物採集と採集道具、標本の仕上げと保存外一章にて説述。	▲高山植物の範圍、高山植物採集登山、高山植物採集外二章にて叙述。	▲菌類の形態並生理生態各種菌類の人工栽培法、菌類の貯藏法並利用法等を詳述す。	▲植物數千五百種以上を収め其各個に就き形態花期花色効用等を記述せる圖鑑。	▲高山植物三百二十一種を鮮明な圖版として収め説明を施せる書。	▲第三卷はおにはす、あやめ、いはきんばい、おにゆり等三百三十六種の原色圖譜及解説。	▲第四卷はとちのき、あかめやなぎ、かやあきぐみ、まんりやう外三百八十六種。	▲第五卷は渡來花卉中で第一卷より第三卷迄に圖説した以外のものを集録したもの。	▲さうじしゆ、くくいのき外廿八種類の熱帯植物を學名のアルファベット順に収め解説す。	▲我國に最も普通に産する食用並に有毒茸類二百數十種を原色版にて収め説明を施す。	▲尾瀨地方地質(末野梯六)尾瀨沼及び附近の植物生態學的調査(中野治房)外一篇。	▲植物の形態寫真集で、ひめじやこけの葉狀にはすきこけの葉狀態外五十八種。

子供の科学社編	模	型	製	作	書	参考
模	型	製	作	書	参考	書
空中・化学戦と非戦闘市民	並四六	製判	358	一、五〇	高瀬書房	月五
▲空中化学戦に對する非戦闘市民の純技術的醫療的問題を扱つた書で、戦用瓦斯外六章。						
▲模型製作に關する小辭典で、工具の部、材料の部、動力機械の部外十三部。						
▲高等學校及高等諸專門學校の受驗準備書で、物性、熱、音、光其他。						
▲化学の基礎事項を懇切に説明せる参考書で、三年編四年編五年編に分け收めし。						
▲昭和六年三月改正の文部省新教授要目に準據した物理参考書で、物性外九篇。						
▲最も平易に説明を施した初學者の學習参考用書で、化学總論非金屬元素外二篇。						
▲廣く例を各方面に亘つて選んだ植物参考書で、隠花植物の觀察外六篇。						
▲物理学全般に亘る受驗準備を短時日に完成する事を目的として述べたもの。						
▲化学全般に亘り近年の出題傾向を示し、答案體にせる受驗準備書。						
▲中等學校で物理学を學習する人々の爲の参考書で、物質の性質外八篇。						
▲物理全般を縱横に解説し特に最近發達の事項を詳述す。						

理科学 (航空・兵器・模型製作・理科参考書)

研究社編輯部編	動	學	學	學	學	學	學	學	學	學	學	學	學	學	學	學	學	學				
▲中等諸學校生徒の學習用並に高等專門諸學校入學志願者の受驗準備用書。	▲中等程度の化学一般の知識を述べた参考書で、化学計算問題其他。	▲受驗を中心し最近傾向の化学問題を收めた書で、物質に關する概念其他。	▲化学計算法の解法の基礎を揚げ、算法の理由を明らかにし範例、練習問題其他に分つ。	▲化学の問題解釋の實力満養に資する目的で説いた書で、非金屬及其化合物外二篇。	▲高等專門學校受驗參考書で、化学通論、化学計算問題解法の二篇。	▲中等學校に於ける化学學習の参考用並に受驗用書で、化学の基礎問題外三篇。	▲無機化学一般の諸問題を收めて解説せる書で、非金屬自然界的化学外四篇。	▲物理学の重要なる點を指摘し最近の入試問題を詳解せる受驗參考書。	▲物理学の基本的事項、重要定律等を全部公式として纏めた受驗參考書。	▲物理学の推理的學習法の實際に就て述べた書で、化学式及び化学方程式の推定外三篇。	▲化学の推理的學習法の實際に就て述べた書で、非金屬自然界的化学外四篇。	▲物理学の重要なる點を指摘し最近の入試問題を詳解せる受驗參考書。	▲物理学の基本的事項、重要定律等を全部公式として纏めた受驗參考書。	▲物理学の推理的學習法の實際に就て述べた書で、非金屬自然界的化学外四篇。	▲物理学の重要なる點を指摘し最近の入試問題を詳解せる受驗參考書。	▲物理学の基本的事項、重要定律等を全部公式として纏めた受驗參考書。	▲物理学の推理的學習法の實際に就て述べた書で、非金屬自然界的化学外四篇。	▲物理学の重要なる點を指摘し最近の入試問題を詳解せる受驗參考書。				
研究社編輯部編	研究社編輯部編	研究社編輯部編	研究社編輯部編	研究社編輯部編	研究社編輯部編	研究社編輯部編	研究社編輯部編	研究社編輯部編	研究社編輯部編	研究社編輯部編	研究社編輯部編	研究社編輯部編	研究社編輯部編	研究社編輯部編	研究社編輯部編	研究社編輯部編	研究社編輯部編	研究社編輯部編				
398	450	274	307	222	204	101	216	183	255	189	659	438	420	156	156	311	450	350	350	403		
二〇	二〇	二〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	
研究社	研究社	研究社	光世館	文修堂	日本文學社	西東社	裳華房	三省堂	昇龍堂	昇龍堂	歐文社	修文館	培風館	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	川村書店	川村書店	誠文堂	高瀬書房	
月二	月二	月一	月二十	月五	月一	月六	月二	月六	月二十	月二十	月二十	月二十	月九	月二十	月二十	月二十	月六	月四	月二十	月二十	月七	月五

理科学 (理科参考書)

(8-1)

數學(數學一般・高等數學)

著者	書名	冊形	釘綴	枚頁	送定	料價	発行所	月行發	内容大意
岡 專吉	日本數學概説	洋函六	布入判	215	一八〇〇		岩波書店	月十	▲維新前に於て泰西の理學に比肩し、些の遜色もなかつた日本數學に就ての概説。
三本重長	小學校算術科教材としての世界數學史	並函菊	裝入判	458	三〇〇〇		有文書院	月八	▲教室ですぐ役立つ、興味深く説ける數學史で、古代數學史、中世數學史外一編。
寺田彌吉	算術の哲學	洋函菊	布入判	414	二五〇〇		モナス	月五	▲フツセールの處女作たる「算術哲學」の譯で、數多と單位と基數の本來の概念其他。
池田博士	高等數學通論	洋函菊	布入判	206	二〇〇〇		内田老鶴圃	月一	▲高等數學の諸部門の概要を平易に述べた書で、空間幾何學極限と連續外六章。
古賀 軍	高等數學提要	洋菊	布判	275	二、四〇〇		養賢堂	月一十	▲空間幾何學、平面三角法、座標幾何學外五章にて高等數學の概要を説く。
河村 信一	高等數學要義	洋函菊	布入判	222	一、六〇〇		甲文堂	月五	▲高等専門學校教科書参考書を主眼とし、各問題毎に註釋又は解答を附す。
瀧村 良一	初等數學で分る高等數學の講義	洋函六	布判	519	三、五〇〇		太陽堂	月三	▲系統立つた高等數學の講義書で、函數、立體解析幾何學、微分法外廿章。

五八九

一五、數學

(8-16)

理科學(理科參考書)

著者	書名	冊形	釘綴	枚頁	送定	料價	発行所	月行發	内容大意
坂本義彦	生物學問題解説	洋函菊	布入判	315	二、八〇〇		共立社	月六	▲帝大入試準備者並に文檢高檢受験者の爲に生物學の問題を講述せるもの。
山口 唯	標準一般理科精義	洋函六	布判	369	一、〇〇〇		大蔵堂	月四	▲新制度による中等學校に於ける一般理科の參考で、芽、サクラ外六十六章。

五八八

松村松年博士四大名著

蟲界の驚異 (七版) 定價三・五〇

面白き蟲界の教材 (再版) 定價三・五〇

蟲の社會生活 (四版) 定價二・八〇

昆虫物語 (新刊) 定價一・〇〇

—東京堂發行—

數學(高等數學・保險數學)

小吉男	岩波書店	二〇〇	八〇	二〇	月七	▲第二卷はポテンシャル論、固體内の熱傳導の二章。附録 Tolka の定理其他。
掛谷宗一	岩波書店	二〇〇	八〇	二〇	月二十	▲微積分の発生する原理及び伸展する脈絡と他方面への交渉を概説せるもの。
高津嘉之巖	長門屋書房	二〇〇	二〇〇	二〇	月一	▲上巻は主として微積分の概論を主眼とせるもので、導関数、微分法外三章。
高津嘉之巖	長門屋書房	二〇〇	二〇〇	二〇	月一	▲下巻は微積分の應用に就て論述せる書で、無限級数、函数の展開外五章。
大塚眞夫	オーム社	一〇〇	八〇	二〇	月四	▲電氣現象と初等微分方程式に就ての平易なる解説書で、微分の應用外二章。
高須鶴三郎	共立社	一〇〇	八〇	二〇	月六	▲非ゆくりつど幾何学の歴史、背景としての新射影幾何学外十三章。
河口商次	共立社	二〇〇	二〇〇	二〇	月一	▲主としてベクトルの代数学、微積分に就て論述せる書で、ベクトル解析学外二篇。
高須鶴三郎	培風館	一〇〇	八〇	二〇	月四	▲曲線の主要性質を最も平易に書いたもので有心圆锥曲線の共通の性質外九章。
杉村欣次郎	裳華房	二〇〇	二〇〇	二〇	月三	▲解析幾何学に於ける主要なる諸方法の説述で、直線、拋物線外十二章。
高須鶴三郎	裳華房	二〇〇	二〇〇	二〇	月一	▲現行の高等学校高等科教授要目に基づいて説述せる書で、三角函数外八章。
加藤平左衛門	裳華房	二〇〇	二〇〇	二〇	月一	▲高等学校理科の教科用参考用として書かれた書で、一元有理整式外十九章。
相原喜重郎	培風館	二〇〇	二〇〇	二〇	月一	▲保険数学の全般に亘つて述べたもので、短期保険、長期保険、数学的論外二章。

數學(算術・珠算・代数)

高田徳佐	算術	四六	布入判	四・八	一、〇〇	月六	▲高等諸学校への入学試験準備用書で、四則諸等数、整数の性質外五篇。
中等数学會編	算術問題模範解義	四六	布入判	二・六	月二十	▲種々雑多な算術問題を系統的に分類して解説を施せる書で、整数の性質外五篇。	
集文館編	やさしく受験分類算術	四六	布入判	二・六	月十	▲最近数年間の男女各種高試験其他の試験問題を分類収録して解説を施せるもの。	
受験数学研究會	この受験生は算術最重点の解き方	四六	布入判	二・六	月一十	▲經驗を基礎とし獨創的見地より算術の最重点を解説せる受験参考書。	
武藤鐵吉	算術受験合格法	四六	布入判	二・六	月一十	▲算術解法の基礎たる六大原則を基として根原の五定理と根本原則各種問題解法を説明す	
竹内和彦	珠算綱要	三五	布入判	八〇	月一十	▲珠算の説明を圖解、寫眞等にて平易になし練習問題を附す。	
川村貫治	明解珠算要訣	三六	布入判	一、〇〇	月五	▲實際商業上の各種計算に役立つ様其の算法を説ける書で、加法及び減法其他。	
安部利一郎	くわしく珠算の講義	四六	布入判	一、〇〇	月六	▲圖解を以つて詳述せる珠算の指導書で、加算、減算、實用算への應用外四編。	
根本千代次編	くわしく珠算の講義	四六	布入判	一、〇〇	月七	▲初めて算盤を學ぶ人のために極めて平易に圖解を以て説明せる書。	
安部利一郎	式新珠算上達速成法	四六	布入判	一、〇〇	月六	▲理解を本位として充分な圖解を以て詳細に説明せる珠算練習書。	

數學(代數)

岩切晴二	岩切晴二	武藤鐵吉	武藤鐵吉	紫村次雄	中等數學會編	集文館編	三省堂編輯所編	奈良善雄	宮田正彦	奈良善雄	受驗數學研究會	帝國學事部
最新代數學精義	最新代數學精義	代數學修の基礎	代數學修の基礎	代數受驗の基礎	代數學模範解義	子女代數學辭典	最新學生の代數	上級代數	補習代數の力	受まぎはの代數	代數學最重點の解き方	昭和八年度ノ入試問題集
洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判
404	423	297	349	163	448	461	459	704	432	334	210	200
一六〇	一六〇	一八〇	一八〇	四〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一八〇	一八〇	一八〇	六〇	六〇
培風館	培風館	修數學院專	修數學院專	有朋堂	寶文書院	集文館	三省堂	有精堂	文盛堂	有精堂	川村書店	弘道閣
月九	月十	月四	月四	月二十	月二十	月九	月四	月一	月十	月二十	月一十	月九
▲最近十數年間の入試問題を悉く検討せる中等諸學校學生の學習書、一改訂版	▲下巻は不等式、二次方程式の根の吟味、根と係數との關係外、五章を講述せる學習受驗書	▲代數學修の基礎に就て述べた書で、代數學研究の準備、一次方程式其他	▲代數受驗の基礎を説ける準備書で、乗法の諸公式、因數分解其他	▲代表學の根柢事項を明示して解説せる受驗參考書	▲最近の入學試験問題を系統的に分類解義せる書で、整式四則、因數分解外廿三編	▲高等女學校其他一般女子中等諸學校生徒の自學參考書で、整式四則外十篇	▲多數の代數及算術教科書の中から材料を選配列した參考書で、整數及び小數外十八篇	▲凡ゆる代數問題を類別し其解法の通則と範例を示せる書で、剰餘定理外十九篇	▲中等學校上級生の補習、高等諸學校入學の準備書で、方程式解法外四篇	▲受驗ま近になつてからの代數學總括整理書で、剰餘定理、未定係數外十九篇	▲證明問題、等差級數と等比級數、應用問題等にて代數學最重點の解き方を説く	▲八年度入試問題及七、六年度問題を各年度毎に分ち其上各部類に分つ解法の要點を附す

數學(代數・幾何)

ウキルヘルムス	武藤鐵吉	佐部貞市郎	松室茂隆	二階堂春夫	受驗數學研究會	奈良善雄	水内金太郎	帝國學事部	三省堂編輯所編
最新幾何學概要	幾何學修の初旅	受驗の幾何學	秀才の幾何學	見よ幾何學の答案	幾何學最重點の解き方	受まぎはの幾何	わかり幾何講義	昭和八年度ノ入試問題集	最新學生の平面幾何
洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判
237	143	507	582	499	455	292	470	200	301
三〇〇	四〇〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇
弘道閣	修數學院專	培風館	歐文社	富山房	川村書店	有精堂	東京開成館	弘道閣	三省堂
月一十	月四	月四	月九	月二	月一十	月一十	月六	月九	月六
▲近時の幾何學に導入すべき諸問題を論究せるもので、曲線論、表面論、平面位置學の三篇	▲幾何學修の基礎を説ける書で、點の位置のきめ方、幾何の根柢外三篇	▲受驗に眼目を置いて説いた幾何學指針書で、基本定理の概要、證明問題外三篇	▲幾何學の學習書で、直線形、面積に關する軌跡、比例外九篇	▲最初に基礎定理を掲げ、次にこれを圖解により綜合した受驗學習書で、證明問題外四篇	▲幾何學の急所を容易に把握せしめるやう説いた受驗參考書	▲受驗ま近は幾何學問題の總括整理書で、一般證明問題、軌跡、作圖の三編	▲中學一二三學年程度の幾何を基礎定理から初め各種の問題まで一々詳解したもの	▲八年度及び七、六年度入試問題を各年度毎に分ち其上各部類に分つ解法の要點を附す	▲多數の平面幾何教科書の中から材料を選択して説ける參考書で、直線圖形外七篇

數學(幾何・三角・數學問題集)

研究社編輯部編	奈良 善雄	五年の立體幾何	並四六製判	180	二〇	研究社	月二十	▲各教科書の定理、問題及び最近の入學試験問題を網羅せる参考書。
奈良 善雄	上級	幾何の作題	並四六製判	675	一〇七	有精堂	月一	▲教科書隨伴を兼ねた専門學校への受験準備書で、直線及平面外二編。
安藤 保	幾何學創作題	幾何學創作題	並四六製判	44	四四	有精堂	月一	▲受験準備の基礎としての幾何問題を収めて解説せる書で一般證明問題外三編。
藤森 良夫	初等解析幾何學	初等解析幾何學	並四六製判	350	一〇六	研究社	月四	▲著者自ら創作せる受験程度の幾何學問題を収録せる學習書。
藤森 良夫	幾何學初歩	幾何學初歩	並四六製判	385	一〇六	研究社	月十	▲初等解析幾何學の學び方考へ方及び解き方を述べた書で、標準固形の方程式外四編。
田中 光彦	幾何學	幾何學	並四六製判	331	一〇〇	文進堂	月五	▲幾何學に於ける童話桃太郎、從來の初等平面幾何に於ける二次曲線の取入れをなす。
中等數學會編	幾何學模範解義	幾何學模範解義	並四六製判	304	九〇	實文書院	月二十	▲中等一二年生に於て習得すべき幾何學についてあらゆる方面からの説明を加へたもの。
研究社編輯部編	三角法	三角法	並四六製判	331	二〇	研究社	月二	▲最近入試問題の代表的なものを選び解釋を施せる書で、線分に關する大小相等外十四編。
共立社編輯部編	大學入學數學問題解答	大學入學數學問題解答	並四六製判	561	二〇	共立社	月二十	▲中學生に必要な三角法の凡ゆる部門を集めて説述せる小參考書。
文部省編	高等數學問題集	高等數學問題集	並四六製判	118	二〇	青年教育會	月二十	▲高等數學の初歩を述べた大學入試問題を収録し解答を施したる試験準備書。

數學要覽・數表

東京工學研究會編	實用數學便覽	實用數學便覽	洋四六布入判	301	三〇	培風館	月九	▲數學の計算値に關する文獻で、數學公式、近似値省略算及び級數外八章。
坂元左馬太編	整數の計算表	整數の計算表	洋四六布入判	217	一〇	鐵道圖書局	月七	▲一より一萬迄の各整數の平方、立方、平方根、立方根並に逆數の計算値を示せるもの。
大坂府天王寺中學校教員	用器畫の學習	用器畫の學習	洋四六布入判	367	二〇	大明堂	月三	▲綫和曲線及布設法の諸種の計算を行ひ其の數値を表示した書。
齊川 栢堂	用器畫ノ解説	用器畫ノ解説	洋四六布入判	216	一〇	文花堂	月六	▲平面及立體幾何學定理の中最も圖法に關係深いものを蒐録して圖解と説明を施せる書。

H・G・ウエルズ著
加藤朝鳥譯

世界は動く

定價一・五〇
東京堂版

數學(數學問題集・數學要覽・數表・用器畫)

東京堂書讀關係定期刊行物

- ◇東京堂月報……………(月一回・定價金十錢)
月々の新刊書を詳しく報導し、豫約配本一覽、豫約新募集案内、創刊雜誌、發賣禁止、出版界消息、ならび諸名家の書物に關する評論・感想・隨筆を毎號掲載した讀書人の必讀雜誌。半年分(六冊)金五十錢・一ヶ年分(十二冊)金一圓。
- ◇新刊案内……………(月三回・無代進呈)
新刊速報。誌毎號御入用の御方は送料として半年分金十八錢。一年分金卅六錢御送金の事。(半年分一年分以外の申込は受けず、必ずその月の一日號より御申込みの事)
- ◇出版年鑑……………(年一回・定價金一圓)
- ◇雜誌總目錄……………(年三回・無代進呈)
- ◇ラニスト圖書雜誌目錄……………(年一回・無代進呈)
- ◇ポーナ・アミール……………(年一回・無代進呈)

東京市麹町區九段一ノ七
株式會社 東京堂書店
通信販賣部
振替口座東京二七〇番
電話九段(33)四二二番

一六、醫學・衛生

(8-1)

著者	書名	裝形	釘價	數頁	送定	料價	發行所	月行發	内容大意
關場不二彦	西醫學東漸史話	布函四六	裝入判	970	八、〇〇〇	三、三〇〇	吐鳳堂	三月	▲西醫學傳來以後の發達を其流派に從つて師授系統を明かにし乍ら説述す。上下二卷。
野村英二	醫業經營論	洋函四六	布入判	291	三、三〇〇	二、三〇〇	日本公論社	一月一十	▲醫業と實社會の交渉並醫業經濟を論じた書で現代社會と醫業經營醫院の分布狀態外八章
保野一郎	醫者の手帳から	上函四六	製入判	248	二、〇〇〇	八、〇〇〇	出立命部館	七月	▲簡易平明に説いた醫學書で、生活體の特色神經組織、内分泌外四十四篇。
チエ・リフスツ著 安田徳太郎譯	臨牀醫學と辯證法的唯物論	上函四六	製入判	115	八、〇〇〇	八、〇〇〇	ナワカ社	十月	▲臨牀醫學と辯證法的唯物論との關係を論述した書で、診斷についての二つの立場外七章
平塚俊亮編	日本醫學史綱要	洋函四六	布入判	343	四、〇〇〇	三、三〇〇	克誠堂	六月	▲太古の醫學、奈良朝以前の醫學、奈良朝の醫學、平安朝の醫學、其他に論述。
海輪利光	新佛和醫學辭典	革函	裝入判	320	三、八〇〇	六、〇〇〇	南山堂	十月	▲佛蘭西醫學專門辭典。
參木錦司	學生のポリタリ	洋函	布裝	103	一、〇〇〇	六、〇〇〇	金原商店	三月	▲學生の爲に書かれた書。
鳥井原人	死	洋函四六	布判	87	一、三〇〇	六、〇〇〇	金原商店	三月	▲主として藥學科上級用の讀物。

醫學・衛生(醫學・醫事一般)

醫學・衛生(生理・解剖・組織)

生理・解剖・組織

橋田邦彦	研究社編輯部編	フルト	佐々木宜造	岩田正道	北村直躬	正路倫之助	三宅鏡一	堀伊澤好二	西木成重	大川榮次	
生理學	生理學	生理學史	生理衛生學概論	婦人の生理と衛生	簡明生理學	醫用生理學	醫學的心理學	新胎生學	人體解剖學	新解剖學提要	
三六	三六	三六	四六	四六	三三	三三	三三	三三	三三	三三	
245	354	406	185	190	437	321	430	277	218	450	
八〇	二〇〇	三〇〇	一〇〇	二〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	
岩波書店	研究社	岩波書店	東明堂	金原商店	金原商店	南江堂	南江堂	金原商店	岩波書店	啓文社	
二月二十	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	
▲現時の生理學に於て何が問題とされ、之が如何に取扱はれてゐるかを記述せる書。	▲生理衛生の智識を説いた書で、骨格系統、筋肉系統、飲食物、消化系統其他。	▲現今迄の生理學上に輝く發見八十七を選り、收め其發見者の略傳を添へた書。	▲最も親切に説いた高等、専門學校の受験準備書で、運動系統、消化運動外七篇。	▲近代女性必須の常識として心得べき生理と衛生に就て述べた書。	▲生理學に就ての簡明なる説明書。	▲臨牀醫學の基礎智識としての必要上から生理學と病態生理學に就て述べたもの。	▲科學的見地に基き腦の機能、多様な心の働きを醫學的に考察し之に解決を與へたもの。	▲人體發生を比較し述べたもの。	▲人體解剖學を述べたもので、骨格學、内臟學、脈管學、神經學外二篇。	▲人體に關する解剖知識の全般を述べた書で人體の形態、骨格系統外十二篇。	▲頭部及口腔に主力を注いだ人體解剖圖譜。

醫學・衛生(榮養・法醫學・藥物學・藥草)

藥學・藥物學・藥草

藤卷良知	菊地甚一	三田定則	淺田龍雄	南江堂	加用信憲	帝國女子醫學專門學校藥學科編
食品とその榮養分析一覽表	犯罪心理研究	自他殺	藥理的生理學	淺田宗伯處方全書	注射藥一覽表	日本民間藥草集覽
五〇	六九	一五三	四二	七〇	二〇	一一一
三三	四七	八〇	三三	二二〇	一〇〇	一〇〇
日本榮養會	新光閣	鐵塔書院	三省堂	安井泰山堂	南江堂	春陽堂
六月	五月	十月	十月	二月	九月	七月
▲一千種の食品の榮養價がすぐ判る様分析した表。	▲法醫學的精神學の體系としての叙述によつて犯罪人の持つ心理を解説せる書。	▲病的社會現象である他殺及び自殺を法醫學的に觀察せるもの。	▲凡ての藥用植物を網羅して藥理的に分類配列せる書で、體溫調節に作用する藥物其他。	▲淺田宗伯の著作「勿誤藥室方面」及び「勿誤藥室方面口譯」中より精選編纂せるもの。	▲第五改正日本藥局方の全文を掲げた醫師藥業家の便覽。	▲多數の注射藥を表に現はし尙血清ワクチン表を附せるもの。

醫學・衛生(藥物學・藥草・臨床醫學)

臨 床 醫 學

金城 三郎	小林 英一	金田 京亮	青木 信一編	中川 嘉志馬介	上田 春次郎	坂本 恒雄	野村 佐一郎	山田 詩郎	岩 男	川島 好登	柳 壯一
不思議に薬草と治療法	萬病薬用植物と家庭療法	醫者薬草の採收と治療法	色原薬用植物圖鑑と治療法	臨牀診断學	臨牀用語集	内科	簡明内科診断治療法	内科醫臨床の爲に	新消化器病學提要	十二指腸潰瘍診療の實際	氣管支炎の實際
洋四六布判	和蘭菊	上四六製判	洋四三六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋三三布判	洋三三布判	洋三三布判	洋三三布判	洋三三布判	洋三三布判
379	223	352	88	334	73	870	372	329	320	165	357
一、〇五〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	特二、〇〇〇 六八五〇	三、五〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、八〇〇	三、五〇〇	四、〇〇〇	二、〇〇〇	三、八〇〇
東大書房	明文堂	春潮社	富文館	克誠堂	金原商店	南山堂	南山堂	金原商店	南山堂	金原商店	克誠堂
三月	二月	五月	十月	八月	十月	十月	十月	三月	九月	一月	八月
▲よく効く薬用植物と其療法を述べたもので 消火器系疾患、呼吸器系疾患外十篇。	▲五十音順に薬用植物を採録し家庭療法上の 諸知識を説ける書。	▲大衆療法としての薬草を五十音順に収め其 の採收法並に治療法を説く。	▲如何なる難病も治る大衆療法としての薬草 を原色にて収め説明を施せる寶典。	▲診断方法、主訴による各種疾病の分類、診 斷各論。	▲近代醫學徒として心得て置くべき臨床用語 を網羅せるもの。	▲下巻は消化器、呼吸器、運動器其他の疾患 に就て述べたもの。	▲病名症状等より體系的分類を施し一瞥内科 學の眞髓を修得出来る様説く。	▲内科醫臨床の爲に説述せる書。	▲消化器病の病理から療法藥效等に至るまで 平易に説述せる書。	▲胃潰瘍及十二指腸潰瘍につき實地上緊要た る事項を平易簡明に記述したもの。	▲氣管支炎、病理解剖其他、氣管支炎に關す る諸學說、病理解剖其他。

醫學・衛生(臨床醫學)

忽滑谷 精一	安井 修平	長尾 美知	笠原 道夫	横倉 誠次郎	三浦 謙之助監修	志 賀 亮	重松 運夫	中 島 良 貞	富 士 山	岩 男 春	大 野 章 三	雨宮 保 惠
學生の婦人科	婦人科學	小兒科治療手技	臨牀小兒科學	骨之レ線診断指針	臨牀レントゲン圖譜	尿路と腎臓のレントゲン診断	レントゲン寫眞と造影劑	醫學レントゲン學講義	新血清學及演習法	血液病診療の實際	黃疸發生一元論	癩癧と癩癧樣癩癧の診察及治療
洋油	洋四六倍判	洋三三布判	洋四六布判	布三三製判	並菊倍製判	洋菊	布菊	洋三三布判	布菊	洋菊	布菊	洋菊
150	440	433	449	156	217	184	208	182	248	208	542	177
一、〇五〇	八、五〇〇	四、八〇〇	三、〇〇〇	二、八〇〇	一、四〇〇	三、八〇〇	二、〇〇〇	三、五〇〇	二、七〇〇	三、八〇〇	六、〇〇〇	三、五〇〇
金原商店	金原商店	南山堂	克誠堂	南江堂	克誠堂	金原商店	南江堂	南山堂	南山堂	南山堂	南江堂	金原商店
月二十	月一	月六	月五	月十	月十	月七	月五	月五	月八	月七	月七	月六
▲學生の爲の婦人科の知識書。	▲婦人科學の精粹を盡したるもの。	▲日常臨牀醫家の最も必要とする治療技術に 就て述ぶ。	▲小兒疾病概説、小兒の發育及生理、乳兒及 小兒の營養、新生兒疾患、乳兒營養障礙等。 就て述ぶ。	▲外傷又は疾病の診察に大切なレ線正規像に 就て述ぶ。	▲レントゲン診断法による腎臓尿管の諸疾患 を理論臨牀兩方面より言及したるもの。	▲臨床レントゲン圖譜廿一表を收載。	▲X線撮影上の諸事項及造影劑に就て懇切明 解に解説す。	▲レントゲン診断法による腎臓尿管の諸疾患 を理論臨牀兩方面より言及したるもの。	▲血液疾患の病理、診察、療法等に就て詳述 せるもの。	▲物理的學的及工學的基礎知識を學理及應用 に誇つて平易に詳述す。	▲X線撮影上の諸事項及造影劑に就て懇切明 解に解説す。	▲癩癧と癩癧樣癩癧の診察及治療法に 就て述べたもの。

古屋 清	婦人科の理學的療法	並菊 製刊	二、五〇	南山堂	月一	▲放射線ラヂウム電氣其他の科學的療法に就て詳述す。
緒方十右衛門	妊娠早期診斷法	並菊 製刊	一、八〇	南山堂	月五	▲大阪帝大學部で盛んに研究されてゐる妊娠早期診斷法の公開。
盛綱 壽男	外科學提要	洋四六 布判	二、五〇	金原商店	月二十	▲廣汎なる外科學に就ての論述。
茂木 藏之助	簡要外科總論	洋四六 布判	一、八〇	南山堂	月九	▲總日本文で書いた外科學の總論。
谷村 忠保	臨牀皮膚科學	洋四六 布判	三、五〇	克誠堂	月二十	▲總論、各論の二編にて論述せる臨牀皮膚科學講義。
萩原 省三	皮膚科類症鑑別の實際	洋編 布判	三、〇〇	金原商店	月三	▲日常多く視られる疾患を主として其の類症鑑別の要點を記載す。
三宅 勇	濕疹之臨牀	洋編 布判	三、五〇	金原商店	月九	▲皮膚疾患の中の濕疹に就て述べた書。
畑 文平	失明豫防讀本	洋四六 布判	二、五〇	金原商店	月八	▲失明の不幸を未然に防ぐべく其の豫防に就て述べたもの。
茂木 宣	簡明眼科學	洋編 布判	四、〇〇	金原商店	月四	▲著者が臺北醫學に於ける教材を主とし簡明に述べた眼科學書。
主婦之友社編	家庭療法全集	洋四六 布判	一、〇〇	主婦之友社	月四	▲黒燒療法五百種と火灸の療法七十七種を新に加へたもの。
婦女界社編	家庭療養病寶鑑	洋四六 布判	四、三〇	婦女界社	月七	▲一般家庭に於て心得て置くべき食養、手當看護法其他の療病法を述べた寶鑑。

家庭醫學・治療法

森田 次郎	家庭療法	上四六 製刊	一、〇〇	日書房	月八	▲一般家庭に於ける藥品、器具の實地應用を普く説き及ぶ書。
平田 内藏吉	心臓看護の友	洋四六 布判	三、〇〇	斯文堂	月八	▲熱心療法を中心にして家庭に於ける心臓看護の具體的方法と理論の一般を説述。附心臓器結核の病理と療法の真相に就て述べた書で結核治療の根本方針外八篇。
萩原 良一郎	動脈硬化と血圧亢進の療法	洋四六 布判	一、五〇	啓松堂	月三	▲動脈硬化及び血圧亢進の豫防と療法に就て述べた書で、血圧亢進症篇外一篇。
長濱 繁	青年病及其根治療法	洋四六 布判	二、三〇	健康日本社	月九	▲自讀の書と其疾病根治法に就て述べた書で性慾性及び生殖、神經衰弱症外九章。
中村 古峽	神經衰弱と強迫觀念の全治者體験録	洋四六 布判	一、九〇	主婦之友社	月六	▲神經衰弱の最も一般的な症状及び強迫觀念との全治者の體験記を収めた自宅療養者指針述べたもの。
井上 正賀	淋病食養根治療法	布四六 製刊	一、〇〇	弘文館	月二十	▲著者の淋病に於ける食養療法の研究體験を述べたもの。
井上 豊太郎	近視眼の豫防と療法	上四六 製刊	一、〇〇	東明堂	月一十	▲近視眼の豫防と療法を平易に説いた書で、人と眼の作用、近視眼とは何ぞ外卅章。
玉生 辰雄	総合的原因療法	布四六 製刊	二、〇〇	南天堂	月一十	▲綜合的原因療法で液體病理的に諸病を觀察し温法の方針による保體治療法。
一島 榮松	高温食鹽浣腸療法	洋四六 布判	三、五〇	小島式食鹽浣腸學院	月二十	▲高温食鹽浣腸療法に就ての解説で、各科治療と看護法、婦人科の巻外五章。
西 勝造	西式斷食療法	洋四六 布判	二、〇〇	日實業社	月一	▲働き乍ら實行出来る醫學的療法西式斷食法の紹介で、斷食の歴史外十章。
西 勝造	西式血壓病療法	布四六 製刊	二、三〇	日實業社	月一十	▲西式血壓病療法の紹介で、血壓とは何か？血壓理論と實驗例外十二章。
柿坂 茂	疾病別仙掌術療法	布四六 製刊	二、五〇	東明堂	月九	▲柿坂式人體電子療法の紹介で、治病としての柿坂式人體電子療法其他。

醫學・衛生(家庭醫學・治療法・健康・衛生)

田野倉 快泉	坂木 貢	原志 免太郎	山田 國弼	山縣 正明	馬場 和光
指掌療法秘録	教科用鍼灸醫學精義	効病にお灸療法	澤田流鍼灸道に就いて	禪と療病	漢方治療の實際的效果
洋四六判	洋四六判	洋三六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判
373	440	239	102	361	349
特三、三〇〇	四、〇〇〇	一、〇〇〇	四、三〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇
宗孝社	大倉廣文堂	日實本業社	曲歌堂	人文書院	アトリエ社
月三	月九	月五	月二	月二十	月二十
▲指掌療法の原理と技術方法を詳細平易に記述せる書で、指掌法の原理外七章。	▲鍼灸學の基礎的講義で上巻は解剖學、生理學、經穴學其他	▲灸法の醫學的原理を通俗的に解説せる書で灸療新道篇、灸療結核篇外六章。	▲鍼灸の理論を東西醫學の兩方面より論斷し更に診斷應用に涉り平明に解説す。	▲禪の立場から療病を述べたもので、自然療法外二篇よりなる。	▲漢方醫學を理論的に説明せるもので、漢方治療の實際的效果外二篇。

健康・衛生

大澤 昌壽	春陽 堂編	春陽 堂編	春陽 堂編	春陽 堂編	春陽 堂編	小田 都三郎
治療の秘訣 健康聖典	健康醫學全書	健康醫學全書	健康醫學全書	健康醫學全書	健康醫學全書	病弱者の體質改造法
洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判
238	727	613	666	616	418	31
一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	二〇〇
三成社	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	日實本業社	育社協會
月二十	月八	月八	月八	月八	月十	月十
▲科學的知識と經驗體得より成るもので、自然に學べ、大澤式生活様式の順序外廿六編。	▲病氣の原因と體質及び遺傳(藤波博士)外十一篇にて症病並に保健に就て述ぶ。	▲齒牙と口腔(石原博士)兩性問題と遺傳及び優生學(永井博士)外八篇。	▲育兒法(瀬川博士)毛髮(旭博士)耳鼻咽喉(久保博士)外四篇。	▲強壯及び鍛錬に就て木下、東雨博士が論述せるもの。	▲簡易強健法を骨子とせるもので、肉食か菜食か、小田都式呼吸療法外十三篇。	▲健康法の六大要綱を體験に基づいて記述せるもので、運動勞働及び體操外七章。

醫學・衛生(健康・衛生・性・妊娠)

永井 潜	フイリデイグ著	谷内道之助著	竹内道之助著	横次 雄譯	平野 ヴェルデ著	牧野 二郎	長濱 繁	長濱 繁
結婚の衛生と配偶者の選擇	性生活に於ける技巧	續完全なる夫婦	夫婦に於ける受胎	夫婦に於ける受胎	戀愛には是非これだけを心得よ	性(性三)	性(性三)	性(性三)
並四六判	上四六判	布四六判	布四六判	上四六判	並四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判
136	128	141	477	47	293	380	340	340
四、〇〇〇	三、〇〇〇	六、〇〇〇	三、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
日本民族衛生學會	自由閣	刊行會	平野書房	平野書房	日東書院	東明堂	東明堂	東明堂
月二十	月五	月七	月三	月十	月四	月十	月十	月十
▲性の知識一般結婚衛生及び配偶者の選擇を述べたもので、結婚の眞意義外五篇。	▲結婚準備に於ける新しい問題、結婚生活に於ける性生理、愛に對する女の權利外十二篇。	▲夫婦生活の危機と夫婦間のエロテイグ、エロテイグ化の種類と技巧の二篇。普及版。	▲純専門的立場から受胎の問題に關して述べた書で、望まじき妊娠の成功外二篇。	▲夫婦間に於ける受胎の模様を詳細に解説せる同表を収め説明をなせるもの。	▲如何にしてより効果的に戀愛すべきかを説けるもので、戀愛とは何ぞや外廿九章。	▲性慾の裏面に起れる最も恐るべき禍害を説明し且つ之を防止すべき方法を指示せる書。	▲情慾及生殖作用、生殖器神經衰弱症外十三章にて正しき性の知識を述べ。	▲情慾及生殖作用、生殖器神經衰弱症外十三章にて正しき性の知識を述べ。

巴陵宜祐譯著	古代醫術と分娩考	洋南菊 布入判 482	四、八〇 三、三〇	武俠社	月六	▲獵奇的興味を感つた醫術史物語で、出産に於ける死の征服、外科術の進歩外四篇。
入交總一郎	パース・コントロール	上四六 製判 158	一、〇〇 六〇	自由社	月四	▲妊娠調節の諸問題に就て述べたもので、各國の妊娠調節の状況、避妊醫學外八章。
濱田謙一	絶對避妊法	上四六 製判 148	一、五〇 六〇	家庭研究會	月四	▲避妊の自然的方法を教示せる書で、現代の結婚生活、避妊法の理論外五章。
秋澤定吉	實地に簡易産兒制限法	上四六 製載 101	二、五〇	自由閣	月四	▲簡易なる産兒制限實行上の指導參考書で、永久的實行法、一時的實行方法其他。
野尻與顯	最も新大衆的避妊法	並南菊 製載 61	二、〇〇	産兒制限社	月四	▲家庭的な避妊良法に就て述べたもので、永久的避妊法、一時的避妊法外五章。
大西水次郎	健康兒童十則の話	並四六 製判 81	二、〇〇	朝日新聞社	月六	▲健康兒童の爲に選ばれた健康ルールに就ての説明で、運動―そとで運動はがらかに其他
岡田道一	學校と家庭の兒童衛生	洋南四 布入判 410	一、五〇 二、〇〇	岡村書店	月十	▲學校及び家庭に於ける兒童衛生の實際指導に就て述べた書で、家庭の卷外三編。
宮原立太郎	虚弱兒童の養護及治療指針	洋南四 布入判 269	一、〇〇 一、五〇	自立社	月七	▲虚弱兒童の養護及び治療の根本的對策に就て述べた書で、虚弱兒童と肺結核外四篇。
馬田杉道一	産兒生誕より十五まで	洋南四 布入判 333	一、〇〇 一、五〇	章華社	月二十	▲實際に即してよく平易に産兒衛生を述べた書で、産兒の卷外五編、一訂版。
岡本孝	産兒の愁眉を開くまで	洋南三 布入判 701	特 二、九〇 三、五〇	尙賢堂	月五	▲子供の養育上知らなくてはならぬ親達の知識を述べた書で、小兒の發育狀態外六篇。
岡本孝	産婆學	洋南四 布入判 750	三、〇〇 三、五〇	文友堂	月八	▲産婆の心得やこれまで各府縣で行はれた産婆試験の問題を収めて解説せる參考書。

武達學人	性的な美貌の研究	並四六 製判 410	一、三〇 一、〇〇	保健社	月七	▲美人論、美しい眼・眉・額等に就て、顔を美しくする方法外三章にて説述。
ハリイ牛山	現代美容師を志す人のために	布南四 製入判 222	一、〇〇 八〇	現人社	月一	▲美容師としての初歩にある人々にとつての參考書で、總説論、美容篇外二部。
鈴木三朗	美人學	上四六 製判 193	一、三〇 八〇	自由閣	月一十	▲強き者よ汝は女なり、體格の美学、服飾美學外十五章にて美人の何者かを詳述せる書。
山田平太	日本齒科社會史	布南 洋判 200	三、八〇 一、四〇	齒苑社	月五	▲江戸時代以前、江戸時代、明治時代の三章にて齒科醫學及醫業の發達を述べ。

著者	書名	装釘	紙張	送定	料價	発行所	月行	内容大意
マルティニコラ著 小高吉三郎譯	フィインランドの運動競技	函入判	319	一六〇	四	文理書院	一月	▲芬蘭運動選手に關するニコラ博士の著作の譯で、フィインランド國民の運動競技外六篇の部野球の部、庭球の部、陸上競技、水上競技の部其他、別冊附録各種運動競技規則全集。
朝日新聞社編輯	運動年鑑 昭和八年版	函入判	640	一〇〇	四	朝日新聞社	四月	▲野球、庭球、陸上競技、競泳、ラグビー、其他凡ゆる運動競技用語を網羅せるもの。
廣瀬謙三	運動競技用語辭典	洋函六判	267	一〇〇	五月二十	一成社	五月二十	▲野球、庭球、陸上競技、競泳、ラグビー、其他凡ゆる運動競技用語を網羅せるもの。
スポーツ研究会編	最新スポーツ用語辭典	並函三五判	453	六五	五月	雄文閣	五月	▲最新スポーツに亘つての規則及び用語をイロハ順に収録して解釋せる辭典。
大日本體育協會編	第十回オリンピック大會報告	並函四六判	377	二八〇	十月	大日本體育協會	十月	▲一九三二年米國羅府に於て開催された第十回オリンピック大會の詳細報告。
山添善治	オリンピックブックファンに捧ぐ	上四六判	281	一八〇	二月	出版部	二月	▲第十回國際オリンピック大會の組織及び經過を詳述せるもので、陸上競技外廿六章。
藤井好祐編	青年體操遊戯必携 附游泳登山	洋三五判	218	四五	十一月	青年國會防	十一月	▲青年訓練の使命たる強健なる體軀を養成する目的にて書かれたもので、游泳登山を附す

運動・趣味・娛樂(運動一般・體操)

一七、運動・趣味・娛樂

日本古代經濟 交換篇 全五冊

早稻田大學教授
文學博士 西村眞次著

第二回配本出來!

日本經濟史の劃期的大著述

第一回配本	第二回配本
市場	貨幣
四六判、函入、五拾圓、送料廿二錢	四六判、函入、五拾圓、送料廿二錢

在來の經濟史は無味乾燥な史實の羅列に非ざれば、結構贅牙な脚註の羅列に過ぎない。著者は人類學的視角から豊富なる資料を蒐集し、多年の研究結果を平易明快な筆致を以て論述し、多數の挿圖、地圖を挿んで、手に取るやうに我國古代の經濟的發展過程を闡明した。考察明敏、記述詳細、本書の出現に依つて歪曲されたる日本經濟史は其是正を見るであらう。

東京 東 京 堂 九段 番〇七二

運動・趣味・娯樂(體操・陸上競技・水泳・蹴球・柔道・剣道)

山内 新吉	器械體操競技種目並解説	洋四六 布八判	一、五〇 八〇	一成社	月七	▲體育的の教材として採用されつゝあるタンプリングの寫眞に依る指導書
全日本體操聯盟編	器械體操競技種目並解説	並三五 製判	四、五〇 一、〇〇	日黒書店	月九	▲器械體操競技種目、鐵棒之部解説、跳躍之部解説、鞍馬之部外四篇
全日本陸上競技聯盟編	陸上競技規則	並四六 製判	三、〇〇 四、〇〇	三省堂	月五	▲全日本陸上競技聯盟規則、全日本陸上競技聯盟競技規則の二部。昭和八年修正版
佐藤 三郎	水中水泳教範	洋四六 布判	一、〇〇 八〇	一成社	月七	▲挿畫を多くして委しく述べた水泳の實地指導書で、水泳をやるにつれての注意外八章
日本水泳研究會	最新水泳の上達法	並三五 製判	二、〇〇 六〇	日黒書店	月六	▲水泳指導の要項に就て述べたもので、水泳教授法(原正一)外九篇
東京帝國大學水泳部編	スピード水泳術	並四六 製判	三、〇〇 六〇	三笠書房	月六	▲「ダニエリス」の名著「スピード・スウキミング」の譯で、競技、浮身と跳込外四章
西尾 重喜	蹴球	布四六 製判	一、八〇 一、八〇	日黒書店	月十	▲凡ゆる水泳の泳ぎ方に就て述べたもの。
講道館文化會編	柔道	並四六 製判	一、八〇 一、八〇	日黒書店	月十	▲體験を基礎として書けるもので、基本技術戦法篇、練習篇外二篇

運動・趣味・娯樂(柔道・剣道・弓道・スキー)

松岡 辰三郎	最新柔道教範	洋四六 布判	一、〇〇 八〇	柔道協會	月九	▲中一級の一通一河の柔道教授として教材を便宜して講述せる書
服部 興彌	最新柔道教範	洋四六 布判	一、〇〇 八〇	藤谷崇文館	月四	▲圖解說明せる柔道の手引書で、柔道の起源、技法、因技、當技外十五章
星崎 治名	最新柔道教範	布四六 製判	一、五〇 八〇	秋豐園	月六	▲要點を寫眞に現はして短時間のうちに全般の眞意を會得出来る様説いた柔道立技篇
日本劍道獎勵會	最新劍道教範	洋四六 布判	一、〇〇 八〇	藤谷崇文館	月四	▲劍道の圖解說明書で、劍道の意識、劍道の起源と諸流派、業の基礎外十二章
村井 五郎	趣味の弓術	洋四六 布判	一、三〇 八〇	柴田書房	月二	▲弓術の沿革より諸式及射法等に就て述べた書で、弓術の略歴、弓具外八編
麻生 頼孝	弓	洋四六 布判	一、八〇 二、〇〇	三省堂	月四	▲弓術練習の要から説き起し、弓箭及附屬品並に關係の諸具に及んだ書で、弓の話外十章
春陽 堂編	スキー	洋四六 布判	二、五〇 一、四〇	春陽堂	月二十	▲準備篇、技術篇、登山篇にてスキー術を述べたもので、執筆者は西岡一雄外六氏
町野 久作	スキー教本	上四六 製判	一、八〇 一、〇〇	北海出版社	月一	▲スキー術の練習法についての解説書で、スキー術練習法、スキー體操外二編
藤田 皓兒	スキー術	上四六 製判	一、五〇 一、〇〇	陸章閣	月二十	▲これから本當にスキーを始める人の入門書で、裝備、スキー術、スキー用語其他
長田 進	スキーの技術	上四六 製判	一、五〇 一、〇〇	陸章閣	月二十	▲シュナイターの創設に懸るアールベルグスキー術を根本基礎として説けるスキー技術書
黒田 米子	スキー	上四六 製判	二、〇〇 二、〇〇	南光社	月二十	▲これからスキーを初めようとする女性の爲の手引書で、女性とスキー外十四章

吉岡 龍太郎	全日本 聯盟	ス キー	1年	最新 競技規定の解説	並 菊半 製入判	154	一 成社	月一十	▲スキージョウギ規定の解説をなせるもので、大会規定、スキージョウギ規定の二編より成る。大会規定、昭和八年のスキージョウギ界を顧みて其他の権大会、昭和八年のスキージョウギ界を顧みて其他の
近藤 彌一	ゴルフ	自由日記		ゴルフ・ストロークのエッセンスを述べ日記を兼ねたもの。	並 菊半 製入判	198	日東書院	月五	
近藤 彌一	ボビー・ジョンズ	ゴルフ		ボビー・ジョンズのゴルフ用語で、ナショナル選手権から投げ出されて外十六章。	並 菊半 製入判	352	日黒書店	月三	
岩崎 四郎	競馬	成績	昭和八年 度版	昭和七年 度版	並 菊半 製入判	331	黎明社	月二	▲昭和七年度春秋雨季の競馬成績を詳記せるもの。
河邊 虚仙	狩	最新 競馬 智識		▲平場駆歩競馬に就き主として述べたもので、馬の判定、馬の乗り方と見方外十章。	並 菊半 製入判	342	非凡閣	月九	
大場 彌平	狩	獵		▲狩獵に就ての全般知識を述べたもので、鳥獵外二篇。附録獵場案内。一普及版。	並 菊半 製入判	521	博文館	月十	
村上 静人	釣	釣魚十二ヶ月講座	第一巻 春の巻	▲春釣れる河と海とに於けるあらゆる魚の最も適した釣法を説けるもの。	並 菊半 製入判	183	元光社	月三	
村上 静人	釣	釣魚十二ヶ月講座	第二巻 夏の巻	▲ヤマメの成流釣の釣方、青ギスの雨天秤釣の釣方、眼張りの釣方外十章。	並 菊半 製入判	196	元光社	月四	
村上 静人	釣	釣魚十二ヶ月講座	第三巻 夏の巻	▲鮎の友釣の釣方、野鯉の浮標釣の釣方、黒鯛のふかせ釣の釣方外十六章。	並 菊半 製入判	143	元光社	月八	
村上 静人	釣	釣魚十二ヶ月講座	第四巻 夏の巻	▲鮎の友釣の釣方、野鯉の浮標釣の釣方、黒鯛のふかせ釣の釣方外十七章。	並 菊半 製入判	147	元光社	月一十	
村上 静人	釣	釣魚十二ヶ月講座	第五巻 夏の巻	▲鮎の友釣の釣方、野鯉の浮標釣の釣方、黒鯛のふかせ釣の釣方外十七種の釣法を紹介せる書。	並 菊半 製入判	329	元光社	月一十	
村上 静人	釣	釣魚十二ヶ月講座	第六巻 夏の巻	▲鮎の友釣の釣方、野鯉の浮標釣の釣方、黒鯛のふかせ釣の釣方外十六種の釣法を紹介せる書。	並 菊半 製入判	160	元光社	月三	
村上 静人	釣	釣魚十二ヶ月講座	第七巻 秋の巻	▲鮎の友釣の釣方、野鯉の浮標釣の釣方、黒鯛のふかせ釣の釣方外十六種の釣法を紹介せる書。	並 菊半 製入判	166	元光社	月四	
村上 静人	釣	釣魚十二ヶ月講座	第八巻 秋の巻	▲鮎の友釣の釣方、野鯉の浮標釣の釣方、黒鯛のふかせ釣の釣方外十六種の釣法を紹介せる書。	並 菊半 製入判	152	元光社	月四	
村上 静人	釣	釣魚十二ヶ月講座	第九巻 秋の巻	▲鮎の友釣の釣方、野鯉の浮標釣の釣方、黒鯛のふかせ釣の釣方外十六種の釣法を紹介せる書。	並 菊半 製入判	135	元光社	月四	
村上 静人	釣	釣魚十二ヶ月講座	第十巻 秋の巻	▲鮎の友釣の釣方、野鯉の浮標釣の釣方、黒鯛のふかせ釣の釣方外十六種の釣法を紹介せる書。	並 菊半 製入判	164	元光社	月六	
村上 静人	釣	釣魚十二ヶ月講座	第十一巻 秋の巻	▲鮎の友釣の釣方、野鯉の浮標釣の釣方、黒鯛のふかせ釣の釣方外十六種の釣法を紹介せる書。	並 菊半 製入判	134	元光社	月六	

運動・趣味・娯楽(スキー・ゴルフ・競馬・狩獵・釣魚)

村上 静人	釣	釣魚十二ヶ月講座	第十二巻 秋の巻	▲鮎の友釣の釣方、野鯉の浮標釣の釣方、黒鯛のふかせ釣の釣方外十六種の釣法を紹介せる書。	並 菊半 製入判	207	元光社	月六	▲鮎の友釣の釣方、野鯉の浮標釣の釣方、黒鯛のふかせ釣の釣方外十六種の釣法を紹介せる書。
村上 静人	釣	釣魚十二ヶ月講座	第十三巻 秋の巻	▲鮎の友釣の釣方、野鯉の浮標釣の釣方、黒鯛のふかせ釣の釣方外十六種の釣法を紹介せる書。	並 菊半 製入判	174	元光社	月七	
村上 静人	釣	釣魚十二ヶ月講座	第十四巻 秋の巻	▲鮎の友釣の釣方、野鯉の浮標釣の釣方、黒鯛のふかせ釣の釣方外十六種の釣法を紹介せる書。	並 菊半 製入判	143	元光社	月八	
村上 静人	釣	釣魚十二ヶ月講座	第十五巻 秋の巻	▲鮎の友釣の釣方、野鯉の浮標釣の釣方、黒鯛のふかせ釣の釣方外十六種の釣法を紹介せる書。	並 菊半 製入判	147	元光社	月一十	
村上 静人	釣	釣魚十二ヶ月講座	第十六巻 秋の巻	▲鮎の友釣の釣方、野鯉の浮標釣の釣方、黒鯛のふかせ釣の釣方外十六種の釣法を紹介せる書。	並 菊半 製入判	329	元光社	月一十	
村上 静人	釣	釣魚十二ヶ月講座	第十七巻 秋の巻	▲鮎の友釣の釣方、野鯉の浮標釣の釣方、黒鯛のふかせ釣の釣方外十六種の釣法を紹介せる書。	並 菊半 製入判	160	元光社	月三	
村上 静人	釣	釣魚十二ヶ月講座	第十八巻 秋の巻	▲鮎の友釣の釣方、野鯉の浮標釣の釣方、黒鯛のふかせ釣の釣方外十六種の釣法を紹介せる書。	並 菊半 製入判	166	元光社	月四	
村上 静人	釣	釣魚十二ヶ月講座	第十九巻 秋の巻	▲鮎の友釣の釣方、野鯉の浮標釣の釣方、黒鯛のふかせ釣の釣方外十六種の釣法を紹介せる書。	並 菊半 製入判	152	元光社	月四	
村上 静人	釣	釣魚十二ヶ月講座	第二十巻 秋の巻	▲鮎の友釣の釣方、野鯉の浮標釣の釣方、黒鯛のふかせ釣の釣方外十六種の釣法を紹介せる書。	並 菊半 製入判	135	元光社	月四	
村上 静人	釣	釣魚十二ヶ月講座	第二十一巻 秋の巻	▲鮎の友釣の釣方、野鯉の浮標釣の釣方、黒鯛のふかせ釣の釣方外十六種の釣法を紹介せる書。	並 菊半 製入判	164	元光社	月六	
村上 静人	釣	釣魚十二ヶ月講座	第二十二巻 秋の巻	▲鮎の友釣の釣方、野鯉の浮標釣の釣方、黒鯛のふかせ釣の釣方外十六種の釣法を紹介せる書。	並 菊半 製入判	134	元光社	月六	

運動・趣味・娯楽(釣魚)

村上静人編	村	釣	人	日	誌	布四六	製入判	341	二〇〇	元光社	月九	▲その日の天候釣魚成績等三十四項の多きに亙つて書き込める日記。日本釣魚概要外件載
松岡文翁	松	釣	狂	五	十年	布四六	製入判	294	一〇〇	青野文軒堂	月五	▲著者の経験に基づき、魚の十大特性其他を詳細に述べた書で、魚の十大特性其他を
松岡文翁	松	釣	狂	五	十年	布四六	製入判	294	一〇〇	青野文軒堂	月五	▲著者五十年來の経験と経験より得た知識を述べたもので、河魚の二大移動外廿八章を
字野江山	字	釣	哲	學		布四六	製入判	124	八〇	保全堂	月九	▲莊内名物の磯釣りを基調として、感想集で釣と海、釣と神代、釣と趣味外廿一篇。
魚住清適	魚	釣	の	研	究	布四六	製入判	290	一八〇	三省堂	月五	▲著しく進歩した最近の釣技に適應して實地に必要なる點を明かにせる書で、釣方外十一章
出賣新聞社	出	釣	の	研	究	布四六	製入判	315	一八〇	東治書院	月五	▲一月より十二月迄月別に記述せる趣味の釣書で、爽快な鮎の友釣り其他。
魚住清適	魚	釣	の	研	究	布四六	製入判	290	一八〇	三省堂	月五	▲鮎釣の道具、釣場所、釣方、日並、潮時等や鮎の種類、性質、飼ひ方、料理法を述ぶ。

社交ダンス

春陽堂編	春	交	ダ	ン	ス	洋菊	布判	249	二〇〇	春陽堂	月八	▲第一巻は論説篇で、社交と社交ダンス(水上嘉一郎)ジャズ音楽論(紙恭輔)其他。
春陽堂編	春	交	ダ	ン	ス	洋菊	布判	365	二〇〇	春陽堂	月八	▲第二巻は英國流社交ダンス原論(玉置眞吉)クキツクスステツプ(加藤敦雄)其他。
春陽堂編	春	交	ダ	ン	ス	洋菊	布判	221	二〇〇	春陽堂	月八	▲第三巻はフォックストロツトフランセ(嵯峨晃)タンゴ(森潤三郎)其他。
サントス・カサニ一著	新	交	ダ	ン	ス	上四六	製判	132	一三〇	一誠社	月八	▲丁寧に説いた社交ダンスの獨習書で、フォックス・トロツト外十六章。
ジョントラムゼイ著	新	交	ダ	ン	ス	上四六	製判	158	一三〇	一成社	月七	▲社交ダンスの解説書で、ボイズ、リードとフォロイ、教授法外十四章。

角谷秀雄	角	交	ダ	ン	ス	並三六	製判	158	八五	東京社交舞踏研究所	月八	▲實際的立場より正しいダンスの踊り方を解説せる書で、ダンスの方向外十章。
小川一人	小	交	ダ	ン	ス	洋三六	布判	338	一六〇	春陽堂	月十	▲男子の服装、組み方、フォッククス・トロツト、モダンワルツ外廿五篇のダンス入門書。
谷崎岩男	谷	交	ダ	ン	ス	洋四六	布入判	138	一〇〇	春秋書房	月五	▲現在東都で行われてゐるダンスの一と通りを収め圖解本位に説明せるもの。
寶塚舞踊研究会	寶	交	ダ	ン	ス	上四六	製入判	374	二〇〇	太陽社	月五	▲踊り方の基本、基本的のステツプ、踊り方の要訣、踊り方と組方其他にて説述。
アレックス・ムーア著	瀧	交	ダ	ン	ス	洋四六	布入判	374	二〇〇	瀧本舞踏學校出版部	月九	▲ウォルツ、ブリュース、タンゴ、スロー・フォッククス・トロツト其他の紹介。
松平三郎著	松	交	ダ	ン	ス	布四六	製判	191	一六〇	中外書房	月二	▲ダンス界の第一人者たるシルベスター氏のモダン・ホールム・ダンスの完譯。
シルベスター著	大	交	ダ	ン	ス	上四六	製判	152	一〇〇	春秋書房	月一十	▲社交舞踊に關する必要な事項を説明せるもので、概論問答外四篇。一改正増補版。
シルベスター著	有	交	ダ	ン	ス	布四六	製判	143	一〇〇	中外書房	月五	▲社交ダンスに關しての必要な事項を述べた書で、普通知識、タンゴ外八章。
シルベスター著	有	交	ダ	ン	ス	布四六	製判	196	一八〇	一誠社	月一十	▲社交ダンス及びクラッシュダンスの理論と實際を説いた書で、社交舞踏全要目外五章。
シルベスター著	玉	交	ダ	ン	ス	布四六	製判	239	一八〇	四六書院	月二十	▲一般人の善い娯楽として流行の度を高めつつある社交ダンスの踊方を平易に説ける書。
岡本邦嗣著	岡	交	ダ	ン	ス	洋四六	布入判	313	二〇〇	交友堂	月一十	▲「ゲキクター・シルベスターの「社交ダンスの理論と技術」の翻譯。増補改訂版」
濱井弘	濱	交	ダ	ン	ス	洋四六	布入判	155	一〇〇	大阪屋號	月二十	▲現在我が國の社交舞踏の基礎的技術を解説せるもので、歩行、基礎技法外四篇。

運動・趣味・娛樂(社交ダンス)

林博	玉置眞吉	玉置眞吉	森潤三郎	薬野宏亮	玉置眞吉	高松太郎	玉置眞吉	森潤三郎	中光	高橋桂二	イェチイ編	タンゴ・ソイ編	
社交ダンスの踊り方	社交ダンスの踊り方	社交ダンスの踊り方	社交ダンスの踊り方	社交ダンスの踊り方	社交ダンスの踊り方	社交ダンスの踊り方	社交ダンスの踊り方	社交ダンスの踊り方	社交ダンスの踊り方	社交ダンスの踊り方	社交ダンスの踊り方	社交ダンスの踊り方	
洋半 布判 217	洋半 布判 90	洋半 布判 85	洋半 布判 142	洋半 布判 72	洋半 布判 256	洋半 布判 139	洋半 布判 184	洋半 布判 364	洋半 布判 254	洋半 布判 304	洋半 布判 269	洋半 布判 206	
朝日書房	朝日書房	朝日書房	朝日書房	朝日書房	朝日書房	朝日書房	朝日書房	朝日書房	朝日書房	朝日書房	朝日書房	朝日書房	
九月	四月	二月	三月	八月	六月	五月	四月	四月二十	四月二十	六月	五月	五月	
▲獨習出来る様社交ダンスの知識を説ける書で、社交ダンスの踊り方其他。附用語辭典。	▲全國舞踏場並に教授所の紹介に努める一方ダンス教師ダンサー及び踊り方に就て述ぶ。	▲今日の英國風ダンスを解り易く説明したもので、ダンスの歴史、ダンス總論外十八章。	▲現在行はれてゐる所謂近代社交ダンスに就いて平易に説述せるもの。	▲フオックスストロット、タンゴ、ワルツ、ブルース等の踊りに就ての詳細な解説。	▲諸々のヴアリーエーションの練習集で、スローフオックスストロット外五篇。	▲フオックスストロット及タンゴの踊り方に就て詳述せる書。別冊附録習物大練習用足型。	▲改訂版で、タンゴの味、タイミングの踊り方、初心者にも判り易くタンゴの踊り方を説明せる書で、ダンスのテクニクの基礎外廿四章。	▲誰にでも直ぐ出来る様ワルツに就ての詳しい記述。別冊附録練習用習物大足型。	▲社交ダンス中最も古いワルツの踊り方に就て述べた書で、概論、踊り方其他。	▲ブルースの五つの種類に就て其の基本的なフイガを集めた書で、モダンブルース其他。	▲國際大都市上海に在仕する内外人によつて踊られたるワルツを採りて紹介せる書。	▲電え易く採りて、ワルツの踊り方を説いたもので、概説、ワルツ其他。	▲リズムのバラドワルツ (Billie Holiday) チェイルム・ステップ (Henry Jago) 其他。

運動・趣味・娛樂(社交ダンス・ヨーヨー・圍碁・將棋)

東京圍碁會編	鈴木爲次郎	森田幸次郎	野澤竹朝	棋譜保存會	名譽人	日本Y.O.Y.O. 競技研究會編
圍碁手ほどきから初段まで	圍碁大辭典	圍碁大辭典	圍碁大辭典	圍碁大辭典	圍碁大辭典	ヨーヨーの競技と遊び方
洋半 布判 408	洋半 布判 640	洋半 布判 413	洋半 布判 135	洋半 布判 124	洋半 布判 124	洋半 布判 124
泰文館	誠文堂	誠文堂	誠文堂	誠文堂	誠文堂	誠文堂
月二十	月八	月一	月一	月一十	月四	月四
▲起原用語の説明から定石布石の方法對局實戰秘訣等に至るまで圍入にて平易に記した書。	▲碁の凡ゆる變化を捉へ、系統的に配列善悪の急所を教へたもの。	▲圍碁速成圖解、圍碁實戰虎の巻、五先定石と戰略、置碁定石と戰略等三篇。	▲圍碁の凡ゆる變化を捉へ、系統的に配列善悪の急所を教へたもの。	▲第四回は自明治三十一年十二月二日至明治三十七年十月十四日までの碁譜を掲載。	▲高目、日外、大斜各正法の特質目的及び利害得失を懇切に説ける書。	▲圍碁速成圖解、圍碁實戰虎の巻、五先定石と戰略、置碁定石と戰略等三篇。

圍碁・將棋

研究會編	研究會編	研究會編	研究會編	研究會編	研究會編	研究會編	研究會編
ダンスの踊り方	ダンスの踊り方	ダンスの踊り方	ダンスの踊り方	ダンスの踊り方	ダンスの踊り方	ダンスの踊り方	ダンスの踊り方
洋半 布判 434	洋半 布判 119	洋半 布判 155	洋半 布判 158	洋半 布判 132	洋半 布判 124	洋半 布判 124	洋半 布判 124
朝日書房	朝日書房	朝日書房	朝日書房	朝日書房	朝日書房	朝日書房	朝日書房
月二十	月十	月八	月七	月二十	月四	月四	月四
▲電え易く採りて、ワルツの踊り方を説いたもので、概説、ワルツ其他。	▲リズムのバラドワルツ (Billie Holiday) チェイルム・ステップ (Henry Jago) 其他。	▲第二輯はオズボーン (Ozborne) のダンスの踊り方の爲に (Mrs V Silvester) 其他。	▲獨逸ではどんな處で踊るのか、クラッシュダンスの家のための解剖學 (ラフエー) シーズダンス・ワルツ (シルヴェスター) 其他。一合本。	▲電え易く採りて、ワルツの踊り方を説いたもので、概説、ワルツ其他。	▲リズムのバラドワルツ (Billie Holiday) チェイルム・ステップ (Henry Jago) 其他。	▲第二輯はオズボーン (Ozborne) のダンスの踊り方の爲に (Mrs V Silvester) 其他。	▲獨逸ではどんな處で踊るのか、クラッシュダンスの家のための解剖學 (ラフエー) シーズダンス・ワルツ (シルヴェスター) 其他。一合本。

運動・趣味・娛樂(圍碁・將棋・茶道・刀劍趣味・食道樂・雜趣味)

高木 樂山	菅谷 北斗星	岩佐 銚	熊谷 殿聰
聯珠必勝法	棋道秘話	初歩圍碁獨まなび	圍碁つめ手圖解
附・實戰講座			
和蘭四六倍判	和蘭四六倍判	和蘭四六倍判	和蘭四六倍判
221	333	130	170
一、八〇〇	一、五〇〇	六〇〇	一、八〇〇
博文館	千倉書房	淡海堂	文進堂
月一	月八	月二	月十
▲同形、敵手、要珠等を一々説明して實戰資料を提供せる書。	▲將棋に關する感想隨筆並に名匠逸話等を收めたもので、棋道三昧、棋戰縱橫外二部。	▲四ツ目殺しから始つて圍碁一般の知識に就て述べた書で、碁局と對局、圍碁の術語其他	▲圍碁のつめ手を圖を以て示せるもので、上中下の三冊に分け收む。

茶道・刀劍趣味

橋本 博編	木下 桂風編	松山米太郎編	松山米太郎編	淺尾 嵐翠	大村邦太郎
茶道大鑒	茶人	茶道四祖傳書	註解茶道四祖傳書	茶道と人生	刀劍研磨術
附・茶道具便覽					
和蘭四六倍判	和蘭四六倍判	和蘭四六倍判	和蘭四六倍判	和蘭四六倍判	和蘭四六倍判
464	173	1000	246	207	77
一、三〇〇	一、〇〇〇	三、六〇〇	八、三〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇
大洽社	鈴木書店	秋豐園	秋豐園	文藝春秋社	大村書店
月二十	月五	月四	月六	月七	月七
▲明治以前の文献中主要なる茶道關係の秘籍珍書を上下二卷に収録せるもの。	▲所謂茶道具綜合藝術鑑賞の資料書で、年中行事考、茶道系譜、畫家系譜其他。	▲利休、三齋、織部、遠州四茶祖直傳の奧義秘傳錄。	▲茶道四祖傳書四冊の全文を括字本となし、それに詳細なる註解を施したるもの。	▲茶道と人生に就ての論述で、茶道の由來、茶の湯の式法、茶道と人生外十章。	▲刀劍の研ぎに就て述べた書で、日本刀美、研ぎといふこと、砥目抜き外五章。

食道樂・雜趣味

白木 正光編	三井 高陽
大東京食べある記	新趣味の郵便切手
附・東京のうまいもの	
和蘭四六倍判	和蘭四六倍判
452	173
二、〇〇〇	一、七〇〇
金星堂	丁未出版社
月五	月二十
▲食道樂カフエーの繁華地とも云ふべき市内の日抜き食べもの店の案内書。	▲切手蒐集の起源と研究、沿革、鑑定法、圖案、用具、製造、機關、注意參考書等。

笑話・福引

仁科 春彦	講談社編	松亭 翠升
人を笑はせる小話集	珍談奇談集	最新福引一千題
並四六判	並三五判	並四六判
304	178	173
一、三〇〇	四〇〇	四〇〇
日實業社	講談社	岡村書店
月九	月一十	月十
▲日本の笑ひ話を主とし西洋笑話をも蒐録した書で、圖と三角外五百篇。	▲雜誌キングに嘗て掲載せる冒險、探見、驚異、怪奇其他東西古今の珍談奇話を收む。	▲最新考案の奇抜なる福引一千題を集めた福引の種本。

運動・趣味・娛樂(食道樂・雜趣味・笑話・福引)

近代洋装研究會纂編の洋裁圖書

東京市囃託 杉野芳子著

菊判約六百頁 豪華裝美本函入
挿畫圖解二百六十餘面 欄外原語入

洋裁讀本

婦人服 篇

本書一冊一人前の腕・洋裁速修、上達の理想的獨習書！

十數年の體験から生れた洋裁の秘訣を「洋裁常識、洋裁豫備習識、基礎裁縫、フアウンデーショ
ン(元型)デザインと裁縫」の五篇に分ち、各種各型の婦人服を系統的に繰羅し、初心者でも一
讀、良くその骨が解る様に、多數の明快なる圖解挿畫を以つて懇切丁寧に詳述してある。

ドレス・メーカー女學院 製帽科主任講師 筒井光康著

菊判三百三十餘頁 豪華裝美本函入
挿畫圖解百五十餘面 欄外原語入

婦人帽の製作

姉妹篇 附 男女兒帽

定價 三圓八十錢
書留 市內十二錢
送留 地方二十一錢
料領 領土四十九錢

洋裁、洋装をなす者の要望に依つて生れた本邦唯一の製帽の指導書！
各流行帽の作り方、冠り方、洋装との關係等特に美容に重きを置いて、理解し易く挿畫で説明してある製
帽に關する唯一の指導書である。將來有望の婦人新職業の手引書として、洋裁界に好評を博してゐる。

發行所 東京市本郷區川町一 九番 近代社 發賣 東京市本郷區川町一 九番 近代社 發賣

一八、婦人・家庭

(8-1)

婦人・家庭(婦人一般)

著者	書名	裝釘體裁頁	送定料價	發行所	月行發	內容大意
河崎 なつ	新女性讀本	四六 洋布入判 311	一、〇〇	文藝春秋社	一月	▲若き女性の爲の讀本で、女教員の卷、ブル嬢への抗議、現代女性を語る外冊九篇。
帆足 みゆき	現代婦人の使命	四六 洋布入判 275	一、〇〇	新生堂	八月	▲我國における婦人運動の倫理的考察、女權擴張と家庭婦人外九章。増補版。
小原 國芳	日本女性の行くへ	四六 洋布入判 24	六〇	出玉川學部園	二月二十	▲日本女性の行くへ、文明の製造者、女性の力、女性と思想問題外十篇。
原 田 實	近代婦人運動概説	四六 洋布入判 116	六〇	出玉川學部園	二月二十	▲近代婦人運動の全的意義や様相に就て述べた書で、婦人運動の多難相外五章。
羽仁もと子	家信	四六 洋布入判 483	一、三〇	婦人之友社	五月	▲英國留學中の蕙子さんに毎週缺かさず書き送つた羽仁女史の書翰集、附録故國の父母へ。
大瀧 晴子	愛の家庭	四六 洋布入判 522	一、八〇	誠文堂	四月	▲伸び行く二人の姉妹の日記に形をかりて著者の家庭教育觀を具體的に述べたもの。
高等女學校 協會編校	第一輯一女子參政權問題	四六 洋布入判 109	四〇	校長協會	五月	▲第一輯は女子參政權問題に就ての研究で、婦人參政權について(宮田修)外四篇。
木村 毅	世界の女性を語る	四六 洋布入判 337	一、三〇	千倉書房	四月	▲世界の女性に就ての見聞録で、和蘭の文學少女レオノラ、女人群像外十五篇。

六二一

婦人・家庭(婦人一般・家事・家政)

杉田直樹	藤田三郎	河崎なつ	河井醉茗	穂積重遠	生田蝶介	國府臺學院	黒川次郎	宮崎弘	東洋堂
婦人(藤田)	愛玩動物の話	女性(河崎)	女性(河井)	非常時日本と婦人の内助	新女性和歌讀本	生活女學生訓	結婚(黒川)	結婚(宮崎)	新生活
並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判
54	50	51	50	60	50	291	227	328	47
二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五
育社協會	育社協會	育社協會	育社協會	育社協會	育社協會	育社協會	育社協會	育社協會	育社協會
月二	月五	月六	月二十	月九	月一十	月九	月六	月六	月四
▲女性と男性の相異、女性の特質傾向、年齢と女性心理の變化外一章。	▲野生愛玩動物、美しい金魚、興味深い熱帯魚、海小魚の飼ひ方外二篇。	▲女性の懐みの實情に就て述べたもので、戀愛偏重と性教育、多産の備み外四篇。	▲女性と手紙に就て述べたもので、上手下手より眞實性、手紙文の要式外七章。	▲非常時に於ける覺悟、女子の務む可き本分、婦人當面の任務、男女一致の責任。	▲和歌の歴史を面白く説き女性と和歌の關係を教へ初學者にわかる様に説いてある。	▲心のたしなみ身のたしなみ勉學の仕方健康について等婦人一生の教訓を收む。	▲結婚生活に就ての諸注意を述べたもので、若き妻の悦び、産後と美容外十四章。	▲結婚の種々相を説いた書で、新しき時代の戀愛とは? 配偶者選擇の諸條件外十一篇。	▲結婚問題に就て述べたもので、結婚を急ぐ者への導き、早婚か? 晩婚か? 其の利害其他

婦人・家庭(家事・家政・育児・お産・裁縫手藝)

朝日新聞社編	大峰筆子	二宮佐	紺戸廉平	海老衣子	蘆谷蘆村	上澤謙二	グリンバーグ著	秋吉占道	蘆谷蘆村	高橋政秀
家庭科學讀本	最新家庭洗濯法と仕上法	新實際的家庭洗濯染色法	新育児法綱要	ベビーブック	お母様のお話と子供の教養	子供の癖をどうする	愛児の性教育	子供の大和心と獨逸魂	家庭の童話	初産の心得
布製	並四六製判	洋四六製判	洋四六製判	洋四六製判	洋四六製判	洋四六製判	洋四六製判	洋四六製判	洋四六製判	洋四六製判
27	88	420	181	164	317	130	166	163	48	294
二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五
朝日新聞社	大日本家庭洗濯改良會	三主社	文光社	日本児童協會出版部	協會出版部	新生堂	南光社	大阪株式會社	育社協會	玄洋社
月二	月五	月二十	月四	月一十	月一十	月二十	月十	月八	月八	月五
▲家庭の主婦として必要な一切の知識を五十音順に収録して平易に説明せる辭典。	▲東京朝日新聞の家庭面に掲載した日常の有益な知識を收めたもので、衣の部外五篇、洗濯法と染料との關係、洗濯用材料の選擇等。	▲家庭内に於てすぐ出来る洗濯染色方法を三百數十個の挿圖を入れて詳細に説明す。	▲新しい育児法の大綱を述べた書で、小兒の發育、初生兒の取扱外十章。	▲赤ん坊から入學迄の種々の事柄を書き込む様編纂せる愛児の發育記入帖。	▲幼兒の教養とお話とどういふ風な關係があるか? とな風にお話すべきかを説ける書。	▲家庭教育の生きた相談書で、痼疾持の子供をどうする、依頼より自立へ外十八篇。	▲子供の學ぶべき事及びその理由、性教育の教授原理外五篇にて子供時代の性教育を述べた。	▲子供の家庭教育法に就て述べたもので、母性愛の合理化外二章。	▲童話は家庭から始まつたものである、韻律と歌が大切なこと外九章にて述べた。	▲初産者の心得べき事柄を説いた家庭必備書で、女子の生後期間、分娩前の心得其他。

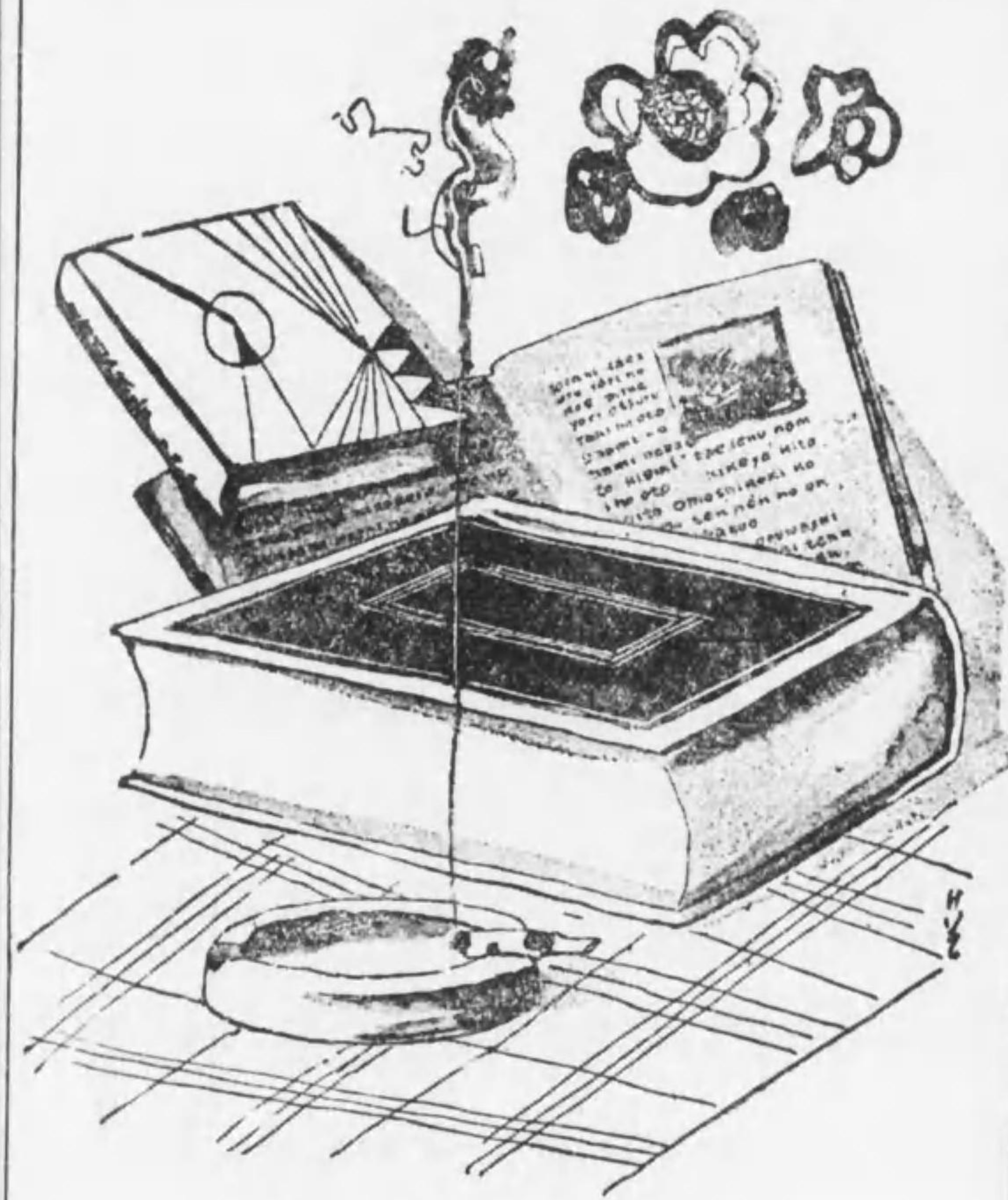
婦人・家庭(裁縫・手藝・料理)

大庭 あさ	筒井 光康	山下 榮藏	著 尼 清	河野 富子	女子美術専門學校 刺繡研究会編	成 田 順福	菅谷 喜代子	田中 千代	杉野 芳子	穴戸 ミヤ
家庭料理實習書	婦人帽の製作	衣類整理の十二月月	刺繡研究	最新手藝讀本	刺繡圖案案集	ファッションスケッチ	新しい時代に適した最新式の裁縫法	新女性の洋装	洋裁讀本	仕立方を精選せる現代の和服裁縫
布四六 122	布四六 203	布四六 303	布四六 91	布四六 176	布四六 17	布四六 44	布四六 73	布四六 348	布四六 562	布四六 387
同文書院	近代社	創文社	藝協會	東洋出版社	倉持周治 商店出版部	大成書院	南光社	TY洋裁女學 院洋裁研究部	近代社	日黒書店
五月	五月	五月	五月	五月	五月	五月	五月	五月	五月	五月
▲一般家庭に於ける日常料理の指針書で、四月の部、五月の部其他に分けられ、あるものを選んだもので、野菜料理法の中特色	▲婦人帽製作に就ての一般知識を述べたもので、製作、服飾の二部。	▲十二月に分けて整理、汚點、防蟲、冬着の始末其他にて衣類の整理方法を説く。	▲手藝、半袴、帶等實物大の刺繡圖案集で、色彩標本一枚、出来上り寫真版十二枚。	▲手藝教材を現代生活に適合するやう述べたもので、レース篇はドロン・ウォーク其他。	▲寫真を多く挿入して説ける刺繡の實際的研究で、本篇は「基礎編の部」其他。	▲洋裁の裁縫には必ず研究しなければならぬファッションスケッチに就て述べた書。	▲物尺を使はず一枚の紙と一挺の鉄で出来る裁縫法に圖を挿入し解説せるもの。	▲新女性の洋装に就て述べたもので、和装から洋装へ、洋服の正しい着方外八章。	▲洋裁の裁縫には必ず研究しなければならぬファッションスケッチに就て述べた書。	▲現代の和服裁縫に就いて説けるもので、腹合せ帶、女袴、敷蒲團外四十七章。

婦人・家庭(料理・禮式・作法・生花・投入)

佐藤 紅霞	吉村 ヨシ	吉村 ヨシ	手塚 かね子	近 才吉	市守 謹吾	生花投入	禮式作法
世界飲物百科全書	野果物の調理と食べ方	野果物の調理と食べ方	野果物の調理と食べ方	新式婚禮式圖解	女子と日常作法	生花投入	禮式作法
洋三六 49	洋三六 180	洋三六 180	洋三六 180	和四六 145	和四六 65	和四六 234	和四六 297
三六出版	一元社	一元社	一元社	文進堂	文進堂	主婦之友社	第一書房
五月	五月	五月	五月	五月	五月	五月	五月
▲各種混合酒並に無酒精飲料の作り方六百種を収録し、新道研究の参考に供せるもの。	▲四季の野菜漬物の解説書で、漬物類、漬物類、四季野菜漬物各説其他。	▲果物調理を爲す時の心得、林檎の調理、梨の調理、密柑の調理外廿篇。	▲大日本神宮奉齋會に於て統一される儀禮を根據として懇切に説く。	▲日常作法の心得、公衆に對する作法の心得、挨拶の仕方、紹介の作法外十二章。	▲生花とはどんなものか、花型による實習法、上達の秘訣外六篇にて生花の上達法を述べ、▲昭和時代に於ける各流花形と全國にわたる諸流花道家の作風を紹介せるもの。一巻の部、▲明和年間去風流挿花寫生圖肉筆を色刷木版に付したるもの。	▲生花とはどんなものか、花型による實習法、上達の秘訣外六篇にて生花の上達法を述べ、▲昭和時代に於ける各流花形と全國にわたる諸流花道家の作風を紹介せるもの。一巻の部、▲明和年間去風流挿花寫生圖肉筆を色刷木版に付したるもの。	▲生花とはどんなものか、花型による實習法、上達の秘訣外六篇にて生花の上達法を述べ、▲昭和時代に於ける各流花形と全國にわたる諸流花道家の作風を紹介せるもの。一巻の部、▲明和年間去風流挿花寫生圖肉筆を色刷木版に付したるもの。

圖書雜誌專門店



東京堂書店
電話 申田 七〇四二

六二六

一九、兒童書類

(A) 兒童讀物

小年少女小説・物語

(8-1)

兒童書類(少年少女小説・物語)

大佛次郎	山を 守る 兄弟	布四六 裝入判	一、三〇	改 造 社	月四	▲故郷の山を守る可憐な兄弟と角倉家とのつれを描いた少年小説で、小佛峠外十二章。
楠山正雄	小太郎と小百合	布四六 裝入判	一、三〇	講 談 社	月一十	▲お母さんと小百合を見失った小太郎が家の系圖の爲に並々ならぬ苦勞をした物語。
南洋一郎	秘 林	布四六 裝入判	一、三〇	講 談 社	月三	▲アフリカ、ボルネオ、マレー半島の密林に於ける猛獣狩の有様を描ける快讀物。
山中峯太郎	萬國の 王城	布四六 裝入判	一、三〇	講 談 社	月三	▲大蒙古の獨立を計る青年と少女の祖國愛に燃ゆる熱情と冒險の數々を描ける少年小説。
佐々木邦村	少年團	布四六 裝入判	一、三〇	講 談 社	月三	▲町の少年團をまねて作つた日出村の少年團の活躍を描ける愉快な小説。
千葉省三	嵐の 風	布四六 裝入判	一、三〇	講 談 社	月三	▲朝廷の密使となつて敵軍のまつ只中へ旅立つた騎士と一人の美しい少女の物語。

六二七

宮下 正美	水の江 瀧子	平井 房人	平井 房人	森嶋 まゆみ	相馬 御風	村岡 花子	額田 六福堂	加藤 武雄	小島 政二郎	佐々木 邦	佐藤 紅緑	佐藤 紅緑
愛大バツク物語	ターキー自畫像	寶塚物語	寶塚夜話	波間の白鳥	西行さ	日本イソツブ繪物語	家日本芝居物語	源義経と成吉思汗	西洋武勇傳	少女百面相	置はしき母	少年聯盟
上四六 装判	上四六 装判	上四六 装判	上四六 装判	上四六 装判	上四六 装判	布面菊 装判	上四六 装判	上四六 装判	洋四六 布判	布四六 装判	布四六 装判	布四六 装判
333	203	223	228	241	220	182	570	280	247	229	288	267
二、三 二〇	八〇	一〇〇	一〇〇	六〇	一〇〇	二、三 三〇	三、六 三〇	八〇	一、二 八〇	八〇	八〇	八〇
文教書院	少女畫報社	少女畫報社	少女畫報社	少女畫報社	日實業社	講談社	富山房	新潮社	采文閣	講談社	講談社	講談社
月二十	月十	月八	月二十	月八	月二十	月三	月五	月九	月九	月十	月十	月三

▲日本少年の富士夫君を始め世界の國々を代表する十五少年の活躍を描ける熱血物語。
▲幸福に暮らす敦子さんと不幸な運命に悲しむ留子さんの美しい友情を描いた少女小説。
▲縣知事のお嬢さんや學務部長のお嬢さんを中心に無邪氣な女學生生活を描いた小説。
▲世界の英雄ナポレオンをとりまく勇士の二人の冒険譚でナポレオンを掴まへる外二篇。
▲源義経と成吉思汗、國姓爺物語、暹羅王山田長政、豪傑濱田彌兵衛外二篇の物語集。
▲児童の讀物として最も適した日本芝居物語を収めたもので、修禪寺物語外廿四篇。
▲美しい繪を主としイソツブ物語中の最も子供達に適したお話百一篇を輯録せるもの。
▲少年少女の爲めに西行法師の一生を平易に書いたもので、巻末に和歌を載す。
▲美しい純情の孤兒瑛子を主人公に乙女の心を描いた純情小説。
▲お嬢さん寶塚潜入記、寶塚夜話、微笑日記等三篇の少女讀物集。
▲寶塚かかれんだあ、寶塚せれなあて、のんせんとす寶塚等三篇よりなる寶塚物語。
▲ターキー自畫像、ジャズ風に、まいだいらい、外二篇の自叙傳。
▲狼犬のバツクが森林の奥の不思議な母狼との生活から優しい少女の手に移る迄の物語。

楠山 正雄	三浦 修吾	小島 徳彌	岩下 小葉	巴 根	瀧澤 青花	金の星社編輯部	三井 信衛	久米 元一	久米 元一	大木 雄三	大木 雄三	青 島	久米 元一	久米 元一	大木 雄三	青 島	久米 元一	久米 元一	大木 雄三	青 島
小情愛の學校	小情愛の學校	小情愛の學校	小情愛の學校	小情愛の學校	小情愛の學校	小情愛の學校	小情愛の學校	小情愛の學校	小情愛の學校	小情愛の學校	小情愛の學校	小情愛の學校	小情愛の學校	小情愛の學校	小情愛の學校	小情愛の學校	小情愛の學校	小情愛の學校	小情愛の學校	小情愛の學校
洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判
551	126	344	25	194	164	194	154	163	166	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188
二、三 二〇	八〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
誠文堂	誠文堂	誠文堂	誠文堂	誠文堂	誠文堂	誠文堂	誠文堂	誠文堂	誠文堂	誠文堂	誠文堂	誠文堂	誠文堂	誠文堂	誠文堂	誠文堂	誠文堂	誠文堂	誠文堂	誠文堂
月一	月四	月七	月二	月一	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十

▲日本昔噺、百合若大臣、浦島太郎、にせ浦島、新浦島、魚鳥平家、草木太平記を収む。
▲母を待たせて三千里、離れ離れ、ザルチニアの少年旅手、少年斥候、外三篇の物語集。
▲メーテルリンクの有名な童話劇「青い鳥」を物語化したもの。
▲ユーゴの大傑作レ・ミゼラブル中の主人公ジャンバルジャンに就て面白く書いたもの。
▲有名少年少女小説で、迎へる客、伯爵家の若君、扉の音、よろこび外七篇。
▲トルストイの有名な作を収めたもので、馬鹿のイワン、コリカサスの捕虜外八篇。
▲哀しい孤兒の生立を書いたディッケンスの名作を書き換へたもの。
▲スチブソン作の作になる寶島探險物語で、奇怪な老水夫、秘密の地圖外十篇。
▲有名な童話「トム・ソーヤの冒険」をやさしく書き改めたもので、トムの悪戯其他。
▲「バーネット」の有名童話「リットル・プリンセス」の譯。
▲小學三年生以上の兒童の爲に書かれたジャン・バルジャンのあはれな物語。
▲師弟間の愛情教師に對する父兄の理解と同情とを取扱った教育小説クオレの譯。一書及一

宮崎 文二	須藤 邦武	小島 政二郎	大木 惇夫	萩原 蘿月	萩原 蘿月	山本 德行	南響寺 萬造	山本 德行	北原 白秋	楠山 正雄	楠山 正雄	楠山 正雄
少年雨月物語	少年源氏物語	少年芭蕉物語	少年一茶物語	少年茶物語	少年芭蕉物語	少年太閤記	少年弓張月	少年八犬傳	少年待ちぼうけ	少年イソツツプ	少年家なき兒	少年家なき兒
並編半製	並編半製	並編半製	並編半製	並編半製	並編半製	並編半製	並編半製	並編半製	並編半製	並編半製	並編半製	並編半製
148	132	259	100	196	224	231	274	300	249	181	345	271
二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂
月五	月六	月一	月六	月四	月九	月二	月九	月二	月四	月一	月一	月一
▲上田秋成の作つた「雨月物語」を平易に書いたもので菊花の約外七篇。	▲「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。	▲平安朝の時代に茶室部によつて書かれた「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。	▲「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。	▲「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。	▲「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。	▲「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。	▲「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。	▲「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。	▲「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。	▲「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。	▲「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。	▲「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。

瀧田 廣介	豊島 與志雄	豊島 與志雄	楠山 正雄	小島 政二郎	久保田 万太郎	坪内 逍遙	北原 白秋	村岡 花子	前田 昆	橋本 純一	山崎 麓	岡 康雄
黒い推しと白い推し	眠りの森の姫君	眠りの森の姫君	王子の國	王子	北風のくれた	家庭用兒童劇	まざあぐらす	ドイツケンス物語の子供たち	童話集	少年竹取物語	少年國姓爺合戦	少年雨月物語
並編半製	並編半製	並編半製	並編半製	並編半製	並編半製	並編半製	並編半製	並編半製	並編半製	並編半製	並編半製	並編半製
206	186	205	297	178	257	176	181	158	91	103	148	
二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	
春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	
月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	
▲「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。	▲「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。	▲「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。	▲「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。	▲「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。	▲「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。	▲「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。	▲「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。	▲「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。	▲「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。	▲「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。	▲「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。	▲「源氏物語」をやさしく書き改めたもの。

兒童書類(少年文庫)

山村 暮鳥	聖者フランシス	並編半製	188	二	春陽堂	四月	▲聖者フランシスの傳記で、秋の一日、窓の上の財布、老いたる父外廿六章。
ステイヴンソン 寶島探險物語	少年向きに譯編したもの。	並編半製	218	二	春陽堂	九月	▲少年向きに譯編したもの。
前田 晁 少技師ジャパーパス	▲誠實と勇氣をもつて實社會に出て行つた彼のジャパーパスの身上話。	並編半製	120	二	春陽堂	五月	▲少年時代小説ひよどり草紙の全篇を収む。
吉川 英治 ひよどり草紙	▲少年傳奇小説、大江戸の最後、黎明の歌、討たぬ鬻、娘劍俠、平太虎狩りを収む。	並編半製	332	四	春陽堂	一月	▲紅色ダイヤ、暗夜の格闘、髭の謎、頭蓋骨の秘密其他五篇の少年科學探偵小説。
野村 胡堂 大江戸の最後	▲立身出世美談集で、出世禮次郎、股で歩かう、母の祈子の誓、四つの卵外八篇。	並編半製	288	四	春陽堂	一月	▲少年時代小説海盤車城、と敵討たらし草紙の二篇を収載。
小酒井 不木 少年科學探偵	▲少年長篇冒險小説猛進三千哩と、蒙古黄金城の二篇を収む。	並編半製	278	四	春陽堂	一月	▲怪奇氣分の濃やかなお伽讀物、大石兵六狐退治、不思議長屋、平太郎化物日記を収む。
山中 峯太郎 出世輝く七つ星	▲漫畫少年物語集で、漫畫太郎、猿飛佐助漫遊記、ぼん珍さんの旅を収む。	並編半製	196	四	春陽堂	一月	▲漫畫ノンキナトウサンの二の巻で、交通巡査の巻其他
土師 清二 ひよとて城	▲少年少女小説集で、日は大空に、心のふるさと、静き記念、卒業、愛犬物語外九篇。	並編半製	242	四	春陽堂	一月	
小山 勝清 猛進三千哩		並編半製	328	四	春陽堂	一月	
巖谷 小波 平太郎化物日記		並編半製	194	四	春陽堂	二月	
宮尾 しげを 漫畫太郎		並編半製	121	二	春陽堂	一月	
麻生 豊 ノンキナトウサン		並編半製	96	二	春陽堂	一月	
加藤 武雄 樹はは大きく空に		並編半製	273	三	春陽堂	一月	

兒童書類(少年文庫・童話)

久能 龍太郎 紙芝居の作り方	▲少年探偵目録小説で、黒熊湖といふ社会問題を中心とした物語	並編半製	280	四	春陽堂	二月	
鷺尾 知治 水戸黄門物語	▲英雄ナポレオンの傳記で、ナポレオンの生れた家、第一統帥に選ばれた外廿二章	並編半製	134	二	春陽堂	八月	
鷺尾 知治 源九郎義経	▲乃木大将と日露戦争の話で、旅順攻撃より自刃までを描く。	並編半製	309	四	春陽堂	四月	
島本 久恵 中江藤樹先生	▲東郷元帥の誕生より現在に至るまでの出来事を物語風に書けるもの。	並編半製	151	二	春陽堂	二月	
小笠原 長生 東郷	▲近江の生んだ偉人中江藤樹先生の一代を兒童向きに書いた讀物。	並編半製	267	六	春陽堂	十一月	
櫻井 忠温 乃木大将	▲源九郎義経のお話をやさしく書いたもので、鞍馬山の牛若丸、義経と辨慶外十四章。	並編半製	109	二	春陽堂	七月	
久野 豊彦 ナポレオン傳	▲一世の名君水戸光圀のお話で、大貴の相、浅草川の水練、水戸學外十五章。	並編半製	200	四	春陽堂	四月	
大下 宇陀児 星	▲船屋がやる様な卑俗なものでない本當に子供の情操を養ふ様な紙芝居の作り方を説く。	並編半製	244	三	春陽堂	三月	

童話

模範 兒童會 現代童話名作集	▲チャップリン行進曲(祖父江渡)旅の龜と大海龜(濱田廣介)外廿篇の童話集	上編 製判	331	二	文教書院	三月	
模範 兒童會 現代童話名作集	▲鴉鵂(福士幸次郎)幼兒の夢(佐藤春夫)麵飽の時間(百田宗治)外廿一篇の童話集	上編 製判	338	二	文教書院	三月	
童話作家協會編 草笛吹け	▲飄蕩ちいさん(宇野浩二)あひるが生んだ幸福(鳴海要吉)外十八篇の童話集	上編 製判	252	二	四條書房	一月	
童話作家協會編 千鳥のおゆめ	▲蟹の鉄(巖谷小波)あたまはどこにある(神野岩三郎)外十五篇の童話集	上編 製判	228	二	四條書房	一月	

兒童書類(童話)

日本童話協會編	小川未明	吉田絃二郎	吉田絃二郎	北村壽夫	田中ナナ	上澤謙二	上澤謙二	上澤謙二	長坂龍太郎	濱田勝太郎	森・溪川	海老津宜道
模範口演童話	雪原の少年	金明水銀明水	蜜柑	こつとん爺さん物語	金の風車	イースター	又逢ふ日	知らないお国へ	石の枕	サンタ・クロースの手帖	神様と私	ひいらぎの實
上四六	布新菊	上三五	上三六	上三六	上三六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六
製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判
295	479	204	220	281	216	180	148	146	186	172	126	190
一八〇	二一〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇
話日協本會	四條書房	改造社	改造社	岡倉書房	教育問題	新生堂	新生堂	新生堂	基版社	基版社	文書堂	文書堂
月五	月九	月二	月三	月二十	月三	月三	月十	月十	月二十	月二十	月十	月十一
▲口演に適した童話をたくさん収めたもので三太狼(巖谷小波)外四十九篇。	▲雪原の少年、トム吉と寶石、金の斧と人形、天人とマツチ箱外四十篇の童話集。	▲水車の新作、金明水銀明水、お馬鹿さんと小鳥、天までとバケ其他十篇の童話集。	▲悲しい角兵衛獅子、蜜柑畑、悪太郎鳥の死木曾川の渡し守外八篇の童話集。	▲こつとん爺さん物語、子供の日、ころころ爺さん、大きな卵外十六篇の創作童話集。	▲幼い時代に書いた詩、童話、劇等を集めた創作集で、金の風車、銀の柿外四十篇。	▲さうだつたんですつて、天国へつれて行かれた少年、征服者イエス外十一篇。	▲又逢ふ日まで、生きた案山子、名なし花、紛失した聖書外六篇の童話集。一改訂版。	▲ほほえみ、捕虜の生命、石を投げて、知らないお国へ外六篇の童話集。一改訂版。	▲乞食の子の寫眞、石の比外十五篇の基督教の信仰を土臺とした童話集。	▲クリスマスに關するものを多く集めた童話集で、サンタ、クロースの旅外四篇。	▲一番面白いものを神様に献げませう、汝の父母を敬へ外廿八篇の説教童話。	▲春の野遊び、熊に出會つた話、正一のお新り、スケート遊び外廿一篇の宗教童話集。

兒童書類(童話)

常葉日曜學園	村上寛	巖谷小波	木村小舟編	木村小舟編	木村小舟編	木村小舟編	木村小舟編	木村小舟編	木村小舟編	木村小舟編	木村小舟編	木村小舟編	酒井朝彦	水谷まさる	伊藤清貴	澤田廣介	本多顯彰		
流るる	續上童話實演集	取童子	カチカチヤマ	シタキリスズメ	おほほえやま	おんぜいはちらう	はちまんたらう	世界童話選集	ジャソツプ	ジャソツプ	ジャソツプ	ジャソツプ	ジャソツプ	ジャソツプ	ジャソツプ	ジャソツプ	ジャソツプ		
上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六		
製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判		
102	321	363	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	165	159	451	117	117		
三〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	
京都法政館	文化書房	改造社	吉田書店	吉田書店	吉田書店	吉田書店	吉田書店	吉田書店	吉田書店	吉田書店	吉田書店	文書院	文書院	文書院	文書院	文書院	文書院	文書院	
月十一	月二十	月四	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十
▲童話六篇、童話二篇、日曜學校教材。	▲尋常三年以上の兒童を對象とする實演童話集で、金の鳥、黄金水外七篇。	▲日取童子、珍竹齋物語、黄島白鳥、隣の鬼大勝魔神、姫の小船の六篇の諷刺童話集。	▲モモトラウ、サルトカニ、コブトリの三篇を収めたおはなし集。	▲カチカチヤマ、ハナサカチヂイ、キンタラウの三篇を収めたお伽繪集。	▲幼稚園及び一年生の兒童達に適したお伽繪集で、シタキリスズメ外二篇。	▲二三年生のよみもの集で、おほえやま、らしやうもん、きどらまるの三篇。	▲ちんぜいはちらう、あさひな、げんさんみ等三篇を収めた二三年生のよみもの集。	▲二三年生の面白いよみもの集で、はちまんたらう、うしわか外一篇。	▲兒童達に與へる話の資料で、ジャソツプ、ド・キホーテ、アラビヤン・ナイト外六篇。	▲ジャソツプ童話とジャソツプ物語中の面白いものを撰んで譯した小學二三年程度のお話集。	▲ジャソツプ童話とジャソツプ物語中の面白いものを撰んで譯した四五年程度のお話集。	▲ジャソツプ童話とジャソツプ物語中の面白いものを撰んで譯した四五年程度のお話集。	▲ジャソツプ童話とジャソツプ物語中の面白いものを撰んで譯した四五年程度のお話集。	▲ジャソツプ童話とジャソツプ物語中の面白いものを撰んで譯した四五年程度のお話集。	▲ジャソツプ童話とジャソツプ物語中の面白いものを撰んで譯した四五年程度のお話集。	▲ジャソツプ童話とジャソツプ物語中の面白いものを撰んで譯した四五年程度のお話集。	▲ジャソツプ童話とジャソツプ物語中の面白いものを撰んで譯した四五年程度のお話集。	▲ジャソツプ童話とジャソツプ物語中の面白いものを撰んで譯した四五年程度のお話集。	▲ジャソツプ童話とジャソツプ物語中の面白いものを撰んで譯した四五年程度のお話集。

三井	信衛	魔法のばら	六三六	九	▲名高い文豪グヴェイッドソンの作ったお話「魔法のばら」を収めたもの。
三宅	房子	幽霊船	六三六	九	▲カリフの鶴、幽霊船、切られた手の三篇の童話集。
三井	信衛	魔法の小人	六三六	八	▲魔法の小人に捕った少年奇談で、ルーデルの家山、十字の影外九章。
大戸	喜一郎	盗まれた王女	六三六	八	▲ベルシャのお話「盗まれた王女」を収めたもので、王女リンダガル外六章。
三宅	房子	魔法の航海	六三六	七	▲魔法の航海、アリババと四十人の泥棒の二篇の童話集。
立石	美和	ピーターパン	六三六	七	▲フエアリーの国に住むといふピーター・パンの空想を描ける童話。
大戸	喜一郎	王子と人魚	六三六	六	▲王子と人魚、黄色い小人、高慢な美しい王女、毛で作った指環外八篇の童話集。
三井	信衛	大ぼくら博土	六三六	六	▲法螺博士マンチオセンの奇抜な旅行記で運のいい夫婦、ライオンと鯨外十七章。
立石	美和	魔法のくま	六三六	五	▲一人の少女が仲よしの王子を救ふ爲に悪い魔法使と秘術をつくりて戦ふお話。
大戸	喜一郎	ねむむり	六三六	五	▲フランスの童話の中で最も有名な「ねむり姫」と「線服をきた王子」の二篇を収む。
久米	元一	魔法の鳥	六三六	四	▲黒い大鳥が魔法の力で種々の活躍をする支那の童話で、提燈祭の夜外十二章。
金蘭社編輯部	馬鹿のイワン		六三六	十	▲上には上、機織勇上、泥をはいた小貓、馬鹿のイワン外四篇の童話集。
金蘭社編輯部	パンのころ		六三六	九	▲あだな、海はなぜからい、天知る地知るパンのころ助外五篇の童話集。

金蘭社編輯部	鬼の旅	六三六	九	▲うなぎ、魚、依藤太と平清盛、あべこべ物語、半分のひよこ外九篇の童話集。	
金蘭社編輯部	旅	六三六	九	▲大佛さまと親、鬼の旅行、悲しき奴隷、沼の大男、大慈無徳外三篇の童話集。	
岡邊	白夜	魔法の女	六三六	八	▲足なし勇士、龍丸、隠れ御殿、摩訶火の剣三人の悪者外三篇のおもしろい童話集。
岡邊	白夜	魔法の女	六三六	八	▲女王と山賊、十八王女、白を返せ、鶏の友達、五匹の小兎外三編の童話集。
吉田	助治	魔法の動物	六三六	八	▲ネズミノイタダツラ、イヌノキシヤリヨカウ外三十八篇の事象童話集。
井上	英夫	魔法の動物	六三六	五	▲イソツツの物語中の面白いお話を集めたもので、キツネト鳥、クロンバウ外廿七篇。
兒童文學研究会	グリンム	魔法の動物	六三六	一	▲アカズキン、ヘンゼルとグレーテル、オヤンビタラウ外二篇の童話集。
兒童文學研究会	イソツツ	魔法の動物	六三六	三	▲イソツツの寓話をカタカナで書いたものでイヌノカゲ、アサトハト外廿七篇。
兒童文學研究会	カチカチ	魔法の動物	六三六	四	▲カチカチヤマ、ハナサカチヂイ、ネズミノヨメイリ、ハゴロモ外三篇の童話集。
南	達彦	魔法の動物	六三六	七	▲太郎一もくそく、ふたりのあわてもの、あなげんのまぢがひ外十四篇の童話集。
久米	元一	魔法の動物	六三六	七	▲あべこべ村、あんこで顔をあらふ、わすれ太郎、けちんぼくらべ外七篇の童話集。
久米	元一	魔法の動物	六三六	五	▲イソツツ物語に漫画を配したもので、オナカガヤブレタ、ウソツツキサル外四十篇。
久米	元一	魔法の動物	六三六	九	▲キツネナドリ、ザウノナハトビ、イチワルナキリン外廿三篇の童話集。

久米 元一	久米 元一	南 達彦	谷 崎 伸	谷 崎 伸	谷 崎 伸	谷 崎 伸	谷 崎 伸	豊島 次郎	谷 崎 伸	谷 崎 伸	久米 元一	杜 修之助	杜 修之助	杜 修之助										
カクカナ	カクカナ	カクカナ	チヤツク	ネズミ	ウソツ	ウソツ	ウソツ	アンデルセン	アンデルセン	アンデルセン	オモシロイ	カンシン	カンシン	カンシン										
ワン助ノオ話	ワン助ノオ話	ニヤン太郎ノオ話	豆ノ木	ユウウ	キム	キム	キム	カクカナ	カクカナ	カクカナ	オモシロイ	カンシン	カンシン	カンシン										
上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六										
製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判										
170	186	184	34	204	203	203	203	180	182	180	191	175	213	213										
八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六										
金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社										
月九	月二十	月一十	月七	月七	月六	月六	月六	月二	月三	月一	月四	月四	月四	月四										
▲ボクダノカキ、キツネノコンスケ、ミナシドノスケ外廿六篇の童話集。	▲ボクハワシ助デス、ゴリラノゴンスケ、エントツノテツペンへ外廿八篇の漫画童話。	▲バチンコノシクリ、アキレヘルチャメバウズ、トウトウラクタイ外八篇の童話集。	▲げんきなチヤツクと豆の木の話をうつくしい絵を入れて書いたもの。	▲ネズミ三ユウシ、ハシブシントトノサマ、エイゴノワカルトリ外十六篇の童話集。	▲ハナレテオトモ、シツツナサイガウサン、ウソツキムラ外十五篇の童話集。	▲ダイジナウエキ、チンネンノチエ、キネムリソウチヤウ外十四篇の童話集。	▲ハネトビキヤウセウ、一本足ノヘイタイ外八篇のアンデルセン童話集。	▲小人島と大人國へ行つたガリバーの面白い話を収めたもの。	▲かなで書いたロビンソンの漂流記で、かいぞくのどれい、小さなまる木舟外十八章。	▲ニゲダシタリソゴ、ヨクバリオホカミ、ゾウツカヒ外十二篇の童話集。	▲カタナノゴモン、コウコウムスコ、アワレナジュンレイ外八篇の感心な童話集。	▲ウソツノキマサシゲ、イトウヒロフミ外十一篇ノ偉人のお話を収めたもの。	▲實際あつた事を興味深しうかも教訓的に書いたお話集。	▲まめたらう、おぢさうさまとむすめ外六篇のおもしろいお話集。	▲かんしんなゆうかんうり、ひろしのおくりもの、びはのめいじん外七篇のお話集。	▲いさまい犬、ゐなくなつたりりー、お金の雨、なみだのあと外五篇のお話集。	▲クツミガキノ少年、二人の兄弟外七篇のほんとうにあつた親孝行物語。	▲クビフリニギヤウ、クマサンノケンブツ小サイキシヤ外廿六篇のお話集。	▲はちのおまはりさん、風の子ども、ライオンのぶんちん、みかん外廿三篇の童話集。	▲ハルノアメ、ネズミノシツボ、アカイカキノミ、クマトアンパン外十篇の童話集。	▲シヤボンダマトズメ、タヌキノタイコ、一スンボフシ外十六篇の童話集。	▲はちのきんぎよ、おさるの大しやう、かせのいたづら外十四篇の童話集。	▲おもいてつぼう、かみくづのしんばい、らさぎのいうびん外十五篇の童話集。	▲ちひさくみえる、おほこはまんぢゆう、うらなひだいせい外十三篇の童話集。

杜 修之助	久米 元一	杜 修之助	杜 修之助	杜 修之助	杜 修之助	杜 修之助	杜 修之助	杜 修之助	杜 修之助	水谷 まさる	水谷 まさる	初山 しげる	濱田 廣介	濱田 廣介	濱田 廣介	濱田 廣介	濱田 廣介	谷崎 伸				
タメ	オモシロイ	カンシン	カンシン	カンシン	カンシン	カンシン	カンシン	カンシン	カンシン	クビフリ	クビフリ	ブレゼント	クマト	クマト	クマト	クマト	クマト	おほこはまんぢゆう				
ハナシ	ハナシ	ハナシ	ハナシ	ハナシ	ハナシ	ハナシ	ハナシ	ハナシ	ハナシ	ハナシ	ハナシ	ハナシ	ハナシ	ハナシ	ハナシ	ハナシ	ハナシ	ハナシ				
上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六				
製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判				
213	175	191	180	182	180	203	203	203	203	204	203	203	204	203	203	204	203	204				
八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六				
金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社				
月四	月四	月四	月一	月三	月二	月六	月六	月六	月六	月七	月七	月七	月四	月四	月四	月四	月四	月七				
▲ウソツノキマサシゲ、イトウヒロフミ外十一篇ノ偉人のお話を収めたもの。	▲カタナノゴモン、コウコウムスコ、アワレナジュンレイ外八篇の感心な童話集。	▲ウツカヒ外十二篇の童話集。	▲かなで書いたロビンソンの漂流記で、かいぞくのどれい、小さなまる木舟外十八章。	▲ニゲダシタリソゴ、ヨクバリオホカミ、ゾウツカヒ外十二篇の童話集。	▲カタナノゴモン、コウコウムスコ、アワレナジュンレイ外八篇の感心な童話集。	▲ハネトビキヤウセウ、一本足ノヘイタイ外八篇のアンデルセン童話集。	▲小人島と大人國へ行つたガリバーの面白い話を収めたもの。	▲かなで書いたロビンソンの漂流記で、かいぞくのどれい、小さなまる木舟外十八章。	▲ニゲダシタリソゴ、ヨクバリオホカミ、ゾウツカヒ外十二篇の童話集。	▲カタナノゴモン、コウコウムスコ、アワレナジュンレイ外八篇の感心な童話集。	▲ウソツノキマサシゲ、イトウヒロフミ外十一篇ノ偉人のお話を収めたもの。	▲まめたらう、おぢさうさまとむすめ外六篇のおもしろいお話集。	▲かんしんなゆうかんうり、ひろしのおくりもの、びはのめいじん外七篇のお話集。	▲いさまい犬、ゐなくなつたりりー、お金の雨、なみだのあと外五篇のお話集。	▲クツミガキノ少年、二人の兄弟外七篇のほんとうにあつた親孝行物語。	▲クビフリニギヤウ、クマサンノケンブツ小サイキシヤ外廿六篇のお話集。	▲はちのおまはりさん、風の子ども、ライオンのぶんちん、みかん外廿三篇の童話集。	▲ハルノアメ、ネズミノシツボ、アカイカキノミ、クマトアンパン外十篇の童話集。	▲シヤボンダマトズメ、タヌキノタイコ、一スンボフシ外十六篇の童話集。	▲はちのきんぎよ、おさるの大しやう、かせのいたづら外十四篇の童話集。	▲おもいてつぼう、かみくづのしんばい、らさぎのいうびん外十五篇の童話集。	▲ちひさくみえる、おほこはまんぢゆう、うらなひだいせい外十三篇の童話集。

長尾	長尾	長尾	長尾	長尾	長尾	長尾	長尾	長尾	長尾	長尾	長尾	長尾	長尾	長尾	長尾	長尾	長尾	長尾	長尾	長尾
お話	お話	お話	お話	お話	お話	お話	お話	お話	お話	お話	お話	お話	お話	お話	お話	お話	お話	お話	お話	お話
全年集	全年集	全年集	全年集	全年集	全年集	全年集	全年集	全年集	全年集	全年集	全年集	全年集	全年集	全年集	全年集	全年集	全年集	全年集	全年集	全年集
250	232	240	233	223	222	205	219	252	284	281	274	250	100	100	100	100	100	100	100	100
厚生閣	新星社	松榮堂	松榮堂	松榮堂	松榮堂	松榮堂	松榮堂	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣
月十	月五	月十	月十	月十	月十	月十	月十	月十	月十	月十	月十	月十	月十	月十	月十	月十	月十	月十	月十	月十
▲獅子と花、白い雀、十人の小人、サオトに乗ったお人形、四十六篇。一普及版。▲大蛇退治、八幡太郎外四十篇にて三十四年生の偉説逸話等を収めた書。一普及版。▲三四年生向きの神話、史談等を収めたもので、世界のはじまり外四十二篇。一普及版。▲五六年生向きの話を収めたもので、大きな木馬、銀取大名外廿四篇。一普及版。▲王の羊飼ひ、竹中重治其他五六年生向きの廿六篇を収録せる書。一普及版。▲トシコサンタキツネ、キンノタマゴ、コピトノタカラ外十七篇のおもしろい童話集。▲石のぼたん、狐のわるいちんちん、太郎のひ行き、ひなどりのをしへ外十二篇の童話集。▲天女に貰った笛、魔法の小石、おめかしと悠深、賢い少年外六篇の童話集。▲人形の悲しみ、笛の力、花の女神と六人の學者、利巧な百姓外六篇の童話集。▲のんきな熊、狐の尻尾、笑ひ眼と泣き眼、森の音楽隊、雀と犬と蛙外十二篇の童話集。▲長い顔、お菓子の船、泣いた魔鏡、あばれ馬、クリスマスマス外六篇の童話集。▲アメモリ、オニコブトリ、五平ノシユツセ、マメケ三吉外十六篇の童話集。▲いざなぎいざなみ物語、人くひ婆、せむしの鍛冶屋外十六篇の童話集。																				

明石	明石	明石	明石	明石	明石	明石	明石	明石	明石	明石	明石	明石	明石	明石	明石	明石	明石	明石	明石	明石
新編童話	新編童話	新編童話	新編童話	新編童話	新編童話	新編童話	新編童話	新編童話	新編童話	新編童話	新編童話	新編童話	新編童話	新編童話	新編童話	新編童話	新編童話	新編童話	新編童話	新編童話
初等二年生	初等二年生	初等二年生	初等二年生	初等二年生	初等二年生	初等二年生	初等二年生	初等二年生	初等二年生	初等二年生	初等二年生	初等二年生	初等二年生	初等二年生	初等二年生	初等二年生	初等二年生	初等二年生	初等二年生	初等二年生
165	161	155	397	387	403	400	402	391	180	201	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202
泰光堂	泰光堂	泰光堂	日本図書	日本図書	日本図書	日本図書	日本図書	日本図書	日本図書	松榮堂	松榮堂	松榮堂	松榮堂	松榮堂	松榮堂	松榮堂	松榮堂	松榮堂	松榮堂	松榮堂
月二	月二	月二	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十
▲日吉丸、良寛サマ、乃木大將、乃木將軍の忠誠の四篇を収めた童話集。▲大石良雄、乞食桃水、あ、廣瀬中佐の三篇より成る面白い童話集。▲英傑西郷隆盛、決死の山岡鐵舟、一茶さんあ、爆弾三勇士外二篇の童話集。▲外國の面白い話をあつめたもので、オサルトコザル、カクレンボ外六十五篇。▲商人と魔者、王さまの着物、大きな種と老人、親の心と子の心外二十六篇。▲もの言ふ魚、親切な海の怪物、わがままた金持外三十四篇の面白い童話集。▲ナキゴエノウタ、オ日サマトコドモ、ネコラシクナイネコ外六十一篇の童話集。▲小人國物語、大人國物語、人間が飛ぶ話、三吉の鬼退治外二十九篇の童話集。▲太鼓とエメリアン、漂流記、忘れっぽい河うそ、蛙の頼み外二十六篇。▲クスノキマサシゲ、トマサツラ、カラダ一ツ外十九篇のお話集。▲おやつの子つる、おんしらざの青かへる、彌三郎のちんちん外十三篇のお話集。▲大猿雄の三勇士、花咲翁とボチ、動物列車動物自動車、ドモリ少年外五篇のお話集。▲幼児向きの簡単な話を集めたもので、花、足の早いお姫様外五十九篇。一普及版。																				

Table listing children's books with columns for author (e.g., 畑米吉), title (e.g., 三年生の童話), and publisher (e.g., 新星社).

兒童劇

劇

Table listing children's plays with columns for author (e.g., 伊達豊), title (e.g., イソツブ兒童劇), and publisher (e.g., 四條書房).

兒童詩

詩

Table listing children's poetry with columns for author (e.g., 吉田瑞穂), title (e.g., 日本兒童新詩集), and publisher (e.g., 厚生閣).

漫畫・滑稽

滑稽

Main table listing children's books with columns for author (e.g., 兒童教育研究會), title (e.g., 教育漫畫讀本), and publisher (e.g., 曉書院).

中井 完邦	のらくら漫	上四六	製入判	172	特三〇	太陽社	月四	▲拳骨物語外五篇の漫画漫文集。
半田 きよし	漫 畫 總 攻 撃	上四六	製入判	172	特三〇	太陽社	月四	▲トコトン小僧外五篇の漫画漫文集。
川上 ますを	漫 畫 の 活 劇	上四六	製入判	172	特三〇	太陽社	月四	▲憎まれわらむ外六篇の漫画漫文集。
藤本 たもつ	漫 畫 の 聯 隊	上四六	製入判	172	特三〇	太陽社	月四	▲孫悟空大暴れ外五篇の漫画漫文集。
緑川 桂水	漫 畫 の 爆 發	上四六	製入判	172	特三〇	太陽社	月四	▲武者修業外六篇の漫画漫文集。
廣瀬 しん平	漫 畫 の 水 兵	上四六	製入判	164	八〇	春陽社	月六	▲海兵團から次第に進級して一等水兵になる迄の海軍生活を漫画化するもの。
廣瀬 しん平	冒 険 正 ち や ん	布四六	製入判	160	七五	春陽社	月二十	▲匪賊退治、海賊退治、猛獣の國へ、名刀の行方等四篇の漫画集。
原 泰 雄	漫 畫 へ の も へ ち や ん	上四六	製入判	95	四〇	弘明堂	月四	▲漫景十二ヶ月、へへののもへちゃん、チンピラ一兵卒其他の漫画集。
井上 たけし	凸 凹 へ イ タ イ サ ン	上四六	製入判	95	四〇	弘明堂	月四	▲面白い凸凹ニトウヘイの日常を描いた漫画集。
鈴木 壽夫	漫 畫 の メ ガ マ	上四六	製入判	96	四〇	弘明堂	月四	▲ドンダグロコ助無茶修業、デコチャンノセンスキテイ外五篇の漫画漫文集。
千葉 さかえ	少 年 冒 険 隊	布四六	製入判	166	八〇	元文社	月六	▲太郎の冒険、北極の不思議、小人國探険、チビ助漫遊記外三篇の漫画漫文集。
戸田 世字三	突 進 伍 長 隊	布四六	製入判	176	八〇	元文社	月七	▲突進伍長、怒張りのん坊、御手柄太郎、飛んだ飛行機外十六篇の漫画漫文集。
大 野 清	漫 畫 聯 合 軍	布四六	製入判	156	一〇〇	元文社	月十	▲聯合軍、ゴリラ部隊、寶刀の行方、出来ごころ、大砲掃除外七篇の漫画漫文集。

河島 赤陽	西 郷 守 備 隊	布四六	製入判	156	一〇〇	元文社	月十	▲西郷守備隊、赤太郎日記、飛行自衛隊、人造人間、トンマのトン吉外二篇の漫画漫文集。
河島 赤陽	日 本 一 太 郎	布四六	製入判	156	一〇〇	元文社	月十	▲日本一太郎、面白健ちゃん、冒険旅行、昭和太郎と根上曲之助外八篇の漫画漫文集。
大城 のぼる	愉 快 な 探 検 隊	布四六	製入判	160	八五	中村書店	月三	▲ピンちゃん、ブル君とチン太を主人公とする漫画漫文集、おヤッ?、珍事の連発外一篇の活動を描いた漫画漫文集。
月形 きよ志	忍 術 建 ち ャ ン	布四六	製入判	160	八五	中村書店	月八	▲割鯉者の黒熊を家来にした忍術家建ちヤンの活動を描いた漫画漫文集。
謝花 凡太郎	び つ くり 突 進 隊	布四六	製入判	160	八五	中村書店	月九	▲ワン太とボン太の二匹の犬を主人公にせる漫画童話で、少年團外三部。
謝花 凡太郎	冒 険 タ ー ち や ん	布四六	製入判	160	八五	中村書店	月十	▲ターちゃん一行の冒険世界大旅行の繪巻で森のツツ家、天狗山外八章。
謝花 凡太郎	猛 獣 國 そ こ ぬ け 騒 動	布四六	製入判	160	八五	中村書店	月十	▲南極南海篇、アフリカ猛獣篇、大森林怪獣篇の漫画物語。
謝花 凡太郎	魔 法 の 昭 ち や ん	布四六	製入判	160	八五	中村書店	月二十	▲魔法修業編、珍妙不思議篇、悪魔の森活劇篇の三篇よりなる漫画童話。
高橋 昇太郎編	チ ビ ク ロ 一 等 兵	上 四 六	製入判	144	二五	全甲社	月六	▲ワンアンレンタイのチビクロ一等兵の活動を描ける漫画漫文集。
泉 ツネヲ	ミ ツ キ ー マ ー チ ャ ン	上 四 六	製入判	142	二五	全甲社	月二十	▲マリー子の子守、魔法ノ家、動物愛護デーの三篇よりなる漫画集。
小林 仁波兒	武 者 修 業	上 四 六	製入判	155	特三〇	泰光堂	月一	▲キヤラメル太郎の武者修業冒険を描いた漫画物語。
古川 長二郎	漫 笑 の 罐 詰	上 四 六	製入判	159	六五	泰光堂	月一	▲ピョン助猿吉武勇傳、與平珍平大功記、追ひつ追はれつ物語等三篇の漫画漫文集。
荒井 一壽	く ろ ざ る 隊 長	上 四 六	製入判	142	八五	日昭館	月一十	▲くろざる一等兵、行軍、珍射撃法、ゴリブル戦争、勝利の計略外十三篇の漫画集。

荒井 一壽 漫 畫 傳 誌	荒井 一壽 のらくら新兵	荒尾 吾一 動物漫畫大會	荒井 一壽 漫畫びつくり箱	荒井 一壽 ばくはつ突撃隊	荒井 一壽 ホームラン大戦撃	荒井 一壽 でこぼこ三勇士	荒井 一壽 とつかん珍活躍	吉田 忠夫 漫 畫 大 探 検	大野 清 漫 勤 王 志 士 之 助	中島 海紅 突 飛 ト ン チ 智 慧 袋
洋四六 布入判	洋四六 布入判	布四六 布入判	背四六 布入判	背四六 布入判	背四六 布入判	背四六 布入判	背四六 布入判	背四六 布入判	布四六 布入判	上四六 布入判
160	160	160	164	164	164	164	164	160	160	156
八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五
日昭館	日昭館	日昭館	日昭館	日昭館	日昭館	日昭館	日昭館	日昭館	日昭館	野ばら社
月二	月四	月九	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月七	月三
▲面白くて愉快な漫畫を多く収めたもの。	▲山の中でらくらしてゐたくらざる君がゴリラ部隊に入つて珍活躍をする物語。	▲動物園の可愛らしい朗らかな漫畫本。	▲たくさん収めた漫畫讀本。	▲雷隊長の命令を受けて少年五勇士が満洲の廣野で大勝利をする物語。	▲ヤットウつたホームラン玉の行先で大戦撃が初まるといふ漫畫本。	▲ホン、チビ、デブの三勇士が戦争に出て色々な手柄をするお話。	▲突貫小僧の海底に於ける珍活躍や忍術戦争の有様を述べた書。	▲釣の罫り道、命名式、最初の手柄、危機一髪、深夜の怪光外十三篇の漫畫物語。	▲故郷の巻、新撰組の巻、大活躍の巻等三篇にて描いた面白い漫畫の本。	▲笑とユーモアの種本で、トンチ博士突飛問答、滑稽考へもの二百題外六部。

野間 寬 少年愛國の話	廣 間 圭 少年現代愛國美談	後藤 静香 新いろは讀本	松本 浩記 兒童生活訓	松平 義雄 小學生陸軍讀本	櫻井 忠温 少年陸軍物語	大日本國防會 我等の大陸空軍	繪 貫 六 助 大日本軍旗物語	久米 元一 少年日露大戦物語	久米 元一 少年日露大戦物語	久米 元一 少年日露大戦物語	久米 元一 少年日露大戦物語	櫻井 忠温 大の戦争の話
洋四六 布入判	上四六 布入判	背四六 布入判	背四六 布入判	上四六 布入判	背四六 布入判	背四六 布入判	背四六 布入判	背四六 布入判	背四六 布入判	背四六 布入判	背四六 布入判	背四六 布入判
254	335	80	99	189	112	290	244	322	333	216	415	156
二〇五	二〇五	六〇	四〇	八七	二〇	二〇	八〇	一〇〇	一〇〇	八〇	二〇	二〇
厚生園	南光社	興國同志會	文化書房	金の星社	春陽堂	日昭館	金蘭社	金の星社	金の星社	金の星社	一元社	一元社
月二十	月五	月三	月五	月十	月八	月十	月五	月二	月二	月三	月六	月六
▲戦國の現在の状態を述べたおもしろい物語。	▲最近の忠君愛國の熱情の溢れた小學生の物語集で、冬休まで外十八篇。	▲明るい人生觀を盛つた「いろはかるた」を収め其の一題毎に短いお話を書いたもので、現代兒童の新しい道徳生活を述べたもので、人格、健康、學問藝術外十一篇。	▲國防と軍備、歩兵、飛行機、外十一章にて小學生向きに平易に述べた陸軍讀本。	▲新しい兵器や機械、外國陸軍等に就て述べたもので、國を傾けての戦争其他。	▲日本の空軍に就てやさしく述べたもの。	▲名譽ある日本の軍旗に就てのお話で、向ひあつた敵味方の軍旗外七篇。	▲日露戦争はどうして起つたか? 海戦の状況、日本海々戦外三篇。附録人柱。	▲日露大戦の平易なる物語で、陸軍血戦記の巻は、遼陽附近の會戦其他九章。	▲對話式に収めた日米戦争物語で、日米もし戦はば、壯烈! 日米空中戦外三篇。	▲戦争に就ての總べての知識をやさしく述べたもので、科學の戦争外廿一篇。		

國史物語

前田 晃	少年國史物語 神代・大和・奈良・平安時代	344	三三〇	早稲田出版部	四月	▲我建國以來より平安朝時代迄の事蹟を述べたもので、高天原・天孫降臨外廿二篇。 ▲建國以來の事蹟を単純化して述べた少年國史物語で、後三條天皇の英邁外二十一章。 ▲三種の神器に就ての歴史的な物語で、御鏡と御玉の起元、壽永の亂と神器外廿六章。
前田 晃	少年國史物語 平安時代後期鎌倉時代	339	三四〇	早稲田出版部	九月	
栗山 周一	少年三種神器の歴史	398	三二〇	大同館	一月	

偉人物語

高橋 喜藤治	偉人英傑物語 大石良雄・養老・春日局	245	二二〇	藤谷崇文館	二月二十	▲四十七士で有名な大石良雄、養老の瀧、春日の局の三篇の物語。
高橋 喜藤治	偉人英傑物語 源義家・楠木正成・新田義貞	273	二四〇	藤谷崇文館	二月二十	▲面白く読んで身の爲になる英傑物語りで、源義家、楠木正成、新田義貞の三篇。
高橋 喜藤治	偉人英傑物語 織田信長・木下藤吉郎・大岡秀吉	252	二四〇	藤谷崇文館	二月二十	▲國定教科書に準據した物語集で、織田信長・木下藤吉郎・大岡秀吉の三篇。
川崎 春二	偉人英傑物語 高橋喜藤治・佐久間大將・高橋正風	289	二四〇	藤谷崇文館	二月二十	▲有名な高橋喜藤治、高橋正風、佐久間大將の物語。
久米 元一	偉人英傑物語 織田信長・木下藤吉郎・大岡秀吉 カクナカハらむ(二年生文庫(6))	187	一八〇	金の星社	九月	▲豊臣秀吉、菅原道真、新井白石、西郷隆盛・織田信長外七篇のえらい人のお話集。 ▲世界に誇るべき海の英雄東郷元帥のお話ではじめて軍艦の乗組員となる外廿三章。 ▲ニノミヤヤツノトク、ノギタイシヤウ、ナカトウジユ、ワシントン外十一篇。 ▲豊臣秀吉、菅原道真、新井白石、西郷隆盛・織田信長、水戸光圀外七篇。
三井 信衛	偉人英傑物語 織田信長・木下藤吉郎・大岡秀吉	186	一八〇	金の星社	一月	
川崎 春二	偉人英傑物語 織田信長・木下藤吉郎・大岡秀吉	186	一八〇	金の星社	一月	

本地 正輝	面白くて偉人の話 三年生	195	一八〇	金の星社	一月	▲高山樗牛、野田英世、北條時宗、アンドンル・源山、源山、野田英世、北條時宗、アンドンル・源山、源山、野田英世、北條時宗、アンドンル
三井 信衛	面白くて偉人の話 四年生	192	一八〇	金の星社	二月	▲斎藤實、濱口雄幸、犬養毅、後藤新平、大久保利通、マクドナルド外四篇。
久米 元一	面白くて偉人の話 五年生	201	一八〇	金の星社	二月	▲ニュートン、高橋是清、福澤諭吉、高村光雲、グラッドストーン外二篇の偉人物語。 ▲イルソソ外四篇の偉人物語。 ▲英雄偉人の賢母、良妻及び詩人、歌人等所謂才媛を古今東西に求め其の教訓を収む。 ▲國難元寇と北條時宗に就て述べたもので、當時の日本の状況、日本侵略の原因外六章。 ▲北白川宮能久親王の御一生に就て述べたもので、御幼少年期の宮外五篇。
栗山 周一	面白くて偉人の話 六年生	173	一八〇	文化書房	十月	▲近江聖人中江藤樹の傳記で、驚き入った膽力、三十にして實あり外廿八章。 ▲雨月物語の作者として有名な上田秋成の傳記で、出生から幼年時代まで外五篇。 ▲軍神橋中佐の活動を中心し日露大戦の概要をやさしく書いた書で、幼年時代外三編。 ▲世界人類の幸福の爲に一生涯を犠牲とする野口英世博士の傳記で、困苦の少年時代其他。 ▲義民佐倉宗吾の人間としての心持を描いた書で、宗吾前史外二篇。
藤田 淳	面白くて偉人の話	203	一八〇	金の星社	二月	
松本 正道	面白くて偉人の話	203	一八〇	金の星社	二月	
藤田 淳	面白くて偉人の話	201	一八〇	金の星社	二月	
久米 元一	面白くて偉人の話	201	一八〇	金の星社	二月	
三井 信衛	面白くて偉人の話	192	一八〇	金の星社	二月	
本地 正輝	面白くて偉人の話	195	一八〇	金の星社	一月	
三井 信衛	面白くて偉人の話	192	一八〇	金の星社	二月	
久米 元一	面白くて偉人の話	201	一八〇	金の星社	二月	
藤田 淳	面白くて偉人の話	203	一八〇	金の星社	二月	
松本 正道	面白くて偉人の話	203	一八〇	金の星社	二月	
藤田 淳	面白くて偉人の話	201	一八〇	金の星社	二月	
久米 元一	面白くて偉人の話	201	一八〇	金の星社	二月	
三井 信衛	面白くて偉人の話	192	一八〇	金の星社	二月	
本地 正輝	面白くて偉人の話	195	一八〇	金の星社	一月	

兒童書類(科學物語)

上野田	輝雄	子供の汽車と電氣機關車の話 大めの	附録 模型の作り方	布四六 装判	284	二、一〇	一元社	月六	▲面白く述べた我國及び歐米諸國の汽車や電氣機關車のお話。附録模型の作り方。
寺島	証史	現代の發明家物語 少年發明科學叢書(1)		布四六 裝判	316	一、〇〇	文教書院	月八	▲日本の現代の發明家達の發明の動機や發明の解説や生立等を興味深く述べた書。
寺島	証史	少年發明科學叢書(2)		布四六 裝判	321	一、〇〇	文教書院	月八	▲日本人の獨創力を誇る發明家物語で、米國の世界一をうばふ外二十一篇。
小林	秀彌	少年ラヂオ讀本 少年發明科學叢書(310)		並編半 裝判	180	二、〇〇	春陽堂	月五	▲ラヂオ科學の易しい讀本で、神様より強いラヂオの話、ラヂオ受信機の話外七篇。
松平	道夫	發明見物物語叢書		青函四六 洋六 布入判	229	八、〇〇	門野書店	月一十	▲引力を發見したニュートンのお話で、附録にアインシュタインとキュリー夫人を收録するフルトンのお話。
松平	道夫	發明見物物語叢書		青函四六 洋六 布入判	205	八、〇〇	門野書店	月一十	▲機關銃を發明したマキシムの物語、附録に機物機械の發明をしたジャカールの物語收録
松平	道夫	發明見物物語叢書		青函四六 洋六 布入判	206	八、〇〇	門野書店	月一十	▲飛行機を發明したライト兄弟のお話、附録にウエスチングハウスの物語を收めたもの。
松平	道夫	發明見物物語叢書		青函四六 洋六 布入判	200	八、〇〇	門野書店	月一十	▲不熱心な牧童、熱心な機關夫、苦しい境遇スチブソン腕前、研究から發明へ等。
松平	道夫	發明見物物語叢書		青函四六 洋六 布入判	202	八、〇〇	門野書店	月一十	▲エヂソンの生ひ立ち、新聞賣子、危い、技手時代、天才の閃き其他にて述ぶ。
松平	道夫	發明見物物語叢書		青函四六 洋六 布入判	201	八、〇〇	門野書店	月一十	▲鳥の王様、大學を止めて、大望、初陣の功名、ポルトガル行、其他にて述べたもの。
松平	道夫	發明見物物語叢書		青函四六 洋六 布入判	201	八、〇〇	門野書店	月一十	▲金持の家に生れて、お父さんの死、勉強好きな少年、發明へ、機械を破壊される等。
松平	道夫	發明見物物語叢書		青函四六 洋六 布入判	200	八、〇〇	門野書店	月一十	▲生ひ立ち、瀑布の上を泳ぐ、勝利に導いた計略、ワエツペリソンの決心、其他を收録した

(B) 兒童學習書

各科學習書

兒童書類(科學物語・兒童年鑑・各科學習書)

松平	道夫	ベ	ル	青函四六 洋六 布入判	200	八、〇〇	門野書店	月一十	▲小説好きな少年、道樂と發明、電話の發明遂に完成、哀れなベルの苦心其他。
松平	道夫	モ	ル	青函四六 洋六 布入判	195	八、〇〇	門野書店	月一十	▲繪の好きな少年、先生の言葉、畫家になる決心其他にて述べた書。
松平	道夫	フ	ラン	青函四六 洋六 布入判	201	八、〇〇	門野書店	月一十	▲生ひ立ち、航海熱、少年詩人、放浪の旅、知事の賞讃其他にて述ぶ。
山田	徹	新	模型飛行機の作り方	上四六 製判	201	六、〇〇	大文館	月六	▲模型飛行機のおき設計指導書で、模型飛行機の各種作り方外一篇。
渡邊	軍治	少年科學遊び	春陽堂	並編半 製判	310	四、〇〇	春陽堂	月五	▲最も興味深い科學遊びを收めたもので、銅貨のバブル、紐ぬけの奇術外百廿六篇。
渡邊	軍治	面白科學玩具の作り方	春陽堂	並編半 製判	295	四、〇〇	春陽堂	月二	▲無くてはならぬアルコイル燈、役に立つランプ、スプリング外百餘の玩具の作り方。
渡邊	軍治	バツル玩具の作り方遊び方	新泉社	上四六 製判	167	八、〇〇	新泉社	月四	▲バツル玩具の製作と其遊び方を懇切に解説せるもので、勝問を擧げよ外十六篇。
深山	晃	忍術と木登り術	資文堂	上四六 製判	222	八、〇〇	資文堂	月四	▲著者の體驗し工夫した木登り術二十一種の紹介で、木遁木登り科學の解剖外九章。
野ばら	社編	兒童年鑑	野ばら社	洋函四六 布入判	312	八、〇〇	野ばら社	月一十	▲皇室、宮廷、重要詔勅、歴史、政治、地理國防常識便覽等より成る兒童年鑑九年版。

兒童書類(各科學習書・讀方學習書)

Table with 10 columns of book information including author names (e.g., 山内才助, 山下吉太郎), titles, and prices. Includes a detailed note at the bottom regarding the 'National Textbook Standard' and 'Reading Instruction' books.

六五四

讀方學習書

Table listing various reading and study guides (e.g., 小學教育會編, 國語會編) with their respective publishers and prices.

兒童書類(讀方學習書・算術學習書)

Table listing arithmetic and reading books (e.g., 算術學習帖, 讀方家庭學) with authors like 友納友次郎 and 千葉春雄, and their publishers.

六五五

兒童書類 (算術學習書・歴史學習書・地理學習書)

清 水 清	清 水 清	清 水 清	礪 原 孫 太 郎	礪 原 孫 太 郎	岩 淵 喜 一 編	岩 淵 喜 一 編	酒 井 彦 四 郎	櫻 井 春 芳	文 化 兒 童 學 研 究 所 編	學 習 社 編 輯 部 編
家庭算術學習帖	家庭算術學習帖	家庭算術學習帖	尋一の數學	尋二の數學	力の泉	力の泉	自修算術解き方新講義	面白くて小學國史讀本	國史	地理辭典
上菊	上菊	上菊	上菊	上菊	並菊	並菊	洋四六	洋四六	洋四六	並三
製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	布判	布判	製判	製判
85	90	120	101	100	131	141	240	370	119	393
三三	三三	四六	三〇	三〇	四〇	四〇	六〇	一八〇	四〇	三〇
高岡書店	高岡書店	高岡書店	モナス	モナス	モナス	モナス	中等教育社	安心堂	文化兒童學研究所	學習社
月五	月五	月五	月二	月二	月四	月四	月四	月三	月五	月三
▲教科書の順に問題を取り入れて説いた尋常四年生の算術學習帖。	▲計算力を入れて説いた尋常五年生の算術學習帖。	▲あらゆる種類の問題を収めて説いた尋常六年生の算術學習帖。	▲分り易く説いた尋常一年の數學の研究書でカゾヘカタ、スウジノケイコ其他。	▲尋常二年の數學を分り易く説いた書で、買物アソビ、フタイロワリザン其他。	▲教科書の系統を追ひ最近四ヶ年入試算術問題を収めた學習書。尋常五年用。	▲教科書の系統を追つて説いた尋常六年算術の學習書。	▲小學校兒童の算術の複習並に上級學校受験準備用書で、復習外二章。一冊訂版。	▲尋常小學五年の國史の教科書を詳しく書いたもので、天照大神神武天皇外廿章。	▲第五學年の部及び第六學年の部を基礎學習とし最後を綜合學習に分てる國史參考書。	▲現行の尋常小學國史其他より學習研究に必要なる事柄人物等を収めて解説せる辭典。

兒童書類 (地理學習書・理科學習書)

原 田 英 一 編	原 田 英 一 編	原 田 英 一 編	志 垣 寬	志 垣 寬	志 垣 寬	加 藤 正 世	加 藤 正 世	加 藤 正 世	加 藤 正 世	加 藤 正 世	加 藤 正 世
小學地理實習	小學地理實習	小學地理實習	郷土文化研究	郷土文化研究	郷土文化研究	小學昆蟲採集	小學昆蟲採集	小學昆蟲採集	小學昆蟲採集	小學昆蟲採集	小學昆蟲採集
並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六
製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判
11	16	301	412	461	107	128	125	125	125	125	192
二〇	二二	一七〇	二〇〇	二〇〇	一〇〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇
東亞出版部	東亞出版部	有文書院	文化書房	文化書房	文化書房	四條書房	四條書房	四條書房	四條書房	四條書房	四條書房
月五	月五	月二十	月四	月一	月八	月五	月九	月九	月九	月九	月二十
▲地理書に示す内容そのまゝを圖にして面白く自習出来る様工夫した實習地圖。一冊訂版。	▲實習項目毎に各圖に分けて書き入れられる様になつた實習地圖。	▲兒童の爲に地理的事象を科學的に研究し人生活に利用せんとするもの。	▲日常生活に就ての知識を述べたもので、衣服はきもの、飲食物外三冊。	▲動物植物についての學習書で、花と實、野菜と樹木、海と河の動物外二冊より成る。	▲昆蟲の採集の仕方と標本の作り方を子供に分る様やさしく書いたもの。	▲寫真圖版を多く挿入して説いた昆蟲圖譜で第一巻はばつたきりぎりすの類外一編。	▲とんぼ、かげろうの類の巻で、第一編、とんぼ類、第二編ふゆうの類外四編の圖譜。	▲少年諸君のためにやさしく昆蟲の基礎知識を説いた書で、本巻はせみ、うんか類。	▲少年諸君のためにやさしく昆蟲の基礎知識を説いた書で、本巻はせみ、うんか類。	▲少年諸君のためにやさしく昆蟲の基礎知識を説いた書で、本巻はせみ、うんか類。	▲少年諸君のためにやさしく昆蟲の基礎知識を説いた書で、本巻はせみ、うんか類。

圖畫・手工學習書

本多功	富田耕潤	富田耕潤	富田耕潤	田代正男編	山田一雄編	學校美術協會	學校美術協會	學校美術協會	學校美術協會	學校美術協會	學校美術協會	學校美術協會	學校美術協會								
オ	タヤしく新らしい	タヤしく新らしい	タヤしく新らしい	引ける	少年略	手工自習	手工自習	手工自習	手工自習	手工自習	手工自習	手工自習	手工自習								
ガ	漫畫の手本	新略畫手本	略畫の手本	略畫の繪字引	畫	習	習	習	習	習	習	習	習								
ミ																					
並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六								
製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判								
432	608	543	750	337	549	183	108	143	127	127	128	197	100	80	80	64	64	48	48		
八七	〇〇	一〇〇	一〇〇	八〇	〇七	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇		
春陽社	春陽社	城文堂	武田芳進堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	四條書房	富文館	春潮社	美術協校	美術協校	美術協校	美術協校	美術協校	美術協校	美術協校	美術協校	美術協校	美術協校		
月六	月六	月一十	月六	月一十	月一十	月二十	月十	月五	月九	月九	月六	月六	月五	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十		
▲東京府管内にある女子中等學校の入学試験問題を七十餘校掲載し正確なる解答を附す。	▲東京府管内にある男子中等學校の入学試験問題を百餘校掲載し正確なる解答を附す。	▲理科、歴史、地理の三科に就き全國最新試験問題を収録し、模範解答を附す。	▲東京府管内にある各種中等學校の昭和八年入学試験問題を蒐録し模範解答を附す。	▲入学試験に於て最も困難とする算術科の準備を試験前三ヶ月間に完成する様編める書。	▲東京府管内にある各種中等學校の昭和八年入学試験問題を蒐録し模範解答を附す。	▲文章研究篇、語句の研究篇、練習篇外四篇にて短期間に準備出来る様説ける参考書。	▲子供さん方の爲めに書いたピアノ教則本でピアノを正しく弾く前の豫備練習外一篇。	▲児童の爲めに書かれたもので、繪を中心としそれに單語を付せる英語讀本。	▲思つた繪が發言ですぐ引ける様に編んだ略畫のお手本。	▲誰にでもたやすく書ける略畫の手本で、お顔の書き方、人の様々、器具と家具其他。	▲坊ちゃんお嬢様の略畫手本で、兒童の姿態色々、器具の色々其他。	▲たやすく書ける坊ちゃんやお嬢様の漫畫のお手本で、漫畫の基礎、人生漫畫其他。	▲オドリガミの折り方を一々圖説せるもので、内裏、鳩、鶯、家外百六十六圖。	▲六年生向きに書いた圖畫及び手工の手本で白と黒の繪、本立、年賀狀外六十六圖。	▲やさしく描いた種々の繪を深山集めた略畫帖で、動物草花玩具其他。	▲二年生向きに描いた手本で、かみにんぎょう、富士山、あきないあそび外四十圖。	▲三年生向きに描いた圖畫及び手工の手本でつぼの色どり外五十五圖。	▲とんぼ、社と寺、箱庭、電燈カバー外五十二圖にて描いた四年生向きのもの。	▲コヒー茶碗の描き方、松笠細工、動物略畫外五十九圖にて五年生向きに描いたもの。	▲六年生向きに書いた圖畫及び手工の手本で白と黒の繪、本立、年賀狀外六十六圖。	▲やさしく描いた種々の繪を深山集めた略畫帖で、動物草花玩具其他。

入學試験問題集

須藤兼吉編	兒童英語讀本	英語學習書	四條書房	月十	▲児童の爲めに書かれたもので、繪を中心としそれに單語を付せる英語讀本。
小松平五郎編	ピアノの教則本	音樂學習書	春陽堂	月二十	▲子供さん方の爲めに書いたピアノ教則本でピアノを正しく弾く前の豫備練習外一篇。
春陽堂編輯局編	入學前三ヶ月準備の完成	入學試験問題集	春陽堂	月一十	▲文章研究篇、語句の研究篇、練習篇外四篇にて短期間に準備出来る様説ける参考書。
春陽堂編輯局編	入學前三ヶ月準備の完成	入學試験問題集	春陽堂	月一十	▲東京府管内にある各種中等學校の昭和八年入学試験問題を蒐録し模範解答を附す。
芳進堂編輯部編	模範解答	入學試験問題集	武田芳進堂	月六	▲東京府管内にある男子中等學校の入学試験問題を百餘校掲載し正確なる解答を附す。
戸田城外編	地理三科指	入學試験問題集	城文堂	月一十	▲理科、歴史、地理の三科に就き全國最新試験問題を収録し、模範解答を附す。
春陽社編	模範解答	入學試験問題集	春陽社	月六	▲東京府管内にある女子中等學校の入学試験問題を七十餘校掲載し正確なる解答を附す。

江戸文藝研究 山口剛

津々たる興味

文學博士 藤村 作

日本文學大辭典のために書かれた山口剛君の原稿を整理したもので、今本書を讀むと全く別人に接するやうに感ずる。それは他所行き、これは平常體の君を見るやうに感ずる。恐らくこの原稿を併せ見るとは、君の學者として、又文章家としての全貌を見るにもつとも便利であらうと思ふ。辭典のために書かれた君の原稿は、余等の定めた執筆要項にもつとも忠實な態然たるもので、隨つて原稿整理の勞のつとも少いものであつた。一言にいへば、もつとも辭典向きに出来た原稿であつた。然して君の平生態度等に發表された文、即ち本書に收録された文は、

辭典の原稿とは大いに趣を異にするものである。自在奔放な構想を持つもので、豊富な資料を持つ人の、自由な語彙でも翻くやうな文である。普通の順序、普通の形に拘らない所に、實に津々たる興味がおいてくる。余は始めて辭典の原稿に接した時は、實に意外の感を受けたものである。本書に表れた君の面目は、その平生の面目で、これこそ君の學者としての面目で、これこそ君の學者として、又文章家としての、もつとも作らない原稿を見せた文を集めたものである。第一篇は上方文學で、「四鶴好色本研究」以下十篇、就中首から五篇が特に有益で、かつ興味満ちである。第二

篇は江戸文學で、「京傳賣表紙に関する一小説」以下十三篇、余は賣表紙の研究にもつとも得る所が多かつた。付録篇は源氏物語研究で「ものけし」と「ものまされ」に関する考察二篇を収めてある。いづれも君の博識と豊富なうん書を示して、君の今日、君のための好記念たるべきものである。村松の後は、江戸文學を中心とした研究であるが、その源流及び關係をたどる時は、久しい古へにさかのぼり、又遠い支那、インドにも及んでゐる。そこに君が尋常の學徒でなかつたことを見る。君の博識は諸論文に現れた君を多辯の人としてゐる。しかしその多辯は決して厭ふべき冗辭ではなくして、人をひきつけて行く興味多い辯である。(中略)

と源氏物語との比較對照の内にも、君の思ひつきの秀抜なる感ぜしめる處が散々ある。そのどこまでを信じ得るかについては人々各意見もあらうが、かういふ見方もあり得べきことは誰も首肯するであらう。さうして雖も君のその對照の面白さには引かずられずにはゐないだらう。淨りの五段目録が、館の五番の番組から出たといふ説は新しくはないが、それから四鶴の五人女の五巻、各巻の五章の組織にまで及んだ思ひつきはすこぶる奇抜である。が、しかし、これに關しては、説を省いてあるので、例の興味多い説を讀むことの出来ないのは惜しい。江戸文學研究者として君を失つたことは、我が學界の非常な損失である。幸に本書の如き好記念を得たことはせめてものことである。五十嵐博士の序文と、會津八一、窪田空穂兩氏の跋文とは、よく君の風貌をしのぼしめるものがある。(原田直樹)

(題簽) 會津八一氏 昭和七年五月九日 定価四圓八角 東京堂發行

昭和八年度 非賣品圖書目錄

著者	書名	形態	頁數	發行所
齊藤報恩會	事業年報 (八)	四六倍	六七〇	齊藤報恩會
帝國圖書館	帝國圖書館報 二五ノ一二	四六倍	—	帝國圖書館
九州帝國大學	九州帝國大學圖書目錄	四六倍	一、三三二	九州帝國大學
九州帝國大學	九州帝國大學洋書目録 A—K	四六倍	一、〇九六	九州帝國大學
帝國圖書館	帝國圖書館報 二六ノ一二	四六倍	—	帝國圖書館
市立駿河	東京市立駿河臺圖書館報	四六倍	三三	市立駿河臺圖書館
日比谷圖書館	兒童讀物	四六倍	三二	日比谷圖書館
高梨光司	讀書の興味	四六倍	四二	高梨光司
日比谷圖書館	近藤記念海軍財團文庫圖書目錄	四六倍	七四	日比谷圖書館
帝國圖書館	帝國圖書館報 二六ノ三、四	四六倍	—	帝國圖書館
九州帝國大學	九州帝國大學圖書目錄 二、三、四	四六倍	八二	九州帝國大學
九州帝國大學	九州帝國大學洋書目録 五—M	四六倍	九六〇	九州帝國大學
互尊文庫	新舊雜誌展覽會目錄	四六倍	二六	互尊文庫
帝國圖書館	帝國圖書館報 二六ノ五	四六倍	—	帝國圖書館
帝國圖書館	帝國圖書館報 二六ノ六	四六倍	—	帝國圖書館
高千穂學校	浦門川田先生全集	四六倍	一、〇七三	高千穂學校
帝國圖書館	帝國圖書館報 二六ノ七、八	四六倍	—	帝國圖書館
山梨縣立圖書館	山梨縣立圖書館一覽	四六倍	八八	山梨縣立圖書館
東京帝國大學	新聞研究會第一回研究報告	四六倍	三三	東京帝國大學
帝國圖書館	帝國圖書館報 二六ノ九	四六倍	—	帝國圖書館
哲學・宗教・教育	國學院大學一覽	四六倍	一八五	國學院大學
國學院大學	東方文化學院一覽	四六倍	—	國學院大學
東方文化學院	マハトマ・ガンダの思想と行動	四六倍	—	東方文化學院
東洋協會	連鎖握手國民禮	四六倍	—	東洋協會
高崎雅清	立正安國論講要	四六倍	—	高崎雅清
清水龍山	立正安國論講要	四六倍	—	清水龍山

非賣品圖書目錄

六六一

山本源太編 日光役場	上野吉二郎傳 大日光山岳名勝圖	菊判 四六判	五〇 一	豊國義孝 八代國治	山吹日能公記 北島顯能	菊判 菊判	八四 五
井上儀一編 上海居留民團	滿洲支那關係圖書目錄 文部省推選派遣教育 家の見たる海外事情	菊判 四六判	四七 四	滿蒙學校 東京市役所	東京市役所 東京市役所	菊判 菊判	一 一
岐阜縣 岐阜縣職員錄	上海居留民團	菊判 四六判	九三〇 九	相羽有 渡邊貫	朴敬元續追悼錄 池原英治遺稿集	菊判 菊判	一四 一
三谷幸吉 札幌鐵道局	本木昌三・平野宮二詳傳 阿寒・屈斜路摩周湖巡り	菊判 四六判	二七〇 二	早大校友會 會員名簿	河端貞次氏傳 臺灣事情	菊判 菊判	六二 六
札幌鐵道局 大島貞吉	瀧野川町誌	菊判 四六判	三三〇 三	佐藤善治郎 臺灣事情	臺灣事情	菊判 菊判	一八〇 一
東京市役所 東京市役所	東京市史稿	菊判 四六判	八四七 八	足利角藏 神川の事蹟	江木千之翁經歷談	菊判 菊判	一〇〇 一
札鐵鐵道局 柴田秋平	驛名の起源 國立公園と飛彈高原峽	菊判 四六判	二八 二	丹羽四郎 御法川直三郎翁自傳	冬の京	菊判 菊判	一三〇 一
朝鮮總督府 五代龍作	朝鮮の聚落 五大友厚傳	菊判 四六判	五七〇 五	桂・江野村 文部省	岡山縣特殊信仰誌	菊判 菊判	七〇 七
原田高傳 高木逸磨	神奈川縣植物目錄 二木博士講演集	菊判 四六判	三九 三	尾瀨天然記念物調査報告	帝國學士院 石巻演說所	菊判 菊判	九〇 九

理學・醫學

政治・法律・兵事

朝鮮總督府 化學研究所	朝鮮の占トと豫言 化學研究所要覽	菊判 四六判	六七 六	東京市役所 朝鮮總督府	朝鮮總督府施政年報 東三省政府公報索引目錄	菊判 菊判	七六 七
高木逸磨	神奈川縣植物目錄 二木博士講演集	菊判 四六判	三九 三	山口誠太郎 滿鐵資料課	前科者はナゼ又行ふか 化學兵器解説	菊判 菊判	八三 八
貴族院 滿鐵總務部	滿洲國の我が指導原理 條約集	菊判 四六判	一七〇 一	東京市役所 東京市役所	特許局第十六次統計年表 非常時海軍國防讀本	菊判 菊判	二二 二
外務省 維新同盟	滿洲國民の總意 拓務統計	菊判 四六判	二〇 二	有馬成市 東京市役所	外國に於ける二日 大都會政概要	菊判 菊判	四九 四
若林半 若林半	南方經濟論 本代人代表が見たク に十七七の重なる事蹟を に於て	菊判 四六判	三三 三	東京市役所 東京市役所	警視廳統計書 警視廳統計書	菊判 菊判	一七〇 一
小林一郎 石川諒一	自由黨大阪事件 東京都制案反對の重點	菊判 菊判	六〇 六	東京市役所 東京市役所	造幣局長第五十八年報書 滿洲國現行內國稅率表	菊判 菊判	二六〇 二

經濟・商業・財政

Table of book titles and prices for the right page. Includes titles like '昭和三十八年度臺灣商工統計', '東京市役所 昭和三十八年度統計', '東京市役所 昭和三十八年度統計', '東京市役所 昭和三十八年度統計', etc.

Table of book titles and prices for the left page. Includes titles like '昭和三十八年度臺灣商工統計', '東京市役所 昭和三十八年度統計', '東京市役所 昭和三十八年度統計', '昭和三十八年度臺灣商工統計', etc.

工業・農業・交通

統計・社会・家政

朝鮮總督府	朝鮮國勢調査報告 四	四六倍	三〇〇	朝鮮總督府	神戸市役所	神戸市統計書 六	菊判	三二二	神戸市役所
八戸市役所	八戸市要覽	四六倍	一五六	八戸市役所	京都府	京都府統計書 一五	菊判	一八八	京都府
横濱市役所	横濱市要覽	菊半載	三三三	横濱市役所	京都府統計書 一五	四六倍	四六倍	一〇八	京都府
東京府社會局	就業狀況調査の概況	菊判	一三三	東京府社會局	沖繩縣	沖繩縣勢要覽	三六判	一七〇	沖繩縣
中央職業紹介所	職業紹介年報 昭和六年	四六倍	一九〇	中央職業紹介所	東京市	東京市勢提要	菊半載	二四四	東京市
樺太廳	樺太廳統計書 六年度	四六倍	三三六	樺太廳	朝鮮總督府	朝鮮國勢調査報告道編 六	四六倍	一〇六	朝鮮總督府
東京市	東京市統計年報 二九	菊判	一一五	東京市	朝鮮總督府	朝鮮國勢調査報告道編 六	四六倍	二六七	朝鮮總督府
朝鮮總督府	朝鮮國勢調査報告 道編	四六倍	二四〇	朝鮮總督府	神戸市役所	神戸市統計書 一	菊判	二五二	神戸市役所
輔成會	司法保護團體名鑑	四六倍	三三〇	輔成會	東京市役所	東京市各區町名別人口	菊判	二五九	東京市役所
輔成會	司法保護事業成績	菊判	一三七	輔成會	東京市役所	東京市職業紹介成績年報	菊判	一六四	東京市役所
宮城縣	診療所概況要覽	菊判	八八	宮城縣	海邦各地在留人口表	海外各地在留人口表	菊判	一〇〇	海邦各地在留人口表
東京府社會局	失業對策に關する諸資料	菊判	七四	東京府社會局	横濱市統計書 二六	横濱市統計書 二六	菊判	一〇〇	横濱市統計書 二六
東京府社會局	水上生活の生活現狀	菊判	一六一	東京府社會局	松本市勢要覽	松本市勢要覽	四六判	八〇	松本市勢要覽
東京府社會局	要保護者に關する調査	四六倍	一九〇	東京府社會局	朝鮮總督府	朝鮮國勢調査報告道編 六	四六判	二八〇	朝鮮總督府
東京市養育院	養育院六十年史	菊判	七三	東京市養育院	横濱市勢要覽	横濱市勢要覽	菊半載	一六六	横濱市勢要覽
關東廳	關東廳管内昭和七年現住人口統計	四六倍	八三	關東廳	調査結果表 一・二・三・昭和五年	調査結果表 一・二・三・昭和五年	四六倍	一〇〇	關東廳
同調會	工場労働者の居住事情	菊判	七〇	同調會	大阪市統計書 三二	大阪市統計書 三二	菊判	一〇〇	大阪市統計書 三二
同調會	共同住居居住者生活調査三	菊判	三三	同調會	東京市勢統計原表	東京市勢統計原表	四六倍	二〇	東京市勢統計原表
北海道廳	北海道勢一覽	菊半載	二七六	北海道廳	東京市養育年報 昭和七年	東京市養育年報 昭和七年	四六倍	二〇	東京市養育年報 昭和七年
北海道廳	北海道統計書 一・二・三	四六倍	一	北海道廳	東京市養育年報 昭和七年	東京市養育年報 昭和七年	菊判	三三	東京市養育年報 昭和七年

文學博士 鳥居龍藏 閣
成田重郎 譯

ド・モルガン 著

原書三七八頁
定價金參圓貳拾錢
送料金廿二錢

有史以前の人類

(先史學概論)

先史考古學
總論として
専門學徒に
もアマチュ
アにも最も
参考となる
好著

現今は考古學、殊に先史考古學は一大流行で、アマチュア連の遺蹟・具探の探査や石器・土器等を採集する人が中々多い。けれども、これ等の人の參考學習用として、讀むべく學ぶべき適當の本が我が國に出版せられていない。これは新學發達上最も遺憾と云はねばならぬ。(中略)

本書は表題の如く有史以前總論として著はされたものであつて、最初に序言としてアンリ・ペール氏の「人類の手と道具」を記しそれから本文に入り、豫備考察として、第一部に工業の進化、第二部に有史以前人類の生活、第三部に人類の智力の發達と民族相互間の關係等に涉つて記し、最後に結論を付して居る。本書は先史考古學總論として最も有益なもので、而かも參考とするに最も適當なものである。されば本書は始めて先史考古學に入らんとする學徒も、また一般大衆もこれを讀まば、新學上の智識を得るに頗る便利であり、大に參考とするに足る。(鳥居博士序文の一節)

西村眞次著 人類學汎論 定價三・五〇
西村眞次著 世界古代文化史 定價四・八〇

東京 東 堂 振替 番 〇七二
東京市役所 區町麴市京東 目丁一段九

○俳句新日誌(菊年製) 一・二〇 〇八

○獨文自由日記(菊年製) 〇六 〇六

○獨文日記(菊年製) 一・〇〇 〇六

◇改善社◇

當用日記(洋四六判) 〇〇 〇〇

自由日記(洋四六判) 〇〇 〇〇

中學生日記(洋四六判) 〇〇 〇〇

學生日記(洋四六判) 〇〇 〇〇

趣味の日記(洋四六判) 〇〇 〇八

常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

超常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

超常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

超常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

超常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

超常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

超常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

超常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

超常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

超常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

超常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

超常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

超常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

超常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

超常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

超常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

超常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

超常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

超常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

超常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

超常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

超常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

超常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

超常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

超常用日記(洋四六判) 〇〇 〇六

◇新 政 社◇

○働く日記(三五判) 〇〇 〇六

◇東京實業社◇

○家計簿と主婦日記(四六判) 〇〇 〇六

他人の著書に由りて己れを改良する事に時間を用ひよ然らば他人が辛苦を盡したるものに由りて容易く改良を遂ぐるを得べし、むしろ富を捨つるも智識を取れ何となれば一は一時にして一は永久なればなり

ソクラテス

著者：ル・ン・アツ 前田 晃

聖書物語(人間の歴史)

定價 金三圓五錢 東京堂發行

好評嘖々たる建文館

建文館の教育圖書

東京牛込建文館 矢來七九

電話牛込四三八七・振替東京八五七〇

文學博士 田中寛一編輯 師範大學講座 倫理・教育 全二十卷 會費毎月二圓 送料十四錢

阿部八代太郎編輯 師範大學講座 數學 教育 全十二卷 會費毎月一圓五十錢 送料十二錢

田中寛一編輯 師範大學講座 國語 教育 全十二卷 會費毎月一圓五十錢 送料十四錢

顯問友枝高彦 講師(大關將一) 教育者のための獨逸語講座 全六卷 會費毎月一圓 送料十錢

東京高師講師 丸山良二著 教育心理學 定價四圓五十錢 送料三十三錢

東京高師講師 大關將一著 近世論 學概 定價二圓八十錢 送料十六錢

東京高師講師 大關將一著 學問方法論 定價一圓 送料十錢

內容見本進呈

!! 社究研は典辭語英

岡倉由三郎先生編

研究社新英和大辭典

最新・最大・最廉!

名實共に英和の大御所!

大英和は岡倉先生の定評と共に全
諸學校、知識階級諸賢に禮讃さ
る。本辭典は、大改訂と共に百三
餘頁の増補をも敢行し、而も之
に反比例するところの大特價を以
て提供すると速かに書架の王座へ
本辭典を備へて満卷の知識を縦
活用あらん事を!

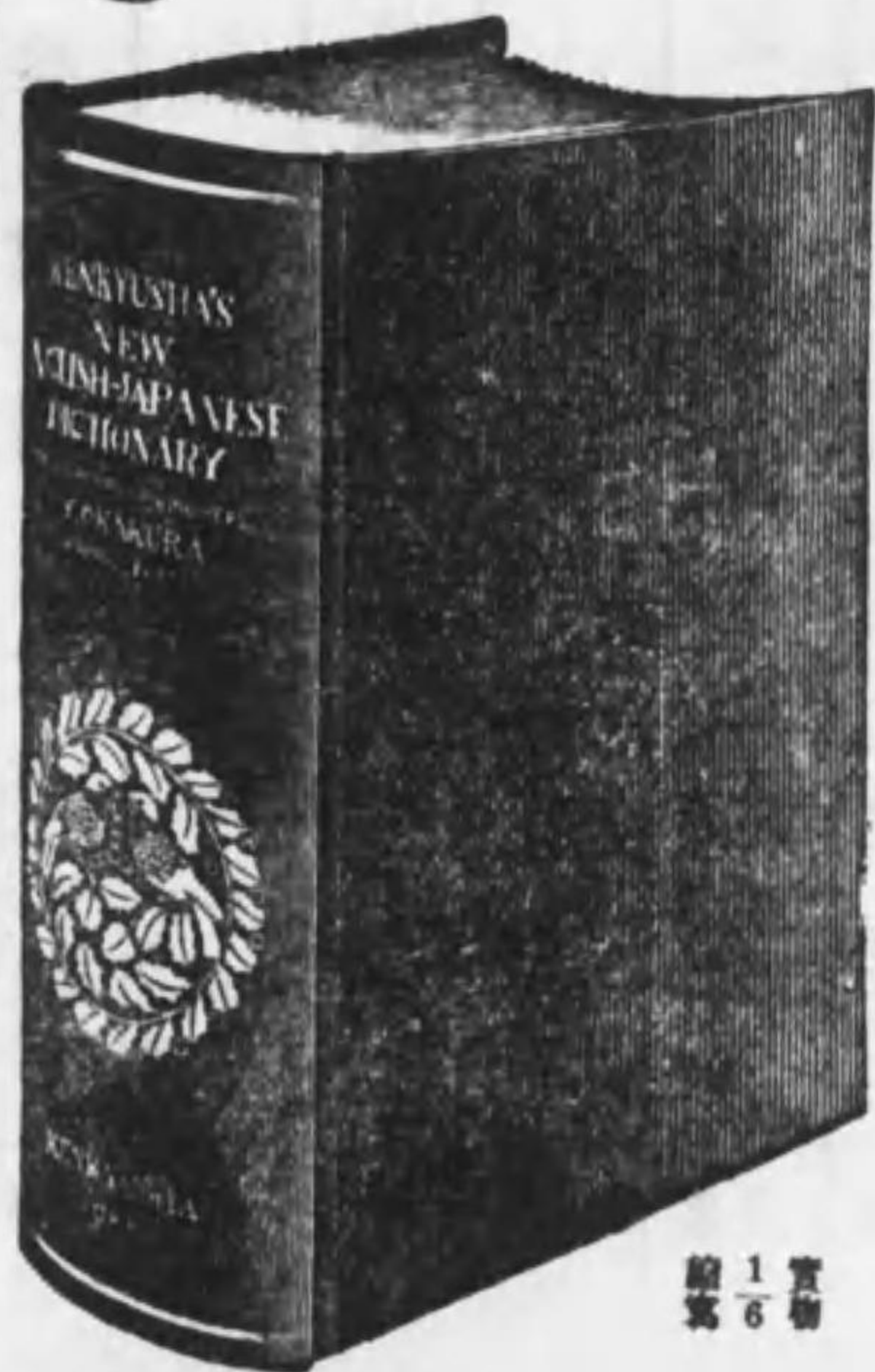
!! 版補増大訂改

特(並製(レザ)金五圓
價(特製(想革)金五圓八十錢

研究社新和英大辭典

武信由太郎先生編

四六判二段組並製特價金五圓五十錢
總二千三百頁特製正價金七圓



增 新語と米語 七十二頁
補 固有名詞辭典 六十二頁

1/6 實物

六七六

!! トッケポは小架書は大

研究社 多ール英和新辭典

岡倉由三郎先生編
四六判二段組・レザ1裝
挿畫二千・總一・二〇頁
特價二・八〇
(送料三三)

研究社 多ール和英新辭典

岡倉由三郎先生編
四六判二段組・レザ1裝
學習附録三〇頁總二〇〇頁
特價三・〇〇
(送料三三)

研究社新英和小辭典

市河三喜先生編
三方金判・總革裝
特價一・二〇
(送料二錢)

研究社新和英小辭典

研究社編輯部編
三方金判・總革裝
特價一・二〇
(送料二錢)

僕の英語辭典

岡倉由三郎先生編
新四六判・レザ1裝
總八百頁美本
特價一・七〇
(送料一二)

研究社 英和商業經濟辭典

中島藤田先生共編
四六判・レザ1裝
總千二百二十二頁
特價三・八〇
(送料三三)

六七七

東京市麹町區 研究社 振替東京
一〇六八二 目丁一町見土富

◇ 峰 高 最 の 書 教 督 基 ◇

啓醒社編纂	渡邊善太著	渡邊善太著	渡邊善太著	渡邊善太著	W.ジェームズ著 比屋根安定譯	海老澤亮著	賀川・鏡田譯	竹中勝男著	別所梅之助著	阿部義宗監修 神學博士	高木 王太郎著 神學博士
對註新約聖書	舊約書の文學	舊約書の文學	舊約書の文學	舊約書の文學	宗教經驗の諸相	宗教教育教授法要領	宗教と資本主義の勃興	社會と基督敎の經濟倫理	讚美歌物語	聖書民俗考	基督敎大辭典
一四一〇〇頁判	七五〇頁判	三八〇頁判	四〇〇頁判	六〇〇頁判	七〇〇頁判	一四八〇頁判	四二〇頁判	三四〇頁判	四三〇頁判	四五〇頁判	四二〇頁判
定價三圓五十錢 送料二十一圓二錢	定價二圓五十錢 送料十圓四十錢	定價一圓五十錢 送料十圓	定價二圓二十錢 送料十一圓二十錢	定價四圓五十錢 送料二十二圓二十錢	定價一圓八十錢 送料十圓二十錢	定價一圓八十錢 送料十圓	定價二圓八十錢 送料十圓	定價一圓五十錢 送料十圓	定價二圓二十錢 送料十四圓	定價十二圓 送料十四圓	定價四圓五十錢 送料十四圓

番七八五一座銀話電 區橋京市京東
番三五五京東替振 社 醒 警 四ノ五町橋木

半年送料共九 十 錢
一年送料共一圓七十錢

帆足理一郎個人雜誌

人 生

每月一回一日發行
定價一冊十五錢

人間は宇宙の極小一點、而も全宇宙にその思想的全盤を展開し、情意的に之を把握しうる不思議な存在だ。我等は過去経験の與材を證じつめて、將來の理想を建て、理想を實現せんと努力する處に人生の價値を創造し、意味を生産する。今日この混亂瀾濁せる我國の思想界において健全なる生活原理はごその必要を痛感させるものはない。茲に私が個人雜誌を執筆しつゝある趣旨はこの適切なる要求に應じて、私の人生觀を披瀝し、更に古今聖賢の人生理想を讀者に紹介せんがためだ。私は月々諸君に見えて、私の立場から自由に人生の諸問題を論述し、兼れて社會の種々相を論評するであらう。幸にして讀書子の座右の友たるをええ、本誌の光榮の上もないことである。

帆足理一郎

帆足理一郎著譯目錄

人生の目的 (最近刊)	一・五〇
宗教と人生 (十三版)	一・五〇
哲學と人生 (十七版)	一・五〇
社會と人生 (十版)	一・五〇
教育と人生 (七版)	一・五〇
死生と宗教 (十三版)	一・五〇
イエスの生活原理 (新刊)	一・五〇
優越の世界へ (五版)	一・五〇
精神生活の基調 (十一版)	一・五〇
人生 ブラウニング (七版)	一・五〇
哲學 概論 (四十三版)	二・五〇
教育哲學概論 (十版)	三・〇〇
教育改造論 (三版)	一・二〇
ミルトン畫集(帆足) (好評)	三・五〇

段九話電 堂 生 新 目丁二町保神・田神・京東
番 二 二 八 三 三七二六六京東替振

權威者に聽け!!



豊富な學殖 獨特の才筆で
説いて明快

これなら誰にも音樂がわかる

樂壇の最高峰山田耕作先生の三大名著

最新刊

十二樂聖とその代表曲

ハイドンより現代の巨匠ストラウヴンスキーに至るまで音樂史上永遠に輝く十二人の樂聖を選びその評傳と代表的作品について詳述せるもの、作曲家についてこれだけの知識をもつことは現代人に絶対に必要です。

三版出來

兒童のための音樂

上製兩入美本
定價金壹圓
(送料六錢)

深澤省三氏
裝禎並に畫
定價金壹圓
(送料六錢)

本格的でしかも面白い名曲十二を選び讀んでも聴いてもよく鑑賞できる童話風の物語を試みたもの、全卷十二冊組ルビ付別に同名の六枚の鑑賞レコードが發賣されてをります。

レコードによる洋樂鑑賞の實際

單純なマーチから始めて音樂の最高峰室内樂と管絃樂までを説く。音樂のバイブルとして學校に家庭に大歡迎。

石井小浪 著

レコードによる兒童の舞踊

幼稚園から女學校初年級向まで、上品な童謡や唱歌、歌謡曲三十餘を選び寫真二百五十圖を入れて懇切に解説したもの誰でもすぐ踊れます。蓄音器店並に書店にあり。(大賣捌元、東京堂、東海堂、北隆館、大東館) 兒童教育、語學(英獨佛)研究、音樂鑑賞のためのコロムビア教育レコード總目錄 御請求次第贈呈



ポプリン
裝禎美本
定價金八拾錢
(送料六錢)

東京市麴町區内山下町東洋ビル内

日本コロムビア蓄音器株式會社

教育部

卷二十全 大辭典



東京神田

富山房

振替東京五〇一番
電話神田二一七一

の辭典出版によつて得た多年の經驗と研究と、學界・文界・藝界の著新銳一千餘家に及ぶ權威者諸先生の總智により大成したもので、圖版・組方・用紙・印刷・装帧に、我國在來の百科辭典が望んで及ばなかつた新創意、新機軸を盛つた萬有知識の無盡藏の寶庫であり、廣範な社會文化のため、自由に安易に惜しみなく開かれた一大民衆圖書館である。

特價（全十二卷）六十圓
各卷五圓

定價（全十二卷）八十四圓・各卷七圓
送料各卷市内・一二内地・四五領土・七五

冊一ひせ



↑ 詳細漢和大事典
↑ 富山房大英和辭典

全國學校指定辭書
教育界一致推薦

服部・小柳兩博士 共著
増訂 詳細漢和大事典
特價二圓五十錢
送料内地・三二

市河博士・畔柳・飯島共著
富山房 大英和辭典
特價五圓五十錢
送料内地・四五

六八五

富山房 國民百科



分拂便法あり

◆詳細内容見本進呈◆
寄稿家一、〇〇〇餘名
全十二卷 總一、〇〇〇頁・各卷
本文二段横組書八百餘頁・挿圖百餘面
體裁 革裝天金・堅牢莊麗な装帧（堅八寸三分・横五寸九分）用紙は新渡す

建國の紀元の佳節に當り、わが富山房五十周年の一大記念出版として「國民百科大辭典」全十二卷を發表いたしましたことは出版者として最大の光榮であります。

この「國民百科」こそ富山房が五十年來、「大日本地名辭書、日本家庭大百科事彙、佛教大辭彙、大日本國語辭典、詳解漢和大事典、大英和辭典、大言海」等の卅餘種

は君諸生學



縮刷版

詳細漢和大事典

特價一圓八十錢
（定價二圓三十錢）
送料・一二

素晴しく氣の利いた
學生型です。
教室にポケットに!!
通學の車内に!!
皆様の辭書として
ぜひ一冊!!

六八四

合名會社 豪華房刊行優良科學書

東京市麹町區中六番町五十四番地
振替東京百七・電話九段千拾・千拾五

竹内 端三著	函 數 論 上	3.80	.21	寺澤 寬一著	力 學 通 論	2.50	.21
竹内 端三著	函 數 論 下	3.00	.21	寺澤 寬一著	力 學 學	2.00	.21
高須鶴三郎著	微積分學深義 ² 微積分學	6.80	.33	平塚忠之助著	高 等 力 學	2.80	.21
高須鶴三郎著	微積分學深義 ³ 微積分學	7.80	.33	久米啓一郎著	力 學 一 般 力 學	4.50	.21
竹内 端三著	高 等 微 分 學	3.00	.21	岸 田 龍 一 著	力 學 變 形 する 物 體 力 學	4.00	.21
竹内 端三著	高 等 積 分 學	2.50	.21	岸 田 龍 一 著	力 學 理 論 電 氣 磁 氣 學	6.00	.33
渡邊孫一郎著	新編 高 等 代 數 學	2.40	.31	岸 田 龍 一 著	力 學 理 論 電 氣 磁 氣 學	4.00	.21
渡邊孫一郎著	數 學 諸 論 大 要	2.00	.21	久米啓一郎著	力 學 理 論 電 氣 磁 氣 學	5.00	.33
渡邊孫一郎著	初 等 微 分 積 分 學	3.00	.21	山内 兼彦譯	力 學 理 論 電 氣 磁 氣 學	8.50	.33
渡邊孫一郎著	初 等 解 析 幾 何 學	1.50	.15	平塚忠之助著	力 學 群 論 と 量 子 力 學	3.00	.21
杉村欣次郎著	高 等 平 面 三 角 法 ^{附五種圖表}	1.80	.15	平塚忠之助著	熱 學	2.70	.21
杉村欣次郎著	立 體 幾 何 學 ^{附五種圖表}	2.50	.21	平塚忠之助著	光 學 (一 部) 學	2.30	.21
高須鶴三郎著	高 等 立 體 幾 何 學	1.30	.15	平塚忠之助著	波 動 音 響 物 理 光 學	3.00	.21
高須鶴三郎著	高 等 三 角 法 附 錄 對 數 表	2.80	.21	平塚忠之助著	電 氣 學 磁 氣 學 上	3.00	.21
高須鶴三郎著	高 等 代 數 學	2.50	.21	平塚忠之助著	電 氣 學 磁 氣 學 下	3.00	.21
福田 正雄著	高 等 圖 學	3.80	.33	久米啓一郎著	力 學 理 論 電 氣 磁 氣 學 下	1.30	.06

未醒小杉放庵畫伯著

四六版總布上製美本函入
定價金二圓 送料十二錢

新刊 草畫隨筆 支滿鮮と那

隨筆三十餘篇。草畫寫真版三十餘葉。挿畫二十餘圖入り

元美術院同人、春陽會々員として其名其技知らざる者なき末醒小杉放庵先生の草畫並に隨筆の、刊行の待たる、こと久しく、今漸くにその運びを得ここにいよ／＼發賣を見たる本書は、まことに空前の好著と一大激賞を博しつゝあるもの、草畫アートの刷三十餘圖の幽玄清緻、輕妙にして又洒脫の畫と滿・鮮・支の三國地方を跋渉しての紀行隨筆の面白さは單なる寫生文と異なり、歴史的・地理的考察の深慮と加ふるに繪畫的炯眼の致す新趣麗妙の筆緻とは、讀者の美的造詣又は學究的攷察の程度と相俟つて興味愈々深らしむ。敢て本書を汎く畫人並にインテリ階級諸彦の御一讀を乞ふ。

小川千變氏著 新纂 俳畫法

俳畫を學ぶ方々への最優良書
定價金二圓 送料十六錢

東京市小石川區 小石川一丁目 八番 交蘭社發行

東京市小石川區 小石川一丁目 八番 交蘭社發行

岡倉書房嚴撰隨筆書

<p>鐫木清方著 小村雪岱畫伯裝幀</p> <p>銀砂子</p> <p>四六判和紙四色刷裝函入 定價二・三〇 送一〇</p>		<p>伊原青々園著 (隨筆集)</p> <p>演劇談義</p> <p>四六判絹布四色刷裝函入 定價二・〇〇 送一〇</p>							
林 芙美子 厨 女 雜 記	室生犀星 菜 莢 の 酒	新居 格 生 活 の 鑄	廣津和郎 過 去 (小説集)	朝倉文夫 彫 塑 餘 滴	御木本隆三 ラ ス キ ン 隨 想	子母澤 寬 宿 洞 雜 筆	泰 豐 吉 伯 林 ・ 東 京	小林一三 奈良のはたごや	平山蘆江著 (隨筆集)
平山蘆江 藝 者	同	同	同	同	北村壽夫 考證讀物集 (三卷一帙)	宇都野 研 實作者の言葉 (歌論集)	西村醉香 愛 染 (歌集)	安藤 盛 南洋と裸人群	岡本綺堂著 (隨筆集)
定價二・四〇	定價二・四〇	定價二・四〇	定價二・四〇	定價二・四〇	定價二・四〇	定價二・四〇	定價二・四〇	定價二・四〇	定價二・四〇

東京東替振 市神田區淡路二丁目七ノ小口(ル) 電話・番五三九五二

陸軍士官學校 敬 松室隆光 先生 大四好著

三版 最新高等代數學問題詳解

◆好評五版 ▲定價二・〇〇 送料十二

最新微分學問題詳解

◆好評三版 ▲定價二・〇〇 送料十二

最新積分學問題詳解

◆好評七版 ▲定價二・〇〇 送料十二

平面解析幾何學問題詳解

立體解析幾何學問題詳解

◆四六判二七〇頁 定價二・〇〇 送料十二

本書に最新平面・立體解析幾何學問題詳解を出版するや高等學校學生等より豫想外の歡迎を受け更に之が續篇として微分學・積分學・高等代數學に關しても同様の参考書の出版を熱望せらるる向の意外に多數なるの勢に強ひられ遂に同著者に依頼して最新微分學問題詳解・最新積分學問題詳解並に高等代數學問題詳解の發行を見るに至つた。其内容は邦文微積分學書の白眉として高等數學教育界各方面の賞讃を逞しくしつつある竹内氏著高等微分學・積分學書を參考せり高等代數にありては渡邊博士の名著を參考せり之に配するに歐米各國の原書・文檢・大學入學試驗問題を以てし易より難に學習的より研究的に配列した、さらば此種の數學研究者の必備の寶典たることは敢へて斷言して憚らぬ。殊に文檢受験者の必讀を乞ふ先づ寶物を見られよ。

◆定價二・〇〇 送料十二

東京東替振 市神田區淡路二丁目七八番 文啓社書店

塚本哲三先生著

(好評嘖々)

根柢國漢文要語辭典

四六版六七〇頁
總クローリス製
美装
特價 二・〇〇
送料 一・四

參考書としての獨創的新辭典！

編者曰く――

『私には端的に中等學生の自習と受験とを目標とした數種の述作があります。その主なるものは「國文解釋法」「漢文解釋法」「現代文解釋法」等でそれ等には何れも讀解文法作文上の大切な根柢事項が説いてあります。それ等を辭書的に整理統一し、更に國漢及讀解上に大切な和漢の語句を萃めて解釋したのがこの字引であります。日常普通の語句や、特殊文字や特殊文學に關する語句は別として所謂國漢文の讀解、國漢文入試問題の解決に要する根柢素材は殆ど遺漏なく網羅してゐると信じます。』

難讀索引

本文中から特に讀みにくい語句を萃めて、總畫順に排列し二十餘頁の索引を追補した。讀み方が分らぬから引けぬといふ心配が全くなくなつたわけである。

六九二

東京市神田區 錦町一丁目 振替口座 八四一七 東座 八四一七 京番 八四一七 店書堂朋有

倉長

眞先生著

(好評忽七版)

受験英語讀本

最新型美裝
六〇〇餘頁
定價 一・七〇
送料 一・二

完璧と云ふ言葉が持つ眞の意味が、茲に達成されたのである。著者の數ある受験參考書は本書にコンダンスされアレンチされた。眞に受験英語參考書のエッセンスとも云ふべきである。稱して「受験英語讀本」と云ふ。而も第一篇に於ては英文解釋の基礎を説き、公式を現し、應用問題を縱横に解剖せるあたり、其の内容の新鮮潑刺且つ親切味に満ちたる正に著者の獨壇場である。

第二篇こそは本書の眼目であり、他に其の比を見ざる著者の獨創的讀本である。

即ち入試問題の種本たる英米の名著數十冊を拉し來り、各書の内より從來試験に出た問題、將來必ず出さうな問題を數題づゝ各一章に纏め、各章頭には著者の略歴、年代、其時代の空氣、原書の説明、文章の癖を檢討し、各文章毎に懇切丁寧なる註及譯文を附し、加ふるに第一篇の英文解釋公式及基礎根柢事項の研究に連絡索引せしめたる、正に劃期的英語受験參考書と云ふべきである。

六九三

東京市神田區 錦町一丁目 振替口座 八四一七 東座 八四一七 京番 八四一七 店書堂朋有

オックスフォード大學教授

レック博士英譯

チャイニーズ・

クラシックス

刊行會

立教大學教授

内容
充實せる
受験参考書!

清水起正著

English-Japanese 論

語 定價一・五〇

English-Japanese 孟

子 定價二・五〇

English-Japanese 老子

大學中庸 定價二・〇〇

最新英文法

三八〇頁
定價一・五〇

各冊四六判 總クローズ上製函入
英漢和對照

最新英文解釋法

四二〇頁
定價一・五〇

受験の實戰的演習

二〇〇頁
定價一・七〇

東京市神田區
錦町三丁目九

二三子堂書店

振替口座東京
五三八一二番

著名音楽書器楽新刊

伊庭 著 音楽辞典

大國 著 光輝 カルカッシ

鹽入 編 輔著 本譜の 樂典講義

編輯部著 ハワイアン

武蔵野 音楽學校 志賀 靜男 著 歌曲の作り方

松原千加士著 手風琴獨習

河村直則著 童謡 作曲の仕方

河村直則著 子供のための オルガン教本

村山 博著 歌の唄ひ方

編輯部著 最新ハーモニカ獨習

シンフォニー 編輯部編 女學生の愛唱歌

草野 茂著 琴古流 尺八獨習

服部龍太郎編 世界國歌集

シンフォニー 編輯部著 明 笛 獨習

シンフォニー樂書總目錄

最新版出來!! ハガキ
で御中越の方へ、無
代御送呈申上ます。

發行所

東京市牛込區西五軒町三四
電話牛込九三九番
振替東京六九一二七番

シンフォニー樂譜出版社

最新刊
農學
博士橫井時敬著・大日本農會編纂
橫井博士全集 (全十卷)
菊判總頁數七千餘頁、精巧口繪及圖版滿載、洋裝全文字、
價七十八圓(分刷拂の便有)送料實費、早說明書

最新刊
自力更生
全國優秀農家組合行脚
菊判タロース裝、本文三百頁、總ルビ付、寫真廿七葉、
價二圓五十錢 書留送料卅三錢

增補改訂
帝國農會幹事 岡田 温著
農業經營と農政
菊判タロース裝、本文五百卅頁、總ルビ附
價三圓八十錢 書留送料卅三錢

好評
前肥料検査官 長谷川喜直著
肥料詳説
菊判本文五百卅頁、布裝、別冊分析表四十葉
價三圓八十錢 書留送料卅三錢

好評
農業技師 折目六右衛門著
農小組合活動の實際
菊判本文五百卅頁、書留送料卅三錢、總ルビ附
價三圓八十錢

好評
農業技師 折目六右衛門著
成功せる農村振興策
菊判布裝、本文二百五十頁、總ルビ附
價二圓八十錢 書留送料卅三錢

好評
盛岡高等農林學校教授 進士織平著
動物學概論
菊判洋裝、本文五百頁、圖版滿載
價四圓八十錢 書留送料卅三錢

最新刊
農學 山田玄太郎序・鳥取高農 松浦勇著
菌類界の特異現象
菊判洋裝、本文二百一頁、彩色寫真卅二、普通寫真一六九
價三圓五十錢 書留送料卅三錢

新刊
農學 小野武夫編・財團啓明會補助
近世地方經濟史料 (全十卷)
菊判每卷四百頁以上、洋裝、書留送料卅三錢
價六十五圓(分刷拂の便有)送料實費、早說明書

增補
河田 烈述
歲計豫算の話
菊判洋裝、本文二百一頁、彩色寫真卅二、普通寫真一六九
價三圓五十錢 書留送料卅三錢

增鏡釋	增鏡讀本	常用語彙 最新字典	新俳畫講座	釣狂五十年
採本哲三著	同	同編	俳畫講座刊行會	松岡文齋著
菊判六二〇頁 價三・五〇	四六列一八〇頁 價一・八〇	三五列八六〇頁 特價一・八〇	畫帖、紙 特價七・五〇	正編一・〇〇 續編〇・九〇 各〇・六〇

改訂幾何學考へ方	訂三幾何學考へ方	訂四國文考へ方	訂三漢文考へ方	算術學力増進法	幾何學と研究受験新法	幾何學軌跡作圖	代數因子分解活法	省略算
藤森良藏	同	採本哲三	同	松岡文太郎	同	佐久間謙	松岡文太郎	金澤卯一
價一・二〇	價一・二〇	價一・三〇	價一・三〇	價二・〇〇	價二・〇〇	價一・八〇	價一・六〇	價一・六〇

東京日本橋區 青野文魁堂
電話 三五〇八 電話 二四〇八

東京赤坂區 龍吟社
電話 〇四三〇(48) 電話 〇〇〇七

早稲田大學 教授 宮島新三郎の著名四種

最新刊

改訂版

大正文學十四講

四六版五五〇頁
函入美本
上等ラフ紙印刷
總洋布裝幀

定價貳圓八拾錢

送料拾四錢

本書は在來の此の種の書が單なる紹介に止まり且、大正文學を論ずること恰も明治文學の附録の如くなるに反し、獨創的な研究であり、暗示に富んだ文獻であり、獨立した大正文學論である。現代作家を取扱つて餘す所なく、其論旨極めて公平無私、好個の現代日本文學の鳥瞰圖である。敢て同好篤學者の賜讀を薦む。本書亦姉妹書「明治文學十二講」と同じく教科書として博く採用せらる。

忽四版

改訂版

明治文學十二講

四六版三五〇頁
函入美本
上等ラフ紙印刷
寫眞版數葉入

定價貳圓

送料拾貳錢

本書は明治文學の種々相を文化史的の立場から、極めて組織的に、而も平易簡明に講述したもので、之を横に見れば明治思潮の變遷史であると同時に、明治文化史でもあり、之を横に見れば用意周到なる各家各作品の鑑賞でもある。明治文學研究の入門書として、又教科用書として之に勝る良書はない。

忽三版

改訂 短篇小説新研究

價一、二〇
送料 八

短篇小説に於ける其起源、構造、内容等を古今東西の作品を例にして縱横に解剖指摘されたものである。故に本書を手にすれば創作の立場から鑑賞の立場からも遺憾のない研究が出来る。

重版

現代名作新撰 文學鑑賞讀本

全四卷
價各五〇
送料各六

明治大正に於ける短篇小説・小品文・詩・短歌等の名作を輯め各作家の作風及び評傳を述べ、且つ極めて適切正當なる鑑賞批評を加ふ。

綴り方俱樂部

月刊雜誌

世に雜誌は多からん。あるひは、華美にあるひは豪華に、その絢爛を誇る雜誌は多からん。されど眞に子女百年の前途のために、心を痛めたるは少し。

心の健を期せば先づ良心もて編輯する

本誌一度世に出づるや、心ある人々は誌面に流るゝ編輯者の至誠を汲んで、日逐ひ月に従つて隆盛を極む、今や全國小學校に愛讀者を有する實に參萬。

本誌によれ良誌は啻に愛兒の手に

實に綴り方は子供の生活なり、従つて文はその鏡なり、重める者は歪み、正しき者は正し。されば本誌によつて學業を通じ、人間の育成を完成せしむるも宜なり。

のみかは必ずや家人悉く聲を和して讀まん

每號誌面に推薦さるゝ小學校凡五十、推薦さるゝ作者尋一より高二まで百五十人見るからに天下の偉。父も讀め、母も讀め、師も讀め、眞に大衆の教育雜誌。

日本の教育文化を見んとする人、また日本の兒童文化を見んとする人、それらは擧つて本誌を手にせよ、その深きその強きとは顯然と誌面に躍動してゐる。實に日本兒童のもつ最大唯一の學園である。豊かに子女を養育せんとする士は、先づ本誌によつて、愛兒の心を伸長せしめよ、滋味芳醇にして忽ち強壯なる心身を鍛へることが出来る。

- ▲毎月一日發行
- ▲但し前月五日店頭
- ▲定價一冊參拾錢
- ▲送料 不要

★東京・東區・豊町三番地 宛書房 東京・豊町二番地 宛書房

發行所 東京市牛込區 東京出版社 電話 二五〇七番 一四七番

醫學博士 竹中繁次郎 著

結核の最新食餌療法

頁〇一三判六四
錢十三圓一價定
錢十料送

本書はブレイメル、デットワイレル氏の食餌療法を講話的（醫學生を中心にして）に述べ、且つ該法の最近の進歩に論及す。書中には無鹽療法の可否、金屬療法の如何、光線療法、空氣浴の適應、ワクチン療法の本態等を批判す、故に醫師の參考書たるは勿論看護婦、患者の好き指導書たり。

醫學博士 渡邊房吉 著 **老醫の繰言**
送定菊料價判〇一八〇四〇頁

醫學博士 保坂孝雄 著 **婦人科夜話**
送定菊料價判〇一八〇四〇頁

竹内順三郎 著 **過剩榮養と其疾患**
送定菊料價判〇一八〇四〇頁

前警視廳汽罐検査官 平岩庄一氏 著

暖房罐の使ひ方

卷上

菊版クローヌ装
定價參圓五拾錢
送料圓十四錢

内藤燃料研究所 若林金五郎氏 著

燃料燃煉試験問題答案集

菊版クローヌ装
定價一圓二角八錢
送料圓十壹錢

前警視廳汽罐検査官 平岩庄一氏 著

汽罐雑話

菊版クローヌ装
定價一圓三角八錢
送料圓十拾錢

日本機罐士協會出版部編

機罐士試験問答集

菊版クローヌ装
定價三圓二角四錢
送料圓十四錢

前警視廳汽罐検査官 平岩庄一氏 著

汽罐の使ひ方

菊版クローヌ装
定價二圓九角八錢
送料圓十四錢

七〇一

發行所 東京市東區橋本三丁目 日本機罐士協會出版部

七〇〇

東京市東區橋本區塚町一丁目九番地 東學社 電話牛込四九四番 振替東京二八七六五番

東京帝大教授 工學博士 大島義清著 (新刊)

燃料及燃燒概説

本書は燃料及びその燃燒並に熱の效果に關する技術的概念を平易に習得せしめんとするもの。燃料の合理的燃燒、熱の利用效果増進を説述し以て燃料費節約よりその資源充實に及び巷間の類書に缺く重點を剩す處なく述べ有用なる資料を提示する。現下の燃料問題解決の鑰匙。

價 2 圓 50 錢
送料 1 4 錢

工學博士 上野誠一著
油脂化學及油脂各論

菊判九六〇頁
挿圖九〇種
定價八圓
送料二十二錢

京工業試驗所技師 澤口悟一著
日本漆工の研究

菊判七〇〇頁
挿圖七〇種
定價七圓
送料二十二錢

工業化學會滿洲支部編
滿洲の資源と化學工業

菊判六一〇頁
挿圖三三三種
定價三圓八十錢
送料二十二錢

理學士 菅原公平著
鑛山調査と評價法

菊判二六三頁
挿圖二九種
定價二圓八十錢
送料十四錢

發行所 東京日本橋通
丸善株式會社
東京=神田・三田・早稲田・丸ビル

濱田 登 櫻 橋 仙 札 堂

筆執獨單生先藏吉口水

究研法形手

究研例判と説學るす關に法手切小及法形手

◎本年一月一日より實施されたる手形法・小切手法の二法律は現時取引界の王座を占むる信用取引に利用せらるゝものにて、その圓滑なる運用と理解とは一般商取引の満足たるに止まらず、國家産業の隆替にも影響する處が多い。殊に世界的統一を見たる新法に對しては疑義の盡きざるものあり、實施以來これが解釋と適用に關して多數の解説本が、學者からも實際家からも惠まれてゐるに拘はらず、尙ほ指導的役目を果すべき權威ある参考書の出現が各方面より待望されてゐる。

◎我が銀行研究社は過去十數年を通じて、銀行研究・銀行判例・金融知識・財界叢物・經營研究等々の月刊雜誌を發行し、商業・經濟・法律の専門書肆として學界並に實際界より容易ならざる信任を辱うしてゐるが、今回毅力ながらも大方各位の急務に報ゆる爲め、本邦商法學界の長老、わけても手形法の權威として聲譽普れき水口吉藏博士に囑して、我國唯一の手形法・小切手法研究雜誌「手形法研究」を創刊し、櫻花の候を期して同學諸君の研鑽に資することゝした。

◎本誌は世に散見する法律雜誌の慣例を破り、全誌を擧げて水口博士の單獨執筆に俟つ處の思ひ切つた編輯陣を備えた。これ本誌の色彩を特に濃厚にし、手形法・小切手法に關する一貫せる主張を發表して學界、實際界をリードせんとする趣意に外ならない。水口博士は人も知る如く、現に大審院判事の重職を奉じ、また明治大學法學部長の職務に衝り乍らも、絶えず銀行研究・法律論叢等に筆陣を張つて老來孜孜として學に篤く、その業績は等身大に及ぶ著書と學術論文に依つて既に顯著なるものあるは、敢て茲に暇を要せざる處であるが、今回は老骨に鞭を三十年若返つた心持にて、一學徒の純真公平なる立場から本誌を主宰するに至つた。意氣もつて壯とすべし。

◎想ふに、本誌の如く研究範圍を特殊問題に限定したる法律雜誌は我が法學界を通じて類例尠く、且つ法律學者の純粹の個人雜誌の出現は本誌をもつて嚆矢とする。この意味に於ても本誌の保有する熱心と力は、法曹界の人々は勿論、商工實際取引に携はる諸賢、殊に手形・小切手を商品とする銀行業者に對しては、他者の及ばざる滋味に富める資料を供し得べきことを信ずる。敢て支持を懇願して已まない。

刊創月四年九和昭・圓參年一・錢五廿價定・行發日一月毎

社究研行銀 四目丁一段九區町麴市京東 番八一八七五京東替振 所行發

書考參の社文歐い良の判評も最るれ賣も最

歐文社の本は賣れる。驚く程賣れる。それは内容が良いからである。価格が安いからである。印刷が良いからである。製本が堅牢美麗だからである。宣傳が行届くからである。何卒御推薦を御願ひ致します。

- | | | | |
|------------|----------|-------------|------|
| 東京高等商船學校教授 | 須藤兼吉著 | 英文解釋の徹底的研究 | 一・六〇 |
| 同 | | 和文英譯の徹底的研究 | 一・六〇 |
| 龍中教諭 | 原仙著作 | 英文標準問題精講 | 一・〇〇 |
| 陸士數學部長 | 林茂増共著 | 秀才の幾何學 | 一・八〇 |
| 陸士教授 | 松室隆光共著 | 複式代數學問題集 | 〇・五〇 |
| 陸士教授 | 松室隆光共著 | 陸士展望と入試問題精解 | 〇・八〇 |
| 展望篇 | 赤尾好夫 | 物理學の徹底的研究 | 二・〇〇 |
| 解答篇 | 歐文社通信添削會 | 入試突破の對策を語る | 〇・八〇 |
| 陸士教授 | 江原廣共著 | 以下陸續として刊行 | |
| 歐文社々主 | 赤尾好夫著 | | |

七〇四

番〇〇一四二京東警振 部版出社文歐 合落下區橋淀市京東
番六〇六崎長合落話電 地番一三七一目丁三

文學士 伊藤千眞三著	日本精神讀本	著者は日本精神の研鑽に専ら力をこめて、本書を公刊せらる。日本精神の眞髓を知らんとするものは、これに思ひ届く。	¥1.50
文學士 馬場文翁著	最近獨逸倫理學綱要	著者は、本書に於て、現下の獨逸倫理學界の傾向を、一面、歴史的、他面、系統的、著眼によつて示す。このより、我國に於ける若き學徒の、此方面に關する知識の最低限度を示さんとした。微に入り細を穿ち、述ぶれば、浩渺なるものなるであらう所の内容を、本書に於て巧に整理し、綱要として示した。學徒必讀の書としてすすめる。	¥1.50
文學士 馬場文翁著	倫理學概論講義	本書は、著者が駒澤大學に於て講義せるものを主體として、編述したもので、極めて判り易く倫理學の全般について論述してある。	¥1.80
日本精神研究會編 每册諸大家執筆	日本精神研究	隔月發行、講座式の單行本、斯界一流大家執筆、第一回は「神道精神」、第二回は「日本精神論」各¥1.80	180
帝大名譽教授 服部宇之吉先生	漢文學講義	服部博士を會長に多數試驗委員の執筆に依つて、本講義は、平明懇切を極め、一讀難解の漢文を、破るに足る。文檢受験者は、勿論斯學に志すもの、破るに足るべき講義である。講義實に五千餘頁、僅か一ヶ月にて卒業、而も一ヶ月僅かに一圓廿錢の低廉。	¥1.20
日本製圖學校長 山本美郎先生 責任教授	機械製圖法講義	明快平明なる講義は何人にも直ちに了解せられ、僅か六ヶ月間の勉學に依つて、日本製圖學校より卒業證書を授けらる。特典あり、一ヶ月僅かに一圓廿錢にして時代の要求に應じた適切な講義とす。	¥1.20
文學博士 狩野亨吉共編 書落欵印譜大全 定價各十二圓 紙數六百餘	內容見本進呈	狩野博士は、若上方先生は、當代に於ける鑑定界の巨匠、其の著書は、實物一厘一毫も違は、印譜集より、印刷の巧み、寫眞の集め、本著である。一厘一毫も違は、印譜集より、印刷の巧み、寫眞の集め、本著である。一厘一毫も違は、印譜集より、印刷の巧み、寫眞の集め、本著である。	七〇五

院書洋東 地番十目丁二町間久佐區芝市京東
番五三一芝話電 番九四九六五京東座口替振

稿 保己一編纂

群書類從

續群書類從完成會編纂

群書類從補遺

(御湯殿の上の日記)

稿 保己一編 完成會完成

續群書類從

續群書類從補遺

(滿濟准后日記、看聞御記)

實隆公記

七〇六

四六判全三十冊 定價壹百貳拾圓
月賦拂一冊 金四圓
送料一冊 十四錢

四六判全十冊 定價參拾五圓
月賦拂一冊 金參圓五拾錢
送料一冊 十二錢

四六判全六拾八冊 (上製定價壹百八拾圓
並製定價壹百貳拾圓)
月賦拂一冊 參圓五拾錢 送料廿四錢
月賦拂一冊 壹圓八拾錢 送料十八錢

四六判全四冊上製 定價拾壹圓貳拾錢
月賦拂一冊 貳圓八十錢 送料十四錢

菊判六冊 定價參拾六圓

月賦拂一冊 六圓 送料廿四錢

農林省副業課農林技師 見坊家光・太田嘉作共著

實際 農家副業大典

嬰判布裝上製・六百頁・定價金二圓・送料二圓・呈內容見本
副業獎勵官として命名ある見坊先生が直接農家經濟更生
の一助として太田先生と力合せて著さる。副業中販路の
確實なもの八十六種をあげて其の需給關係、輸出市場の
取引経路、取引商及輸出商住所名、生産又は製作の適地
や方法、病虫害、收支計算等を最も適確に述べてある。

東京高師校講師 岡山秀吉著 菊判布裝上製五百頁

木工術

我手工藝教育界の最高權威岡山先生新著、凡手工藝中最
も多様多様な實用的且つ何人も必要なるは木工也。廣汎
な木工工藝を六部門に分ち各部材料・用具機械・加工法に
渉り平易簡明に説述す。斯業者、諸學校、一般家庭の必備書

博物辭典

理學博士 牧野富太郎先生 序
理學博士 仲野次郎先生 校訂
理學博士 佐々木信次先生 監修
編輯主任 伊藤武夫先生 (内容見本星)

七〇七

村林仁八著・菊判布裝上製・定價二・五〇・千一四

遺傳の研究

遺傳學の知識は今日何人も必要である。農藝家に取つて
は動物の改良に缺く可らざる常識とならねばならない
と同時に、一般人が自己の一族改善上必ず心得置くべき常
識である。本書は初心者多量の資料を蒐集して極く分
類の遺傳に關しては成可く多くの資料を蒐集して極く分
り易く説述す。概念より常識にまで觸れんとして居る。

村林仁八著・菊判布裝上製・定價二・〇〇・千一四

淡水の動物

日本は南北延長五千軒で海岸線の長い事著名である、加
ふるに寒暖の差異甚しき為其の棲息する動物數甚だ多
が、其學術的研究は幾多とげられて居る。然し著者は多
近な處に棲息する動物に就て多年研究を續け、著者は卑
閑却されて居る小川池・水田・沼に棲息する動物を一般にす

理學博士 牧野富太郎先生 序
理學博士 仲野次郎先生 校訂
理學博士 佐々木信次先生 監修
編輯主任 伊藤武夫先生 (内容見本星)

七〇七

東京市神田區弘道閣發行 振替口座番 三四一〇七番

東京市豊島區 太洋社 電話 一七〇八番 西馬二ノ七五〇番

科學知識圖書目錄

海軍中將 米村末喜著	航 海 の 話	菊 判 定価 ¥ 2.50	P.174 送料 .22
工學博士 鴨居 武監修	圖 解 化 學 工 業	四七倍判 ¥ 5.00	P.400 .33
工業化學者 廿一氏共著	化 學 工 業 概 説	菊 判 ¥ 3.00	P.450 .33
東京天文臺 井上四郎著	天 文 小 話	四六判 ¥ 2.00	P.224 .15
理學博士 吉田貞雄著	日本の寄生蟲と其病害	四六判 ¥ 2.00	P.230 .15
陸軍騎兵少佐 岩田 巖著	傳 書 鳩	四六判 ¥ 1.80	P.190 .15
通信技師 荒川大太郎著	短 波 長 電 波 の 話	四六判 ¥ 1.50	P.150 .15
農學博士 横山桐郎著	蟻 と 蜂	四六判 ¥ 2.50	P.350 .15
農林省 永松陽一編	農 家 の 副 業	四六判 ¥ 1.20	P.400 .14
工學博士 關口八重吉編	新 しい 家 庭 工 業	四六判 ¥ 1.00	P.200 .10
社團法人 燃料協會編	燃 料 問 題 圖 説	菊 判 ¥ 1.50	P.130 .15

東京市麴町區丸の内二の六 財團法人科學知識普及會 振替口座東京 四六六〇二番

七〇九

書 樂 音 秀 優

島崎赤太郎 井上武士 工藤富次郎 三島喜代造 福井直秋 猪瀬久三 水谷式夫 末武義雄 水口 廣 越尾 隆 三島喜代造 二見孝平 小田切信夫 福井直秋 福井直秋 井上武士 福井直秋 島崎赤太郎	音樂理論書の一部 趣味に音樂通解の要領 音樂の形式と樂器の編成 唱歌の歌ひ方と教へ方 唱歌教授の新思潮 唱歌科の一時命 音樂教育の眞使命 兒童發聲指導の實際 唱歌基本練習の理論と實際 唱歌教育の理論と實際 新音樂美學 國歌君が代講學 初等學科聲樂 初等學科聲樂 初等學科聲樂 對位法 對位法	音樂理論書の一部 趣味に音樂通解の要領 音樂の形式と樂器の編成 唱歌の歌ひ方と教へ方 唱歌教授の新思潮 唱歌科の一時命 音樂教育の眞使命 兒童發聲指導の實際 唱歌基本練習の理論と實際 唱歌教育の理論と實際 新音樂美學 國歌君が代講學 初等學科聲樂 初等學科聲樂 初等學科聲樂 對位法 對位法	定價二・五〇 送料一・〇〇
萩原英一 貫名美名彦 井出嘉津子 貫名美名彦 若狹萬次郎 小倉末子 伊達 愛 信時 潔 島崎赤太郎 楠美三郎 中田 章 坂井勝次郎 東京音校 樂學	ピアノ・オルガン書の一部 バイエルピアノ教則本 ピアノの友だち(一・二) 深い兒童のピアノ教本 ハンソンのピアノ練習書 ピアノ聯彈名曲集一・二 新選ピアノ名曲集 やさしいピアノの曲一・二 ピアノ小曲俚謠集 新訂オルガン教則本 オルガン曲集 オーガングスタディズ ピアノオルガン名曲集初後 ピアノオルガン樂譜	ピアノ・オルガン書の一部 バイエルピアノ教則本 ピアノの友だち(一・二) 深い兒童のピアノ教本 ハンソンのピアノ練習書 ピアノ聯彈名曲集一・二 新選ピアノ名曲集 やさしいピアノの曲一・二 ピアノ小曲俚謠集 新訂オルガン教則本 オルガン曲集 オーガングスタディズ ピアノオルガン名曲集初後 ピアノオルガン樂譜	定價一・三〇 送料一・〇〇

島崎赤太郎監修
詳解樂語辭典
定價二・五〇
送料一・〇〇

ピアノ・オルガン書の一部

七〇八

電話三五〇四
東京東替振
番八五一〇

店書社商益共

東京市芝區
本町四區

東京帝國大學助教授文學博士 平泉澄先生著

最新刊

武士道の復活

定價貳圓八錢
送料金拾四錢

目次

一、武士道の復活
二、橋本景岳
三、橋本左内先生とその周圍
四、ドイツの歴史教育

五、月沈原の想出
六、革命とパーク
七、神皇正統記の成立
八、神皇正統記の内容

九、サボナロラと日蓮
一〇、皇室と國民道德
一一、維新の原理

今や我が國は世界の廣居にあつて極めて重大なる國情に直面し列國環視の焦點に立つてゐる。此の秋に當り吾等國民は宜しく日本精神の神髓を賞揚し國礎を磐石の堅きに置き其の理想を青雲の高きに標置して自ら歸嚮する所を確持しなければならぬ。然らば謂ふ所の日本精神の神髓とは何ぞや。これ即ち皇國三千年の歴史を貫くものである。洵に非常時國難を救ふものはこの皇國の歴史より汲取り傳統より繼承せる日本精神を措いて他にないものである。而して此の精神は所謂武士道精神の上に最もよく具現せられて萬葉の花と咲き千類の實を結んでゐる。かくして此の武士道精神は日本精神の神髓であり精華である。武士道精神の復活、之こそ時勢の要望する最大最強の聲でなければならぬ。著者茲に思を潜むること多年熱烈なる愛國の至誠を以て先人未踏の境地を拓く。本書收むる所裏に公にせる「國史學の骨髄」以後の論文十二篇すべて是れ著者独自の言説にして其の熱血の迸つて成れるもの皇國の歴史を明かにし、日本精神を闡明して餘蘊なし。特に巻頭を飾る武士道の復活の一篇の如き潑然として金石の響を發するもの誠に近來の快著。切に大方愛國の士の一讀を乞ふ。

發行所 東京市牛込區方拂町七十二番七
電話 四五〇五
東京市牛込區方拂町七十二番七
電話 四五〇五
至文堂

文學博士 大槻文彦先生著



辭書界の最高權威と稱する年を経るに隨ひる必要益々増加する
辭書界の最高權威と稱する年を経るに隨ひる必要益々増加する
辭書界の最高權威と稱する年を経るに隨ひる必要益々増加する

中形版
四六判 布裝
定價貳圓貳拾錢
送料拾八錢

小形版
菊判 半截形
定價壹圓八拾錢
送料拾貳錢

文學博士 井上頼閑先生
文學博士 上田萬年先生
文學博士 萩野由之先生
文學博士 芳賀矢一先生
文學博士 關根正直先生
文學博士 和田萬吉先生
佐村八郎先生著

增訂國書解題

新附載 濱野知三郎先生編 叢書目錄
菊判天金背革特製 全二冊各箱入美本
定價 金貳拾五圓
特價 金拾五圓
送料 金四拾貳錢
國書解題は我國の國書を網羅して之が内容を説明し且著者の傳を詳記せるものにして讀者の傳座右に缺くべからざるもの也。殊に其索引の完備せるを叢書目錄を増補したるは本書を利用して其上に一層便益なり併せて以て其用途廣大ならん。敢て大方の清鑑を待つ。

東京市牛込區口替振
番一七三二
林平書店 株式會社
橋本 日服
橋本 株式會社

町島中越區川深市京東
 內廠本株糧軍陸
 番三〇一一(73)所本話電
 番二〇九六一京東替振

會友糧所行發

陸軍糧秣本廠編

日本兵食史

上卷菊版四百頁クローズ背皮 價三、五〇(送料上下)
 下卷菊版八百頁クローズ背皮 價五、〇〇(送料四下)

醫學博士 岡崎桂一郎著

日本米食史 附 食米と脚氣病との史的關係考

菊版千三百六十八頁裝幀背皮美本

定價七、〇〇 送料三、〇〇

糧友會編 掛軸物太さ 天地四尺五寸 左右四尺五寸

日本主要食品營養圖解

價表裝上 五、〇〇

(荷造費、三五) 送料實費)

糧友會 北山繁富保雄雄編著

食品の選擇 營養價計算 早見書

菊版赤クローズ表紙四百四十頁 定價二、五〇 送料一、四〇

上代より近代に至る幾多戰陣の兵食狀態を明徴にし、
 武人日常食生活は勿論、時代の概観・食經濟・營養學
 を記述して、前人未踏の分野を此處に開拓し、而かも
 何人も容易に理解し得らるゝ如く記述し、且く實に日
 本精神を以つて、軍隊糧食關係者、食糧教育者は勿
 論讀史さして興味津津たるものである。

本書は群籍無量二萬餘卷を涉獵し、前後三度稿を易へ
 七年にしてなつた。遠く日本人米食の由來を尋ね、細
 かに米食精粗の沿革を探り、以て脚氣消長の迹を述
 べ、兼て食糧と國運の隆替、士氣の張弛、風俗の醇
 離、農商工業の興廢に及ぶ。肯なる哉本書は現在主食
 改善運動の原動力となる、本會犧牲的奉仕出版する所
 以。

私共日常主要食品百八十二種の各食品の蛋白質、脂
 肪、含水炭素、纖維、無機鹽類、ビタミン、カロリ
 を圖解し、且つ美麗な原色版で食品圖解を兼ねたもの
 である。尙食物消費の合理化を了解せしむる爲各營養
 素の性質、作用、分布、食需量、調理等平易明快な説
 明を附してある。

本年の鑑 電氣之友社編纂
 本邦電氣の現狀を詳細に知るの統計集
 邦電氣の關する必要なる各工場の早見案内
 最近の新設電氣會社、電氣化學、家用電氣の
 全國電氣機器製造、販賣、會社、商店、工場を網羅せる至便の案内
 各種電氣關係者の氏名一覽

ELECTRICAL
 YEAR-BOOK
 1934
 回九十第

電氣年鑑

定價五圓 送料三十三錢

別冊附錄 (携帶用形) 三百頁餘
 電氣家約四千名の職業、住所、氏名一覽

電氣之友社

東京市京橋區八丁目一(銀座通) 電話二二五二番
 大阪市北區西堀町三十二番 電話一〇九六番
 東京市東區本町二番 電話二〇三〇番
 東京市北區本町一丁目 電話一〇九六番

建築寫眞類聚

【昭和九年四月現在】

第一期 自一至七期 プレート式帙裝 冊料 .10 一送代金引換 .06 1.30

住宅の改修 ・五宅別和 ・住別和 ・新門庭 ・石墻室 ・建同建	外造の住宅 ・小望建 ・別荘近代 ・庭園の局 ・燈籠内装 ・築金具	観宅の住宅 ・別荘住宅 ・部集壁飾 ・具(5) ・具(3)	・改室及良便 ・和室百欄 ・店頭トカ ・レスラカ ・活映動眞 ・映動眞建 ・同画行會 ・同同同 ・同同同 ・同官街 ・部ホテル	所室店集(4) ・所室店集(3) ・所室店集(1) ・所室店集(2) ・所室店集(4) ・所室店集(6) ・所室店集(8)	・小規模の美術館 ・米國堂書圖建 ・講特種建 ・同病院建 ・工復興假建 ・遊園地宮寫 ・明治神宮寫 ・橋臺置と舞臺設 ・舞臺置と舞臺設 ・逸近代建築形 ・ステインドラス	館築館築(1) ・館築館築(2) ・館築館築(1) ・館築館築(2) ・館築館築(1) ・館築館築(2) ・館築館築(1)
--	--	---	---	---	--	---

八期 スクリューとち函入 冊料 1.20 一送代金引換 .08 1.40

・別巻は一期より七期までの中、第八期の體裁に準じ改訂重版したるもの

・數寄屋造の住宅 ・數寄屋造の別荘 ・瀟洒なる建物 ・和風住宅の室内構成	・和風窓及勾欄 ・床の間の設計 ・新しい臺所の浴室 ・新住宅の浴室	・庭門及四阿 ・カフエー館 ・旅
---	--	------------------------

別巻 スクリューとち函入 冊料 1.20 一送代金引換 .08 1.40

・茶室建築(3) ・百貨店白木屋(2) ・カフエー外觀集(2) ・新しき階段の構成(1) ・現代和風邸宅の構成 ・新しき照明意匠 ・和風住宅の室内構成(2) ・カフエー内部集	・書齋應接の構成(2) ・カフエー内意匠集(2) ・塗装舗装石積意匠集(2) ・世界の新興住宅築集(4) ・事務所子戸寫真集(4) ・床間室内構成(1) ・新興住宅の室内構成	・醫院建築(2) ・意匠内建構成(3) ・住宅佛前竹の ・カフエー佛前竹の ・新煖住宅堂 ・食
--	---	--

東京市牛込區 洪洋社 振替東京二一八二四 電話四谷四四六二
東京市牛込區 洪洋社 振替東京二一八二四 電話四谷四四六二

七一八

春日神社文書

京大助教中村直勝編 第一、菊版九〇〇頁 官幣大社春日神社藏版 第二、菊版一三〇〇餘頁

第一 特價金六圓 (送料二十二錢) 第二 定價金拾圓 (送料二十二錢) 國史研究の殿堂開かる。未發の古文書史料、日本精神の凝集の中心たる南都春日大社の秘庫が公開せられたる。さば實に人為に非ずして神業といふべきか。本書は單なる史料集以上、日本歴史が語る公武貴庶の信仰の大蓄積なるが爲め學界に寄與するところ又偉なりといふべし。宮地直一・菅原正敬・辻善之助・三浦周行先生等々の序文は明かにこれら物語る。

埼玉叢書

柴田常恵編 各巻菊版五百六十頁クローズ背表紙 稲村坦元編 金文字入美本(全三冊)約千七百餘頁

埼玉縣史編纂事務所に於て編纂せられ、縣の貴重なる資料は悉く此内に集まれる大寶庫と云ふべし。本書は全三冊の完成を見るに至るに埼玉縣知事より。本書は全三冊長くも天覽の榮を賜ふに至りたる光榮を有する叢書なり。三島政行先生編 菊版九ボイント活字・圖版多數挿入・全三巻 上製美本箱入・全三冊 定價金八圓六十錢 送料一冊十二錢

葛西志

本書は從來一部の稿本を東京府藏に秘藏して世に出でざりしを今度始めて世に出でたる貴重すべき稿本にして、得難き葛西地方の史料なるべし。

山梨縣編 寫真版アト紙兩面刷六十二枚

山梨縣名木誌

本誌は山梨縣下の巨木、崎木、庭木等を調査し其の中最も顯著なる百五十餘種を撰みて記述したるものなり。

俳句三十講

山口剛序・黎明居紫舟著 四六版布裝帙函入 極上美本總頁五百廿頁

新選俳句季語辭典

黎明居紫舟編 菊半截布裝帙・總頁七百有餘頁 合本金二圓六十錢 送料一冊十二錢

安藤野鴈集

渡邊刀水先生編 四六版箱入上製美本 定價金壹圓五拾錢 送料八錢

明治初年の代表的歌人大隈言道・橋野鴈に次いで安藤野鴈の歌風は萬葉調の古典味と流麗玉の如き快調を以て鳴る。而かも野鴈集の古歌論萬葉集新考は現今古典研究の盛なる折から新しき價値を認識されつつあり。

東京市牛込區 田上泰文堂 振替東京二一八二四 電話四谷四四六二

七一八

對譯脚註 獨逸論文叢書

尾崎賢三郎譯註
イエーリンク著
新刊 權利爭鬪論
定價一・四〇 送料一・二〇

杉山茂譯註
ジョージ・ハウエル著
讀書と書籍婦人論
定價・九〇 送料・〇四

生駒佳年譯註
ヘッケル・ダーフイット著
進化論
の内容と意義と社會的進化
定價一・二〇 送料・〇六

山岡直道譯註
キントエルバンド著
序曲 (ブレイエル)
定價一・三〇 送料・〇八

杉山茂譯註
ヒルテ著
人生の段階
定價一・〇〇 送料・〇四

杉山茂譯註
物理と化學
(初級用) 定價一・〇〇
(上級用) 定價一・三〇
送料各・〇四

杉山勝知・生駒佳年譯註
カール・テイール著
理論經濟學
定價一・四〇 送料・〇六

野田淨曜譯註
リツケルト著
哲學の概念に就て
定價一・二〇 送料・〇六

杉山勝知・杉山茂譯註
ラートブルフ著
法律學概論
定價・九〇 送料・〇四

◎ 其他獨和對譯書餘50種目錄あり御報送呈 ◎

發行所 東京市本郷區 龍岡町三二 **南山堂書店** 電話小石川 振替東京 6028番
賣捌所 東京堂・三省堂・富山房

七二一

最高機關誌 釣魚界の

水之趣味

四六倍判表紙三色版
口繪美術寫真十數葉
本文百餘頁每月一回
一日發行一部五十錢

井上賴園博士
高山菟田兩先生共編
讀書作文の
好師友

難訓辭典

本書は國書中より普通に訓解し難き語句を網羅し其の訓義と出典とを示したるものにして語數約七千出典書五百餘種に及ぶ。教育家は素より苟くも文字に親しむ者之を案頭に備ふれば便益尠なからざるべし。
四六判五二七頁 特價二圓 送料一四錢
實物寫真入内容見本即時進呈

學界の至寶 國漢字典の界霸者

昭和最新版

大字典

定價三圓五十錢

送料内地廿四錢

上田萬年 岡田正之 飯島忠夫
三博士 榮田猛猪 飯田傳一兩教授 共編

內容見本 即時進呈
取次全國 有名書店

振替東京 電話小石川 五五〇二一 六八六二内ノ丸
啓成社發行 東京内三ノ九

七二〇

権威ある國漢文註釋書

次田 潤著	古事記新講	定價五・八〇	金子元臣著	古今和歌集評釋	定價六・六〇
同	祝詞新講	四・五〇	同	古今集通解	二・五〇
同	國文學史新講上	三・五〇	鹽井正男著	古今集和歌詳解	八・五〇
金子元臣著	枕草子評釋	七・五〇	佐佐木信綱著	増訂萬葉集選釋	三・三〇
同	枕草子通解	三・五〇	同	新古今集選釋	二・五〇
同	枕草子通解	三・五〇	三矢重松著	高等日本文法	五・八〇
同	本源氏物語新解	各三・八〇	同	訂修官職要解	三・五〇
佐藤 球著	大鏡詳解	四・八〇	和田英松著	大學解義	一・七〇
和田英松著	重増鏡詳解	五・五〇	簡野道明著	中庸解義	二・三〇
佐藤 球著	修増鏡詳解	五・五〇	同	論語解義	二・三〇
和田英松著	増鏡通解	二・四〇	同	孟子通解	二・八〇
石川佐久太郎著	十訓抄詳解	四・五〇	同	孝子解義	二・八〇
石橋尚寶著	平家物語評釋	四・五〇	同	唐詩選詳說	各三・〇〇
内海弘藏著	徒然草詳解	二・三〇	同	白詩新釋	三・〇〇
同	紫式部日記精解	一・五〇	同	和名詩類選評釋	三・〇〇
同	神皇正統記評釋	一・〇〇	同	十八史略新解	一・七〇
大町芳衛著	諸曲大觀全七卷	各四・八〇	同	日本外史新解	一・九〇
佐成謙太郎著	諸曲選講	三・三〇	同		
同	日本永代藏評釋	二・六〇	同		
佐藤 鶴吉著		二・六〇			

東京市神田區錦町一丁目一〇番地 田錦町 株式會社 明治書院 電話東京四九一七 電話東京四九一七

七二三

よき詳解をお書き下さい!

- 最も有用な詳解
- 最も実用的な詳解
- 最も求めが甚だしい

パイロット

今年度は断然トツプだ!!



パイロット詳解

御進級の用意! 新教科書と共に忘れなく……

全學生諸君! 豫習・復習の座右に通學のポケットに必ず各課目一冊を忍ばせて頂きたいこの最新スマートなパイロット詳解

- ⊙ 一見明瞭・一讀了解
- ⊙ カード式使用自在
- ⊙ 内容正確・編輯獨創

十指の動くところ「これこそ求める虎の巻だ」との御定評を頂いてゐます

英・國・漢・數學等數百種出來

全國有名書店にて販賣してゐますが品切の際は直接本社へ御注文願ひます

虎の巻の何れも御申越次第美麗目錄呈

東京市神田區錦町一丁目一〇番地 田錦町 株式會社 明治書院 電話東京四九一七 電話東京四九一七

七二二

明治天皇御製 千葉胤明翁謹書題字 頭山滿翁書
 明治天皇御製 男爵金子有道翁拜書背文字 宮島大八氏書
黑龍會編纂 菊版九百餘頁 ▲卷頭寫真 四頁
 定價一冊金十圓 ▲送料荷造費共
 內地金五十錢 ▲新領土金八十錢

東亞先覺志士記傳上卷

(刊 新 最)

明治初年以來、東亞經綸の爲に馳驅盡瘁せる我
 民間先覺の志士は實に我國運動興の先驅となり
 對外發展の礎石となれるものにして、其雄圖と
 功業とを偲び來れば恰も蒼穹に燦然と輝ける北
 斗の星光を仰ぐが如き感なくんばあらず。本會
 は夫等の事蹟の湮滅に歸せんとするを慨し、周
 れく調査研究に努むること茲に年あり、漸く開
 幽の目的を達して今本書を江湖に送る。本卷に
 收むる所は明治初年より日露戰役終末に至る先
 覺志士の事蹟にして、全篇六十章、縦に東亞問
 題の變遷推種を審にし、横に事件と人物とを細
 説し、一面には明治の秘史を發きて、遠大なる
 先覺志士の經綸と其驚嘆景仰すべき行動とを活
 寫す。幾多志士の面貌は高山大嶽の簇り聳ゆる
 が如く、卓犖雄偉、氣象博大、興趣横溢し、波
 瀾曲折を極め、嵯峨たる劍氣をよるに人に迫る
 ものありて、開卷一番東亞經綸の大インスピレ
 ーションに打たれずんばあらざるべし。皇國の
 大使命を體得して東亞の將來に處せんとする者
 は必ず此一書を座右に置かざる可からず。敢て
 廣く之を江湖に薦む。(說明書申込次第送呈)

七二四

内田良 著 武道極意 附剛勇百話 送價四六版洋布製 拾貳錢圓	内田良 著 聖訓謹解 送價四六版洋布製 壹圓	葛生能 久著 高士山岡鐵舟 附鐵舟遺稿 送價四六版洋布製 貳圓拾貳錢	黑龍會 編纂 日韓合邦秘史 上下兩卷 附黑 龍會三十年事歷 送價貳拾五圓 七拾五錢	内田良 著 國體本義 送價四六版洋布製 壹圓	黑龍會 編纂 最新亞細亞大觀 附亞細亞全圖 送價四六版洋布製 壹圓	内田良 著 皇國史談 日本之亞細亞 送價四六版洋布製 壹圓
---	------------------------------------	---	---	------------------------------------	--	--

東京市永田町二ノ六 黑龍會出版部 電話振替東京一七九

第四部 昭和八年豫約配本目錄

豫約配本目錄 (昭和八年度)

七二五

豫約配本目録 (昭和八年度)

哲 學 ・ 思 想

配本月	巻数	配本数	内 容	著 者
一月	一三	一	論 理 學 (下) 外五篇	金子馬治 外五氏
二月	一四	一	形而上學序論 外五篇	西田幾多郎 外五氏
三月	一五	一	宗 教 哲 學 (下) 外五篇	渡邊野村 外五氏
四月	一六	一	イデオロギーの發生 (續學) 外七篇	小倉金之助 外七氏
五月	一七	一	西洋哲學史概説 (中) 外七篇	出 隆 外七氏
六月	一八	一	西洋哲學史概説 (下) 外十三篇	出 隆 外十三氏
七月	一九	一	各 國 現 代 篇 (上巻)	山 本 光 正
八月	二〇	一	各 國 現 代 篇 (下巻)	山 本 光 正
九月	二一	一	各 國 現 代 篇 (上巻)	山 本 光 正
十月	二二	一	各 國 現 代 篇 (下巻)	山 本 光 正
十一月	二三	一	各 國 現 代 篇 (上巻)	山 本 光 正
十二月	二四	一	各 國 現 代 篇 (下巻)	山 本 光 正

◇ 哲 學 (岩波書店)

◇ ユーベルエーク大哲學史 (學藝社)

◇ 世界大思想全集 (春秋社)

◇ 世界大思想全集 (三期) (春秋社)
 一八 三 獨逸社會民主黨史 (三) 高村 洋一 著

◇ 大日本思想全集 (先進社)
 二五 藤田 東湖集 外四篇 大日本思想全集編輯部

◇ 大日本思想全集 (大日本思想全集)
 二六 藤田 東湖集 外四篇 大日本思想全集編輯部

一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月
一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四
二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一
大日本思想全集編輯部	大日本思想全集編輯部	大日本思想全集編輯部	大日本思想全集編輯部	大日本思想全集編輯部	大日本思想全集編輯部	大日本思想全集編輯部	大日本思想全集編輯部	大日本思想全集編輯部	大日本思想全集編輯部

◇ 日本精神講座 (新潮社)
 一 武士道の神髓 外九篇 平泉澄 外九氏
 二 武蔵 (外部に現はれたる) 外二篇 徳富健一郎 外十三氏

◇ 平田篤胤全集 (内外書社)

◇ 續福澤全集 (岩波書店)

二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一
古	古	古	古	道	道	道	道	道	道	道
史 (三)	史 (三)	史 (三)	史 (三)	史 (三)	史 (三)	史 (三)	史 (三)	史 (三)	史 (三)	史 (三)
大日本思想全集編輯部	大日本思想全集編輯部	大日本思想全集編輯部	大日本思想全集編輯部	大日本思想全集編輯部	大日本思想全集編輯部	大日本思想全集編輯部	大日本思想全集編輯部	大日本思想全集編輯部	大日本思想全集編輯部	大日本思想全集編輯部

宗 教

◇内村鑑三全集(岩波書店)

一月	二〇	教義研究(上)	内村鑑三	三
二月	二〇	教義研究(下)	内村鑑三	三
三月	三三	新約研究(上)	内村鑑三	三
四月	三三	新約研究(下)	内村鑑三	三
五月	〇六	英約研究(上)	内村鑑三	三
六月	〇六	英約研究(下)	内村鑑三	三
七月	二二	講義	内村鑑三	三
八月	二二	初稿	内村鑑三	三
九月	一九	雜著	内村鑑三	三
十月	二〇	英書	内村鑑三	三
十一月	二〇	書翰	内村鑑三	三
十二月	二〇	文翰	内村鑑三	三

◇植村全集(婦人之友社)

二月	一五	教會	植村正久	久
五月	七	說教	植村正久	久

◇日本宗教講座(東方書院)

十二月	一	一神	河野省三	六
-----	---	----	------	---

◇神宮遷宮記(六合館)

八月	附録	遷宮之圖	神宮司	編
七月	附録	遷宮之圖	神宮司	編
七月	附録	遷宮之圖	神宮司	編
七月	附録	遷宮之圖	神宮司	編
七月	附録	遷宮之圖	神宮司	編

◇壺月全集(大東出版社)

六月	上	渡邊海旭遺文集	壺月全集刊行會編	編
六月	下	渡邊海旭遺文集	壺月全集刊行會編	編

◇佛教大學講座(佛教年鑑社)

十二月	一	日本佛教史(外七篇)	坂野青洋	八
十二月	二	支那佛教史(外十篇)	常盤大定	十

◇佛教文化大講座(大鳳閣)

十二月	一	思想	壺月信成	十一
-----	---	----	------	----

◇佛教思想大系(大東出版社)

十二月	一	思想	壺月信成	十一
-----	---	----	------	----

◇國譯一切經(大東出版社)

一月	律部一九	根本說一切有部毘奈耶(一)	西本	編
二月	律部二四	阿毘達磨大毗婆沙論(八)	木村春實	編
三月	律部二八	攝大論(三論)	釋	編
三月	律部三三	解深密經・佛遺教經・四十二經	釋	編
四月	論部七	解深密經・諸法無行經・持世經	釋	編
五月	論部七	阿毘達磨順正理論(一)	千	編
六月	阿含七	阿毘達磨順正理論(二)	赤沼	編
七月	阿含七	阿毘達磨順正理論(三)	石川	編
八月	律部一八	善見律毘婆沙	長井	編
九月	律部二九	攝大論	釋	編
十月	律部二八	阿毘達磨大毗婆沙論(七)	木村春實	編
十一月	律部二八	阿毘達磨大毗婆沙論(六)	赤沼	編
十二月	律部二八	阿毘達磨大毗婆沙論(五)	赤沼	編
十二月	律部二八	根本說一切有部毘奈耶藥事	西本	編

◇二國譯一切經(三冊)(大東出版社)

一月	律部一九	根本說一切有部毘奈耶(一)	西本	編
二月	律部二四	阿毘達磨大毗婆沙論(八)	木村春實	編
三月	律部二八	攝大論(三論)	釋	編

◇淨土宗教學大系(淨土宗會典)

二月	一五	法義	淨土宗刊行會編	編
三月	一四	宗義	淨土宗刊行會編	編
六月	一六	法義	淨土宗刊行會編	編

◇大藏經講座(東方書院)

一月	二〇	碧巖集講義(下)	今津	編
二月	一〇	俱舍論講義	舟橋	編
三月	一五	涅槃經講義	大野	編
四月	一三	天台四教儀講義	大野	編
五月	二七	正信偈講義・歡喜鈔講義	梅原	編
六月	二二	唯識論講義(上)	梅原	編
七月	四	華嚴經講義	河野	編
八月	九	因果經講義	足立	編
九月	二六	大日經講義・理趣經講義	神林	編
十月	二	唯識論講義(下)	菅田	編
十一月	三	金剛經講義	菅田	編

Table with columns for months (April to December) and book titles like '四分律(四)・善見律毘婆沙' and '根本說一切有部毘奈耶(二)'. Includes author names like '守浦正文' and '林正明'.

◇二國譯一切經 (振替) (大東出版社)

Table with columns for months (January to July) and book titles like '根本說一切有部毘奈耶(一)' and '三無性論・大乘莊嚴論'. Includes author names like '西本龍山' and '伯壽'.

Table with columns for months (August to March) and book titles like '四分律(四)・善見律毘婆沙' and '根本說一切有部毘奈耶(三)'. Includes author names like '長野野井' and '西本龍山'.

◇二國譯大藏經 (東方書院)

Table with columns for months (January to February) and book titles like '大乘義章 第一' and '四分律 第二'. Includes author names like '國譯大藏經編輯部'.

◇大正新修大藏經 (大正一切經)

Table with columns for months (February to August) and book titles like '唐本曼茶羅外十二篇' and '八大菩薩像 外六十二篇'. Includes author names like '和泉得成'.

◇大正新修大藏經圖像 (大正一切經)

Table with columns for months (February to July) and book titles like '自願像第七卷(四) 至願像第七卷(五)' and '秘藏記(二卷) 外四十七篇'. Includes author names like '和泉得成'.

◇佛書解說大辭典 (大東出版社)

Table with columns for months (February to August) and book titles like '佛書解說大辭典' and '佛書解說大辭典'. Includes author names like '小野玄'.

◇大正新修大藏經 (大正一切經)

Table with columns for months (January to December) and book titles like '大經集' and '經疏'. Includes author names like '高橋順次郎'.

豫約配本目錄 (昭和八年度)

◇國譯秘密儀軌 (刊行珍籍)

一月	一	三	五	七	九	十一月
二月	二	四	六	八	十	十二月
三月	三	五	七	九	十一月	
四月	四	六	八	十	十二月	
五月	五	七	九	十一月		
六月	六	八	十	十二月		
七月	七	九	十一月			
八月	八	十	十二月			
九月	九	十一月				
十月	十	十二月				

◇國譯聖教大系 (刊行珍籍)

一月	一	三	五	七	九	十一月
二月	二	四	六	八	十	十二月
三月	三	五	七	九	十一月	
四月	四	六	八	十	十二月	
五月	五	七	九	十一月		
六月	六	八	十	十二月		
七月	七	九	十一月			
八月	八	十	十二月			
九月	九	十一月				
十月	十	十二月				

◇圖像大集成 (刊行珍籍)

一月	一	三	五	七	九	十一月
二月	二	四	六	八	十	十二月
三月	三	五	七	九	十一月	
四月	四	六	八	十	十二月	
五月	五	七	九	十一月		
六月	六	八	十	十二月		
七月	七	九	十一月			
八月	八	十	十二月			
九月	九	十一月				
十月	十	十二月				

◇實演說教講演全集 (佛敎年鑑社)

一月	一	三	五	七	九	十一月
二月	二	四	六	八	十	十二月
三月	三	五	七	九	十一月	
四月	四	六	八	十	十二月	
五月	五	七	九	十一月		
六月	六	八	十	十二月		
七月	七	九	十一月			
八月	八	十	十二月			
九月	九	十一月				
十月	十	十二月				

教育

◇教育科學 (岩波書店)

一月	一	三	五	七	九	十一月
二月	二	四	六	八	十	十二月
三月	三	五	七	九	十一月	
四月	四	六	八	十	十二月	
五月	五	七	九	十一月		
六月	六	八	十	十二月		
七月	七	九	十一月			
八月	八	十	十二月			
九月	九	十一月				
十月	十	十二月				

◇師範大學講座 (建文館)

一月	一	三	五	七	九	十一月
二月	二	四	六	八	十	十二月
三月	三	五	七	九	十一月	
四月	四	六	八	十	十二月	
五月	五	七	九	十一月		
六月	六	八	十	十二月		
七月	七	九	十一月			
八月	八	十	十二月			
九月	九	十一月				
十月	十	十二月				

◇佛敎信仰實話全集 (大東出版社)

一月	一	三	五	七	九	十一月
二月	二	四	六	八	十	十二月
三月	三	五	七	九	十一月	
四月	四	六	八	十	十二月	
五月	五	七	九	十一月		
六月	六	八	十	十二月		
七月	七	九	十一月			
八月	八	十	十二月			
九月	九	十一月				
十月	十	十二月				

◇布敎百科大辭典 (東方書院)

一月	一	三	五	七	九	十一月
二月	二	四	六	八	十	十二月
三月	三	五	七	九	十一月	
四月	四	六	八	十	十二月	
五月	五	七	九	十一月		
六月	六	八	十	十二月		
七月	七	九	十一月			
八月	八	十	十二月			
九月	九	十一月				
十月	十	十二月				

◇佛敎信仰實話全集 (大東出版社)

一月	一	三	五	七	九	十一月
二月	二	四	六	八	十	十二月
三月	三	五	七	九	十一月	
四月	四	六	八	十	十二月	
五月	五	七	九	十一月		
六月	六	八	十	十二月		
七月	七	九	十一月			
八月	八	十	十二月			
九月	九	十一月				
十月	十	十二月				

一月	一	三	五	七	九	十一月
二月	二	四	六	八	十	十二月
三月	三	五	七	九	十一月	
四月	四	六	八	十	十二月	
五月	五	七	九	十一月		
六月	六	八	十	十二月		
七月	七	九	十一月			
八月	八	十	十二月			
九月	九	十一月				
十月	十	十二月				

教育

◇教育科學 (岩波書店)

一月	一	三	五	七	九	十一月
二月	二	四	六	八	十	十二月
三月	三	五	七	九	十一月	
四月	四	六	八	十	十二月	
五月	五	七	九	十一月		
六月	六	八	十	十二月		
七月	七	九	十一月			
八月	八	十	十二月			
九月	九	十一月				
十月	十	十二月				

◇師範大學講座 (建文館)

一月	一	三	五	七	九	十一月
二月	二	四	六	八	十	十二月
三月	三	五	七	九	十一月	
四月	四	六	八	十	十二月	
五月	五	七	九	十一月		
六月	六	八	十	十二月		
七月	七	九	十一月			
八月	八	十	十二月			
九月	九	十一月				
十月	十	十二月				

八月	五	東洋倫理學史外六篇	萩原 豐 外五氏
九月	六	西洋倫理學史外五篇	小野正樹 外五氏
十月	七	倫理學概論外五篇	萩原 豐 外五氏
十一月	八	國民道徳外六篇	眞理堂三郎 外六氏
十二月	九	西洋倫理學史外五篇	小野正樹 外四氏

◇大日本小學教科書總覽 (厚生閣)

二月	七	本 篇(七)	小教編纂所編
三月	八	本 篇(八)	小教編纂所編

文學・語學講座

十月	六	上卷(公安外一篇)下卷(國防外一篇)	公民教育研究會編
十一月	七	上卷(市町村の自治外三篇)下卷(歐入と輸出外三篇)	公民教育研究會編
十二月	八	上卷(府縣外一篇)下卷(我が國の産業)	公民教育研究會編
一月	六	六 舞蹈創作の研究(二) 外五篇	印牧パロイ研究會編

◇學校遊戲講座 (京文社)

一月	六	六 舞蹈創作の研究(二) 外五篇	印牧パロイ研究會編
----	---	------------------	-----------

◇世界文學 (岩波書店)

一月	三	ヘッセル 外九篇	佐藤通次 外十一氏
二月	四	メレティス 外十篇	大和實雄 外十氏
三月	五	敘事詩及び叙事文學外九篇	工藤好美 外九氏
四月	六	國語と文學(伊)外八篇	葉田三吾 外八氏
五月	七	國語と文學(葡)外十篇	奥津源重 外十氏
六月	八	浪曼主義 外六篇	小牧登夫 外七氏

◇世界文學講座 (新潮社)

八月	九	近代作家論(ホヰットマン外一篇)	長沼重隆 外八氏
九月	二	文學史概説古代外五篇	與 茂 一 外九氏
十月	三	國語と文學(意)外五篇	八杉貞利 外九氏
十一月	四	文學形態論 外三篇	土居光知 外六氏

◇新文藝思想講座 (文藝春秋社)

九月	一	最近社會思潮論 外二十二篇	榎山政道 外二十三氏
十月	二	最近社會思潮論 外二十三篇	榎山政道 外二十三氏
十一月	三	文學一般論 外十八篇	森田草平 外十八氏
十二月	四	連載小説論 外十九篇	菊池寛 外十九氏

◇英語英文學講座 (新英米文學社)

五月	一	現代英語のシンタクス外六篇	山本忠雄 外五氏
六月	二	英語教育論 外九篇	小日向定次郎 外九氏
七月	三	英語修辭法 外八篇	石黒尊平 外八氏
八月	四	前置詞の研究 外八篇	小林光 外八氏
九月	五	前置詞の概論 外七篇	小林淳男 外七氏
十月	六	形容詞・冠詞の研究 外七篇	鈴木重成 外八氏
十一月	七	慣用語の研究 外七篇	堀英四郎 外七氏
十二月	八	英語音聲學 外七篇	張弘正雄 外七氏

◇英語講座 (外語學院)

十月	一	一 英文解釋 外四篇	藤田榮一 外四氏
十一月	二	二 英文解釋 外四篇	藤田榮一 外四氏

◇英米近代文學叢書 (春陽堂)

十月	二	二 英文解釋 外四篇	藤田榮一 外四氏
十一月	一	一 英文解釋 外四篇	藤田榮一 外四氏

◇綜合童話大講座 (日本童話協會)

三月	一	一 童話と兒童の本能 外十三篇	藤谷重常 外十三氏
四月	二	二 民譚の蒐集 外十二篇	佐々木真壽 外十五氏
五月	三	三 世界童話史 外十四篇	藤谷重常 外十二氏
六月	四	四 國定教科書と童話 外十五篇	藤谷小波 外十三氏
七月	五	五 日本童話史(中)	藤 源 齋
八月	六	六 聽かせる童話の組立 外十三篇	安倍幸雄 外七氏
九月	七	七 光榮のお伽噺の準備 外十三篇	岸邊國雄 外八氏

◇英米文學評傳叢書 (研究社)

三月	一	一 童話と兒童の本能 外十三篇	藤谷重常 外十三氏
四月	二	二 民譚の蒐集 外十二篇	佐々木真壽 外十五氏
五月	三	三 世界童話史 外十四篇	藤谷重常 外十二氏
六月	四	四 國定教科書と童話 外十五篇	藤谷小波 外十三氏
七月	五	五 日本童話史(中)	藤 源 齋
八月	六	六 聽かせる童話の組立 外十三篇	安倍幸雄 外七氏
九月	七	七 光榮のお伽噺の準備 外十三篇	岸邊國雄 外八氏

二月	三	現代アメリカ短編集	杉木 重雄註
三月	六	奇蹟をかした男其他	黒岩 正 會註
四月	三	めでたしめでたし其他	安藤 七之介註
五月	三	マンスフイールド選集	萩原 恭 平註
二月	三〇	版二 英米近代文學叢書 (春陽堂)	
三月	七	九 アカシアの路 其他	花岡 健定 譯註
四月	二	〇 夜の宿り 其他	酒井 新彦 譯註
五月	三	二 蜘蛛の巣の家の家	葛田フシシゲ 著
六月	五	三 妻ゆゑに 其他	宮島新三郎 譯註
七月	六	四 カアテイナール隨筆集	山宮 本田 供平 譯註
二月	三	版二 新ドイツ語講座(實) (研通社語)	
三月	一	版七 新ドイツ語講座 (研通社語)	
三月	一	版二 新佛蘭西語講座 (歐亞社)	
二月	三	三 獨逸文法外三篇	早川文哉外三氏
三月	一	一 文字と發音外四篇	小柳篤二外三氏
二月	一	版二 最新フランス語講座 (外語學院)	
三月	六	六 譯讀講座外二篇	青志忠直外四氏
四月	一	一 發音講座外四篇	豊島 猛・青志忠直
五月	二	二 文法講座外五篇	増田 俊雄外二氏
六月	三	三 文法講座(初級三)外三篇	増田 俊雄・大森 三
七月	四	四 文法講座外四篇	豊島 猛 外四氏
八月	五	五 文法講座外四篇	豊島 猛 外六氏
九月	六	六 譯讀講座外二篇	青志忠直外四氏
二月	一	版二 最新ロシヤ語講座 (橋書店)	
三月	四	四 文法講座外四篇	八杉 貞利・藤村 吉太郎・佐藤 勇
七月	五	五 文法講座外四篇	八杉 貞利外二氏
七月	六	六 文法講座外四篇	八杉 貞利外二氏
二月	二	版二 短期支那語講座 (外語學院)	
三月	一	一 萬國發音符號と佛蘭西語の發音外四篇	新佛蘭西協會

日本文學・國漢文講座

六月	三	三 小説戲曲外二篇	宮島新三郎外二氏
五月	四	四 書簡文	藤村 吉太郎外三氏
四月	五	五 時文	藤村 吉太郎外三氏
三月	一	一 作研究者	折口信夫外十八氏
四月	二	二 研究方	武田 嘉吉外廿氏
五月	三	三 言語研究	上田 萬年外十氏
六月	四	四 萬葉集の國文學史上の地位外十五篇	藤村 吉太郎外十五氏
七月	五	五 編纂研究	藤村 吉太郎外十五氏
八月	六	六 萬葉集美論	藤村 吉太郎外十五氏
九月	一	一 小野於通外百九十八家	鈴木 行 三
一月	一	版二 近世作家大觀 (中文館)	
一月	一	版二 江戸文學講座 (文獻書院)	
三月	八	八 近世和歌史外五篇	鹿野 明次外四氏
三月	一	版二 明治文學講座 (隆章閣)	
一月	一	一 概論總說	折口信夫外十五氏
二月	二	二 大衆文學	直木三十五 外十四氏
三月	三	三 演劇戲曲集	折口信夫 外二十七氏
十月	一	版二 上代日本文學講座 (春陽堂)	
十月	四	四 作品研究	武田 嘉吉外十三氏
十一月	二	二 特殊研究	徳田 浮外十二氏
十二月	三	三 萬葉集講座 (春陽堂)	

三月 四 三 明治文學の特殊的研究 (下) 唐木順三 外十三氏

◇國語國文學講座 (雄山閣)

十月 一 枕草子 (前篇) 外二篇 島野幸次 外二氏
十一月 二 有職故實・國文法 (上) 石村貞吉・島野幸次
十二月 三 徒然草・詠曲 佐野保太郎 佐藤慶太郎

◇國語科學講座 (明治書院)

五月 一 音聲學概説 外六篇 中山 壽 昌
七月 二 音聲學史 外四篇 小林厚男 外四氏
八月 三 音聲學概説 外四篇 神保結外 四氏
十月 四 音聲學史 外六篇 石黒尊平 外六氏
十一月 五 音聲學社會學 外五篇 田邊壽利 外五氏

◇漢文學講座 (共立社)

五月 一 支那文學史 (一) 外四篇 内田魯之助 外四氏
七月 二 支那文學史 (二) 外五篇 本多龜藏 外五氏
九月 三 儒教倫理 (一) 外四篇 高田眞治 外四氏
十月 四 支那文學史 (三) 外三篇 内田魯之助 外三氏
十一月 五 儒教倫理 (二) 外四篇 高田眞治 外四氏

◇漢文講座 (弘道館)

五月 一 孝經 (一) 外十篇 豐谷 温 外十氏
六月 二 孝經 (二) 外九篇 豐谷 温 外八氏
七月 三 孝經 (三) 外十一篇 宇野哲人 外十氏
八月 四 孝經 (四) 外九篇 豐谷 温 外九氏
九月 五 孝經 (五) 外九篇 宇野哲人 外八氏
十月 六 孝經 (六) 外八篇 宇野哲人 外八氏
十一月 七 孝經 (七) 外八篇 宇野哲人 外八氏

◇俳句講座 (改造社)

二月 一 史的 研究 藤井乙男 外八氏
三月 二 俳人的 評傳 藤村佐外 十三氏
七月 三 地方 俳史 篇 寶川他石 外十五氏

◇俳諧歲時記 (改造社)

七月 一 夏之部 前田淳子 外六氏

古典・國籍・漢籍

◇日本古典全集 (三期)中製版 (日本古典全集)

六月 一 七日 木 紀 (調書) 下卷 (第五) 正宗 敦夫 編

◇日本古典全集 (三期)普及版 (日本古典全集)

五月 二 五日 木 紀 (調書) 下卷 (第五) 正宗 敦夫 編

◇日本古典全集 (四期) (日本古典全集)

二月 一 今昔物語集 (下) 正宗 敦夫 編
四月 二 體源鈔 (自一本至三本末) 正宗 敦夫 編
五月 三 體源鈔 (三) 正宗 敦夫 編
七月 四 體源鈔 (三) 正宗 敦夫 編
九月 五 江家次第自四卷至五卷 正宗 敦夫 編
十月 六 歌謠集 (中) 正宗 敦夫 編

◇日本古典全集 (基本版) (日本古典全集)

十一月 一 日本文書紀 (續) 正宗 敦夫 編
十二月 二 日本文書紀 (上) 正宗 敦夫 編
一月 三 日本文書紀 (中) 正宗 敦夫 編

◇西鶴全集 (日本古典全集)

三月 一 好色五人女 好色一代女 正宗 敦夫 編

◇校註日本文學大系 (誠文堂)

一月 一 落窪物語 外三篇 中山 壽 昌 編
一月 二 三日月のゆくへ 外三篇 中山 壽 昌 編

三月	二	三竹取物語外六篇	中山	昌
四月	三	懷風藻外四篇	中山	昌
五月	八	大平記下卷・野記	中山	昌
五月	三	拾遺・神皇正統記	中山	昌
五月	一	國文學研究資料外四篇	中山	昌
七月	一	古事記外四篇	中山	昌

校註日本文學大系 (誠文堂)

一月	三	三論	中山	昌
三月	二	水鏡・大鏡・今鏡・增鏡	中山	昌
四月	三	源氏物語(下)	中山	昌
五月	七	源氏物語(下)	中山	昌
七月	四	七字都保物語	中山	昌
八月	三	八本朝文粹	中山	昌
九月	五	九落窪物語外三篇	中山	昌
十月	二	十月のゆくへ外三篇	中山	昌
十一月	二	二竹取物語外六篇	中山	昌
十二月	三	三懷風藻外四篇	中山	昌

近代日本文學大系 (誠文堂)

一月	一	文	中山	昌
二月	二	俳文	中山	昌
三月	三	集	中山	昌
四月	四	文	中山	昌
五月	五	集	中山	昌
六月	六	文	中山	昌
七月	七	集	中山	昌
八月	八	文	中山	昌
九月	九	集	中山	昌
十月	一〇	文	中山	昌
十一月	一一	集	中山	昌
十二月	一二	文	中山	昌

三月	一	近松門左衛門集(上巻)	中山	昌
四月	二	曲亭馬琴集(上巻)	中山	昌
五月	三	爲永春水集	佐久間	外六氏
五月	四	八文宇屋集	中山	昌
七月	七	古淨瑠璃・舞の本集	中山	昌
八月	二	近松門左衛門(下巻)	中山	昌
九月	六	返舎一	中山	昌
十月	九	十返舎一	中山	昌
十一月	二〇	曲亭馬琴集(下巻)	中山	昌
十二月	二二	式亭三馬集	中山	昌

近世名著標本集 (米山堂)

五月	一	一脩の外六種	山田	清
五月	二	鹿の巻筆外六種	米山	堂
五月	三	御入部伽羅女外六種	米山	堂
六月	四	松の葉外五種	米山	堂
六月	五	伽婢子外五種	米山	堂
七月	六	東海道名所記外六種	米山	堂
八月	七	新吉原常々草外五種	米山	堂
八月	八	好色一代男(上方版)外四種	米山	堂
九月	九	竹筒外六種	米山	堂

未刊珍本集成 (文新書)

八月	一	一桃源集外四篇	藤武雄	今岡貞雄
九月	二	二元祿太平記外三篇	藤武雄	今岡貞雄
十月	三	三朱雀遠目録外三篇	藤武雄	今岡貞雄

校註國歌大系 (誠文堂)

七月	一	一八代集(上)	中山	昌
七月	二	二八代集(上)	中山	昌
七月	三	三九代集(上)	中山	昌
七月	四	四一〇代集(上)	中山	昌
七月	五	五一〇代集(上)	中山	昌
七月	六	六一〇代集(上)	中山	昌
七月	七	七一〇代集(上)	中山	昌
七月	八	八二〇代集(上)	中山	昌
七月	九	九三〇代集(上)	中山	昌
七月	一〇	一〇四〇代集(上)	中山	昌
七月	一一	一一五〇代集(上)	中山	昌
七月	一二	一二六〇代集(上)	中山	昌
七月	一三	一三七〇代集(上)	中山	昌
七月	一四	一四八〇代集(上)	中山	昌
七月	一五	一五九〇代集(上)	中山	昌
七月	一六	一七〇〇代集(上)	中山	昌
七月	一七	一八〇〇代集(上)	中山	昌
七月	一八	一九〇〇代集(上)	中山	昌
七月	一九	二〇〇〇代集(上)	中山	昌
七月	二〇	二一〇〇代集(上)	中山	昌

西本願寺本萬葉集 (竹柏會)

四月	一	一第一・第二・第三	武佐	田木	信吉
四月	二	二第四・第五・第六	武佐	田木	信吉
七月	三	三第七・第八・第九	武佐	田木	信吉
七月	四	四自卷第十至卷第十二	武佐	田木	信吉
八月	五	五自卷第十三至卷第十六	武佐	田木	信吉
八月	六	六自卷第十七至卷第二十	武佐	田木	信吉

萬葉集古義 (國書刊行會)

二月	一	一自一卷之上至二卷之中	國書刊行會
----	---	-------------	-------

續日本儒林叢書 (東洋圖書)

四月	一	一總論	國書刊行會
五月	二	二自二卷之下至四卷之下	國書刊行會
六月	三	三自五卷之上至八卷之上	國書刊行會
七月	四	四自八卷之下至十卷之下	國書刊行會
七月	五	五自十一卷之上至十三卷之下	國書刊行會
八月	六	六自十四卷之上至十七卷之下	國書刊行會
九月	七	七自十八卷之上至二十卷之下	國書刊行會
十月	八	八自十八卷之上至二十卷之下	國書刊行會
十一月	九	九枕詞解名人所考	國書刊行會
十二月	一〇	一〇枕詞解名人所考	國書刊行會

故實叢書 (吉川弘文館)

四月	一	一引	故實叢書編輯部
----	---	----	---------

古事類苑 (吉事類會)

一月	一	一姓	神宮司
二月	二	二樂	神宮司
三月	三	三宗	神宮司

四月	一	部	神	司	編輯
五月	二	部	王	司	編輯
六月	三	部	天	司	編輯
七月	四	部	法	司	編輯
八月	五	部	神	司	編輯
九月	六	部	文	司	編輯
十月	七	部	外	司	編輯
十一月	八	部	政	司	編輯
十二月	九	部	封	司	編輯

◇群書類從 (續群書類從)

五月	二五	部	雜	司	編輯
六月	二六	部	帝	司	編輯
七月	二七	部	管	司	編輯
八月	二八	部	枝	司	編輯
九月	二九	部	管	司	編輯
十月	三〇	部	管	司	編輯
十一月	三一	部	管	司	編輯
十二月	三二	部	管	司	編輯

◇御湯殿上の日記 (續群書類從)

三月	二	部	御湯殿上の日記	司	編輯
四月	三	部	御湯殿上の日記	司	編輯
五月	四	部	御湯殿上の日記	司	編輯
六月	五	部	御湯殿上の日記	司	編輯
七月	六	部	御湯殿上の日記	司	編輯
八月	七	部	御湯殿上の日記	司	編輯
九月	八	部	御湯殿上の日記	司	編輯
十月	九	部	御湯殿上の日記	司	編輯

◇續群書類從 (甲) (續群書類從)

十一月	一	部	裝	司	編輯
十二月	二	部	東	司	編輯
一月	三	部	部	司	編輯
二月	四	部	公	司	編輯
三月	五	部	事	司	編輯
四月	六	部	日	司	編輯
五月	七	部	記	司	編輯
六月	八	部	部	司	編輯
七月	九	部	部	司	編輯
八月	一〇	部	部	司	編輯
九月	一一	部	部	司	編輯
十月	一二	部	部	司	編輯
十一月	一三	部	部	司	編輯
十二月	一四	部	部	司	編輯
一月	一五	部	部	司	編輯
二月	一六	部	部	司	編輯
三月	一七	部	部	司	編輯
四月	一八	部	部	司	編輯
五月	一九	部	部	司	編輯
六月	二〇	部	部	司	編輯
七月	二一	部	部	司	編輯
八月	二二	部	部	司	編輯
九月	二三	部	部	司	編輯
十月	二四	部	部	司	編輯
十一月	二五	部	部	司	編輯
十二月	二六	部	部	司	編輯

◇實隆公記 (太平洋社)

五月	補遺	部	正	司	編輯
六月	補遺	部	看	司	編輯
七月	補遺	部	神	司	編輯
八月	補遺	部	看	司	編輯
九月	補遺	部	神	司	編輯
十月	補遺	部	神	司	編輯
十一月	補遺	部	雜	司	編輯
十二月	補遺	部	釋	司	編輯
一月	補遺	部	釋	司	編輯
二月	補遺	部	家	司	編輯
三月	補遺	部	家	司	編輯
四月	補遺	部	家	司	編輯
五月	補遺	部	家	司	編輯
六月	補遺	部	家	司	編輯
七月	補遺	部	家	司	編輯
八月	補遺	部	家	司	編輯
九月	補遺	部	家	司	編輯
十月	補遺	部	家	司	編輯
十一月	補遺	部	家	司	編輯
十二月	補遺	部	家	司	編輯

◇字 籠 (續群書類從)

三月	一	部	ア	司	編輯
四月	二	部	部	司	編輯
五月	三	部	部	司	編輯
六月	四	部	部	司	編輯
七月	五	部	部	司	編輯
八月	六	部	部	司	編輯
九月	七	部	部	司	編輯
十月	八	部	部	司	編輯
十一月	九	部	部	司	編輯
十二月	一〇	部	部	司	編輯

◇漢籍國字解全書 (正篇) (早稻田大學)

一月	九	部	老	司	編輯
二月	一〇	部	子	司	編輯
三月	一一	部	子	司	編輯
四月	一二	部	孫	司	編輯
五月	一三	部	思	司	編輯
六月	一四	部	錄	司	編輯
七月	一五	部	用	司	編輯
八月	一六	部	字	司	編輯
九月	一七	部	格	司	編輯
十月	一八	部	通	司	編輯
十一月	一九	部	子	司	編輯
十二月	二〇	部	子	司	編輯

◇漢籍國字解全書 (後篇) (早稻田大學)

一月	二一	部	論	司	編輯
二月	二二	部	傳	司	編輯
三月	二三	部	語	司	編輯
四月	二四	部	語	司	編輯
五月	二五	部	習	司	編輯
六月	二六	部	證	司	編輯
七月	二七	部	氏	司	編輯
八月	二八	部	氏	司	編輯
九月	二九	部	傳	司	編輯
十月	三〇	部	傳	司	編輯
十一月	三一	部	傳	司	編輯
十二月	三二	部	傳	司	編輯

◇字 鏡 集 (續群書類從)

一月	二	部	地	司	編輯
二月	三	部	儀	司	編輯
三月	四	部	部	司	編輯
四月	五	部	植	司	編輯
五月	六	部	物	司	編輯
六月	七	部	部	司	編輯
七月	八	部	動	司	編輯
八月	九	部	物	司	編輯
九月	一〇	部	部	司	編輯
十月	一一	部	部	司	編輯
十一月	一二	部	部	司	編輯
十二月	一三	部	部	司	編輯

◇國譯本草綱目 (春陽堂)

二月	八	部	菜	司	編輯
三月	九	部	拾	司	編輯
四月	一〇	部	果	司	編輯
五月	一一	部	木	司	編輯
六月	一二	部	木	司	編輯
七月	一三	部	木	司	編輯
八月	一四	部	木	司	編輯
九月	一五	部	木	司	編輯
十月	一六	部	木	司	編輯
十一月	一七	部	木	司	編輯
十二月	一八	部	木	司	編輯

◇國譯本草綱目 (春陽堂)

二月	三	部	水	司	編輯
三月	四	部	火	司	編輯
四月	五	部	土	司	編輯
五月	六	部	金	司	編輯
六月	七	部	石	司	編輯
七月	八	部	部	司	編輯
八月	九	部	部	司	編輯
九月	一〇	部	部	司	編輯
十月	一一	部	部	司	編輯
十一月	一二	部	部	司	編輯
十二月	一三	部	部	司	編輯

二月	二七	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七
三月	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六
四月	三七	三八	三九	四〇	四一	四二	四三	四四	四五
五月	四六	四七	四八	四九	五〇	五一	五二	五三	五四
六月	五五	五六	五七	五八	五九	六〇	六一	六二	六三
七月	六四	六五	六六	六七	六八	六九	七〇	七一	七二

◇東方古典叢刊(竹村書房)

十月	六一	一論	語	五十	澤	二	郎
----	----	----	---	----	---	---	---

文藝作品集全集

一月	三三	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三
二月	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四
三月	一三	一二	一一	一〇	〇九	〇八	〇七	〇六	〇五
四月	〇四	〇三	〇二	〇一	〇〇	九九	九八	九七	九六
五月	九五	九四	九三	九二	九一	九〇	八九	八八	八七
六月	八六	八五	八四	八三	八二	八一	八〇	七九	七八
七月	七七	七六	七五	七四	七三	七二	七一	七〇	六九

◇日本文學大全集(改造社)

一月	一一	一〇	〇九	〇八	〇七	〇六	〇五	〇四	〇三
二月	〇二	〇一	〇〇	九九	九八	九七	九六	九五	九四
三月	九三	九二	九一	九〇	八九	八八	八七	八六	八五
四月	八四	八三	八二	八一	八〇	七九	七八	七七	七六
五月	七五	七四	七三	七二	七一	七〇	六九	六八	六七
六月	六六	六五	六四	六三	六二	六一	六〇	五九	五八
七月	五七	五六	五五	五四	五三	五二	五一	五〇	四九

◇與謝野晶子全集(改造社)

一月	一一	一〇	〇九	〇八	〇七	〇六	〇五	〇四	〇三
二月	〇二	〇一	〇〇	九九	九八	九七	九六	九五	九四
三月	九三	九二	九一	九〇	八九	八八	八七	八六	八五
四月	八四	八三	八二	八一	八〇	七九	七八	七七	七六
五月	七五	七四	七三	七二	七一	七〇	六九	六八	六七
六月	六六	六五	六四	六三	六二	六一	六〇	五九	五八
七月	五七	五六	五五	五四	五三	五二	五一	五〇	四九

◇白秋全集(アレス)

三月	八	一七	二六	三五	四四	五三	六二	七一	八〇
四月	八	一七	二六	三五	四四	五三	六二	七一	八〇

◇如是閑文藝全集(學藝社)

六月	一	二	三	四	五	六	七	八	九
七月	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八
八月	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七
九月	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六
十月	三七	三八	三九	四〇	四一	四二	四三	四四	四五
十一月	四六	四七	四八	四九	五〇	五一	五二	五三	五四
十二月	五五	五六	五七	五八	五九	六〇	六一	六二	六三

◇直木三十五全集(改造社)

一月	一	二	三	四	五	六	七	八	九
二月	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八
三月	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七
四月	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六
五月	三七	三八	三九	四〇	四一	四二	四三	四四	四五
六月	四六	四七	四八	四九	五〇	五一	五二	五三	五四
七月	五五	五六	五七	五八	五九	六〇	六一	六二	六三
八月	六四	六五	六六	六七	六八	六九	七〇	七一	七二
九月	七三	七四	七五	七六	七七	七八	七九	八〇	八一
十月	八二	八三	八四	八五	八六	八七	八八	八九	九〇
十一月	九一	九二	九三	九四	九五	九六	九七	九八	九九
十二月	一〇〇	一〇一	一〇二	一〇三	一〇四	一〇五	一〇六	一〇七	一〇八

◇吉川英治全集(平凡社)

一月	一	二	三	四	五	六	七	八	九
二月	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八
三月	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七
四月	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六
五月	三七	三八	三九	四〇	四一	四二	四三	四四	四五
六月	四六	四七	四八	四九	五〇	五一	五二	五三	五四
七月	五五	五六	五七	五八	五九	六〇	六一	六二	六三
八月	六四	六五	六六	六七	六八	六九	七〇	七一	七二
九月	七三	七四	七五	七六	七七	七八	七九	八〇	八一
十月	八二	八三	八四	八五	八六	八七	八八	八九	九〇
十一月	九一	九二	九三	九四	九五	九六	九七	九八	九九
十二月	一〇〇	一〇一	一〇二	一〇三	一〇四	一〇五	一〇六	一〇七	一〇八

◇一人三人全集(新潮社)

一月	一	二	三	四	五	六	七	八	九
二月	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八
三月	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七
四月	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六
五月	三七	三八	三九	四〇	四一	四二	四三	四四	四五
六月	四六	四七	四八	四九	五〇	五一	五二	五三	五四
七月	五五	五六	五七	五八	五九	六〇	六一	六二	六三
八月	六四	六五	六六	六七	六八	六九	七〇	七一	七二
九月	七三	七四	七五	七六	七七	七八	七九	八〇	八一
十月	八二	八三	八四	八五	八六	八七	八八	八九	九〇
十一月	九一	九二	九三	九四	九五	九六	九七	九八	九九
十二月	一〇〇	一〇一	一〇二	一〇三	一〇四	一〇五	一〇六	一〇七	一〇八

十月	一	新らしき天・想思樹	牧
十月	二	この太陽・愛すべく	牧

一人三人全集(豪華版)(新潮社)

十月	一	新らしき天・想思樹	牧
十月	二	この太陽・愛すべく	牧

續菊池寛全集(平凡社)

十月	一	来花・有愛華菊池	電
----	---	----------	---

新作探偵小説全集(新潮社)

一月	九	八暗黒公使	野久
三月	六	鐵鎖殺人事件	沼田
四月	四	狼	佐佐木俊郎

日本戯曲全集(歌舞伎篇)(春陽堂)

一月	四七	哭鏡舞踊劇集	津美清太郎
三月	四九	近世大狂言集	津美清太郎
四月	五〇	初期歌舞伎狂言集	津美清太郎

默阿彌全集(普及版)(春陽堂)

八月	三	傾城玉菊外五篇	河竹黙阿彌
九月	二	忍ぶの惣太外三篇	河竹黙阿彌
十月	一	鉢の木外五篇	河竹黙阿彌
十月	四	雪の對面外六篇	河竹黙阿彌
十月	五	野晒悟助外五篇	河竹黙阿彌

曾我廼家五郎全集(アルス)

三月	二	一番坂他六篇	和田久一
六月	三	雪の朝他八篇	和田久一

現代語西鶴全集(春秋社)

二月	九	西鶴置土産外二篇	佐藤春夫
----	---	----------	------

世界文學大全集(改造社)

二月	九	ドイル全集五(縮めた世界外三篇)	大佛次郎外三氏
五月	二〇	ドイル全集二(ムズロフク・ホウ)	正原史・木村
八月	六	ドイル全集(ジエラール三篇)	大佛次郎外三氏

十一月	三	ドイル全集(ムズロフク・ホウ)	正原史・木村
-----	---	-----------------	--------

シエークスピア全集(中央公論社)

九月	一	ハムレット・以尺報尺	坪内逍遙
十月	二	ロミオとジュリエット・十二夜	坪内逍遙
十一月	三	タイタス・アンドロニカス	坪内逍遙
十二月	四	シヨン王・ヘリクリーズ	坪内逍遙

ゲーテ全集(大村書店)

三月	七	親和力	益田國基
三月	二	伊多利紀行・伊多利に就いて	歌田順助
三月	一	彩色論 外二篇	石原純・島地威雄

ハイネ全集(学習社)

十月	三	ロマンツエーロー(譯詩集)	歌田順助
十一月	六	紀行(行旅断想)	高橋健二外四氏
十二月	七	三	國松孝二外四氏

ドストイェフスキ全集(三笠書房)

五月	六	ギリシヤ・ローマ集	松元竹二
七月	七	北歐集	松村武雄
八月	四	インド・バルシヤ集	高橋健夫・松村武雄
九月	八	フィンランド・セルガイナ集	松村武雄
十月	一五	アイスランド・セルガイナ集	松村武雄
十一月	一〇	アイスランド集	八住利雄
十二月	一	エジプト・アツシリア・バビロン集	中島孫兵衛

世界神話傳説大系(誠文堂)

一月	二	日英米本	佐々木邦外五氏
二月	七	支那	佐藤春夫
三月	三	露西	佐藤春夫
四月	一〇	英米	佐藤春夫
五月	四	佛蘭西	佐藤春夫
八月	六	佛蘭西	佐藤春夫

世界ユーモア全集(改造社)

十一月	八	一	古原清太郎
-----	---	---	-------

演劇

◇歌舞伎圖説 (中文館)

一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月
二	三	四	五	六	七	八
二	三	四	五	六	七	八
額見世番附外四十五圖	嵐座子供立役紋揃外四十九圖	額見世番附外四十九圖	大阪中の芝居(藍伊勢物語)外四十九圖	繪本番附(けいせい)慶會我(外六十九圖)	七せりふ盡し(外九十九圖)	八長唄正本外六十圖
守備憲治・秋葉芳美	守備憲治・秋葉芳美	守備憲治・秋葉芳美	守備憲治・秋葉芳美	守備憲治・秋葉芳美	守備憲治・秋葉芳美	守備憲治・秋葉芳美

美術・書道

◇日本畫大成 (東方書院)

一月	二月	三月	四月
三	四	五	六
三	四	五	六
明	大	大	大
治	正	正	正
篇(三)	篇(二)	篇(二)	篇(三)
飯塚	飯塚	飯塚	飯塚
米	米	米	米
雨	雨	雨	雨

◇九代目追遠劇舞臺寫眞 (大鳳閣)

八月	九月	十月	十一月
九	二〇	二	三
九	二〇	二	三
五代目團十郎の琵琶の景清外五十四圖	辻番附外八十六圖	山下萬菊の大磯の虎外四十九圖	大錦繪外五十二圖
守備憲治・秋葉芳美	守備憲治・秋葉芳美	守備憲治・秋葉芳美	守備憲治・秋葉芳美

◇日本彫刻大鑑 (東方書院)

一月	二月	三月	五月
七	二	五	二
七	二	五	二
鎌倉	奈良	平安	現代
倉	良	安	現
時	時	時	時
代(上)	代(上)	代(中)	代(下)
黒田	黒田	黒田	黒田
心	心	心	心

◇三日本國寶全集 (刊行會)

七月	九月	十一月
五	六	七
五	六	七
十一	十一	十一
一面觀音像外十九圖	藥師如來像外十七圖	藥師如來像外十五圖
守備憲治・秋葉芳美	守備憲治・秋葉芳美	守備憲治・秋葉芳美

◇日本國寶全集 (刊行會)

一月	四月	七月	九月	十一月
三	四	五	六	七
三	四	五	六	七
觀世音菩薩像外十五圖	十大弟子像外十六圖	十一面觀音像外十九圖	藥師如來像外十七圖	藥師如來像外十五圖
守備憲治・秋葉芳美	守備憲治・秋葉芳美	守備憲治・秋葉芳美	守備憲治・秋葉芳美	守備憲治・秋葉芳美

◇國寶美術集大成 (大鳳閣)

一月	二月	三月	五月
二	五	九	三
二	五	九	三
支	鎌	桃	平
那・朝	倉	山	安
鮮(上)	代(中)	代(下)	代(下)
吉浦乾堂・秋山大編	吉浦乾堂・秋山大編	吉浦乾堂・秋山大編	吉浦乾堂・秋山大編

◇二日本國寶全集 (刊行會)

一月	四月	五月
三	四	五
三	四	五
觀世音菩薩像外十五圖	十大弟子像外十六圖	十大弟子像外十六圖
守備憲治・秋葉芳美	守備憲治・秋葉芳美	守備憲治・秋葉芳美

六月	八	室	町	時	代	(下)	大	鳳
十月	一〇	江	戸	時	代	大	鳳	閣

◇國寶建造物 (刊行建造物)

七月	一	一名古屋城天守及小天守圖版目録	阪谷良之進	京都府吉野
八月	二	平等院鳳凰堂 (一)	阪谷良之進	京都府宇治
十月	三	平等院鳳凰堂 (二) 外一篇	阪谷良之進	京都府宇治
十月	四	三溪園臨春閣 (一)	阪谷良之進	京都府宇治
十月	五	三溪園臨春閣 (二) 外一篇	阪谷良之進	京都府宇治
十一月	六	醍醐寺塔婆	阪谷良之進	京都府西京

◇南都十大寺大鏡 (大塚巧菴社)

二月	三	西大寺大鏡 (第一)	東京美術學校
三月	四	御物大鏡 (第二)	東京美術學校
四月	五	法隆寺大鏡 (第三)	東京美術學校
五月	六	東大寺大鏡第二 (三月堂篇)	東京美術學校
六月	七	西大寺大鏡 (第一)	東京美術學校
七月	八	法隆寺大鏡 (第二)	東京美術學校
八月	九	法隆寺大鏡 (第三)	東京美術學校
九月	一〇	法隆寺大鏡 (第四)	東京美術學校
九月	一一	法隆寺大鏡 (第五)	東京美術學校

十二月	一五	興福寺大鏡 (第三)	東京美術學校
十二月	一六	法隆寺大鏡第七 (銅封藏篇)	東京美術學校

◇京都美術大觀 (東方書院)

四月	二	庭園美術	中野
五月	三	石造美術	中野
六月	四	彫像美術	中野
七月	五	繪畫美術	中野
八月	六	茶室美術	中野
九月	七	筆蹟美術	中野
十月	八	彫刻美術	中野
十一月	九	繪畫美術	中野
十二月	一〇	繪畫美術	中野

◇浮世繪大家集成 (大鳳閣)

一月	三	喜多川歌麿	吉田
二月	四	湖龍・清満	吉田
三月	五	懷月堂派・宮川長春	吉田
四月	六	廣重・清親	吉田
五月	七	一筆齋文調	吉田
六月	八	山・英泉	吉田
七月	九	英泉	吉田

◇鳥類寫生圖譜 (鳥類寫生會)

八月	一	錦鶏・巴	小泉勝爾・土岡春効
十月	二	高麗雉・大鷹	小泉勝爾・土岡春効

◇實用圖案資料大成 (アトリ工社)

三月	一	動物資料圖案集 (上)	杉浦非水・渡邊春舟編
四月	二	動物資料圖案集 (中)	杉浦非水・渡邊春舟編
五月	三	動物資料圖案集 (下)	杉浦非水・渡邊春舟編
六月	四	植物資料圖案集 (上)	杉浦非水・渡邊春舟編
七月	五	植物資料圖案集 (中)	杉浦非水・渡邊春舟編
八月	六	植物資料圖案集 (下)	杉浦非水・渡邊春舟編
九月	七	人物資料圖案集 (上)	杉浦非水・渡邊春舟編
十月	八	人物資料圖案集 (中)	杉浦非水・渡邊春舟編
十月	九	人物資料圖案集 (下)	杉浦非水・渡邊春舟編

◇配色總鑑 (博美社)

十一月	一	三色配	和田三
十二月	二	二色配	和田三

◇浮世繪大家集成 (大鳳閣)

五月	一	大蘇芳年	大鳳閣
七月	二	晴齋・貞秀	大鳳閣
七月	三	國周・周延	大鳳閣
十月	四	漫畫風刺畫	大鳳閣

◇六大浮世繪師 (誠文堂)

三月	六	立齋廣重	野口米次郎
----	---	------	-------

◇The Ukiyoe Primitives (誠文堂)

七月	一	MORONORUその他	野口米次郎
----	---	-------------	-------

◇非水百花譜 (春陽堂)

三月	一六	こひるがほ	杉浦非水
四月	一七	もくせい	杉浦非水
六月	一八	もみぢあふ	杉浦非水

◇名家習字本大成 (平凡社)

五月	一	行成・後漢・三門記	平	凡	社編
六月	二	新古今和歌集序外三篇	近衛博隆院外二氏		
七月	三	新古今和歌集新居帖外二篇	平	凡	社編
八月	四	熊野遊草外三篇・弟子職外二篇	且下郎晴龍・藤原白		
九月	五	古今和歌集卷五・八聖主御賢道外三篇	紀貫之・文微明		
十月	六	大久保公神道碑・夫子廟堂碑	且下郎晴龍・藤原南		
十一月	七	屏風土代三篇・樂兒帖外五篇	小野道風・米元章		
十二月	八	赤壁賦・晉詞銘溫泉銘	藤原一六・唐太宗		

◇法帖 手本集成 (興文社)

十月	一	隨智永楷書千字文外一篇	上	田	廣	嶋
----	---	-------------	---	---	---	---

音樂

◇世界音樂全集 (春秋社)

一月	一	日本新長童曲集	田	中	英	太	郎
二月	二	現代日本童謡曲集	田	中	英	太	郎
三月	三	現代日本童謡曲集	田	中	英	太	郎
四月	四	現代日本童謡曲集	田	中	英	太	郎
五月	五	現代日本童謡曲集	田	中	英	太	郎
六月	六	現代日本童謡曲集	田	中	英	太	郎
七月	七	現代日本童謡曲集	田	中	英	太	郎
八月	八	現代日本童謡曲集	田	中	英	太	郎
九月	九	現代日本童謡曲集	田	中	英	太	郎
十月	十	現代日本童謡曲集	田	中	英	太	郎
十一月	十一	現代日本童謡曲集	田	中	英	太	郎
十二月	十二	現代日本童謡曲集	田	中	英	太	郎

◇世界音樂全集 (學生版) (春秋社)

一月	一	日本童謡曲集	山	田	耕	幸	郎
二月	二	日本童謡曲集	山	田	耕	幸	郎
三月	三	日本童謡曲集	山	田	耕	幸	郎
四月	四	日本童謡曲集	山	田	耕	幸	郎
五月	五	日本童謡曲集	山	田	耕	幸	郎
六月	六	日本童謡曲集	山	田	耕	幸	郎
七月	七	日本童謡曲集	山	田	耕	幸	郎
八月	八	日本童謡曲集	山	田	耕	幸	郎
九月	九	日本童謡曲集	山	田	耕	幸	郎
十月	十	日本童謡曲集	山	田	耕	幸	郎
十一月	十一	日本童謡曲集	山	田	耕	幸	郎
十二月	十二	日本童謡曲集	山	田	耕	幸	郎

◇書道講義錄 (興文社)

十月	一	晉王羲之(蘭亭叙・千字文・同詠書)	桑	原	聖	邦
十一月	二	草書(館本十七帖・同詠臨書)	王	羲	之	・田代秋
十二月	三	楷書(九成宮醜泉名・同詠書)	唐	・歐陽詢	・藤本竹	香
一月	四	手本(基本楷書外七篇)外二篇	藤	本	竹	香
二月	五	手本(基本楷書外七篇)外二篇	藤	本	竹	香
三月	六	手本(基本楷書外七篇)外二篇	藤	本	竹	香
四月	七	手本(基本楷書外七篇)外二篇	藤	本	竹	香
五月	八	手本(基本楷書外七篇)外二篇	藤	本	竹	香
六月	九	手本(基本楷書外七篇)外二篇	藤	本	竹	香
七月	十	手本(基本楷書外七篇)外二篇	藤	本	竹	香
八月	十一	手本(基本楷書外七篇)外二篇	藤	本	竹	香
九月	十二	手本(基本楷書外七篇)外二篇	藤	本	竹	香
十月	十三	手本(基本楷書外七篇)外二篇	藤	本	竹	香

◇書道講習 (南光社)

七月	一	手本(書道三味歌外六篇)外一篇	吉	田	香	竹	嶋
----	---	-----------------	---	---	---	---	---

◇世界音樂講座 (春秋社)

十月	一	音樂原論外五篇	田	中	英	太	郎
十一月	二	現代ロシア音樂外八篇	中	根	英	外	七
十二月	三	音樂原論外五篇	田	中	英	太	郎
一月	四	音樂原論外五篇	田	中	英	太	郎
二月	五	音樂原論外五篇	田	中	英	太	郎
三月	六	音樂原論外五篇	田	中	英	太	郎
四月	七	音樂原論外五篇	田	中	英	太	郎
五月	八	音樂原論外五篇	田	中	英	太	郎
六月	九	音樂原論外五篇	田	中	英	太	郎
七月	十	音樂原論外五篇	田	中	英	太	郎
八月	十一	音樂原論外五篇	田	中	英	太	郎
九月	十二	音樂原論外五篇	田	中	英	太	郎
十月	十三	音樂原論外五篇	田	中	英	太	郎

◇音樂講座 (文藝春秋社)

一月	一	樂器學・作曲法	近	藤	秀	壽	・菅	原	明	郎
二月	二	和聲學・作曲法	山	田	耕	幸	郎			
三月	三	合唱樂及指揮法	山	田	耕	幸	郎			
四月	四	管樂法	菅	原	明	郎				
五月	五	管樂法	菅	原	明	郎				
六月	六	管樂法	菅	原	明	郎				
七月	七	管樂法	菅	原	明	郎				
八月	八	管樂法	菅	原	明	郎				
九月	九	管樂法	菅	原	明	郎				
十月	十	管樂法	菅	原	明	郎				
十一月	十一	管樂法	菅	原	明	郎				
十二月	十二	管樂法	菅	原	明	郎				